

第八十四回帝國議會 鐵道敷設法戰時特例案外一件委員會會議錄(速記)第六回

昭和十九年一月三十一日(月曜日)午前十時
二十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 今井 健彦君

理事新井 堯爾君 理事田中 好君

理事鶴 惣市君 理事山田 順作君

小田彦太郎君 大島 高精君

大野 一造君 川上 胤三君

木村寅太郎君 岸井 壽郎君

小山 亮君 小林鐵太郎君

角 猪之助君 竹内 俊吉君

川 隆君 林 佳介君

濱野 清君 肥田 琢司君

正木 清君 吉川 亮夫君

一月二十九日委員賴母木眞六君辭任ニ付其ノ補闕トシ川副隆君ヲ議長ニ於テ選定セリ
一月二十七日

朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

船舶職員法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

簡易生命保險法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

ノ審查ヲ本委員ニ付託セラレタリ
出席國務大臣左ノ如シ

運輸通信大臣 八田 嘉明君

內務大臣 安藤紀三郎君

出席政府委員左ノ如シ

內務省管理局長 竹内 徳治君

朝鮮總督府政務總監 田中 武雄君

朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君

陸軍中將 吉積 正雄君

海軍中將 岡 敬純君

海軍主計大佐 山沖 芳市君

運輸通信省海運總局長官 妹尾 知之君

運輸通信省海運總局長官 岡本 忠雄君

運輸通信省海運總局長官 新谷寅三郎君

運輸通信省海運總局長官 石井 敬之君

運輸通信省海運總局長官 小松 茂君

通信院總裁 小林 武治君

通信院總務局長 中村 純一君

通信院業務局長 岡崎 誠一君

通信院貯金保險局長 岡崎 誠一君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

運輸通信書記官 間庭 建爾君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

船舶職員法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

簡易生命保險法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

○今井委員長 是ヨリ開會致シマス、當委員會ニ新タニ付託セラレマシタ法律案ハ三案デアリマス、朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案、船舶職員法中改正法律案、簡易生命保險法中改正法律案、以上デアリマス、先ヅ朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案ニ付

キマシテ政府ノ説明ヲ求メマス

○安藤國務大臣 本委員會ニ付託ニ相成リマシタ朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案提出ノ理由ヲ御説明申上ゲマス

朝鮮ニ於ケル私設鐵道中、朝鮮私設鐵道補助法ノ規定ニ依リマシテ現在補助金ノ交付ヲ受ケテ居リマスモノハ、朝鮮鐵道、朝鮮京南鐵道、京城電氣、新興鐵道、京

春鐵道、朝鮮平安鐵道、多獅島鐵道、端豐鐵道、平北鐵道、西鮮中央鐵道、北鮮

拓殖鐵道及ビ朝鮮「マダネサイト」開發ノ十二社ノ經營ニ係ル延長一千五百五十

九「キロ」四分ノ鐵道デアリマスガ、同法ニ依ル補助期間ハ基本期間ヲ營業開始ノ日

ヨリ十五年トシ、朝鮮總督ニ於テ必要アリト認メマシタ場合ハ、更ニ十年ヲ限リ

之ヲ伸長シ得ルコトト相成ツテ居リマス所、右補助鐵道中、朝鮮鐵道黃海線及ビ忠北線、

朝鮮京南鐵道所屬鐵道、京城電氣金剛山電鐵線並ニ新興鐵道咸南線ノ四社五鐵道ハ、

昭和十九年十二月乃至同二十年三月ヲ以テ補助期間、即チ營業開始ノ日ヨリ二十五

年ノ法定期間ノ滿了ヲ見ルコトト相成ツテ居リマス、然ルニ右諸鐵道ハ、何レモ未ダ業

績ノ進展豫期ノ如クナラズ、仍テ當分ノ內政府ヨリ相當ノ補助ヲナサナケレバ經營困

難ノ狀態ニアリマス、而モ是等ノ鐵道ハ何レモ國營代行線タルノ特質ヲ有シテ居リマ

シテ、特ニ生産力擴充上緊要ナル物資並ニ生活必需物資輸送ノ重大使命ヲ帶ビ、是ガ

運營ノ如何ハ、時局下戰力増強ニ至大影響

付託議案(審查終了ノモノヲ除ク)
朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第二〇號)
船舶職員法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第三一號)
簡易生命保險法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第三二號)

從事スル所謂運轉手ト混同セラル、虞モアリマスノデ、船員ノ希望ヲモ入レマシテ、之ヲ航海士ニ改ムルコトト致シタノデアリマス、次ニ船舶ニ乗組ム無線通信士ハ、船舶運航上航海士、機關士同様ノ重要ナル職責ヲ有スルモノデアリマスノデ、是等職員ト同様其ノ乗組ヲ強制シ、之ニ海員ノ自覺ヲ促スコトニ依ツテ其ノ職責ノ完遂ヲ期セシメントスルノ意圖ノ下ニ、之ヲ船舶職員トシタノデアリマス、而シテ其ノ職名ヲ航空通信士ニ對應致シマシテ船舶通信士トシ、其ノ船内地位及ビ員數等ヲ考慮致シマシテ、一等ヨリ三等マデノ段階ヲ附スルコトト致シタノデアリマス

次ニ第三條ノ改正ニ付テ説明致シマス、本法制定當時ハ極メテ少數ノ海技免狀デ事足リテ居リマシタガ、其ノ後船舶構造ノ發達、航行區域ノ擴大等ニ伴ヒマシテ、多種類ノ效力制限免狀ノ制定トナリ、今日ニ至ツタモノデアリマス、而シテ之ヲ實際ニ適用スルニ當リマシテハ、餘リニモ複雑多岐ニ互リ、其ノ融通性ヲ失フ虞モアリ、又一方支那事變後ノ臨時船舶管理法ニ基ク船舶職員輕減狀況ニ鑑ミマスレバ、大體支障ナキ運航ヲナシ得ルコトガ認メラレマスノデ、免狀ノ效力ニ制限ヲ加ヘマスコトハ之ヲ全般的ニ停止致シマシタ、是ト船舶ノ構造及ビ航行區域トヲ考慮致シマシテ、海技免狀ノ種類ヲ十四種ニ整備シ、之ニ船舶通信士免狀三種ヲ加ヘマシテ十七種ト致シマシタ次第デアリマス、次ニ同條第二項中「遞信大臣」トアリマスヲ「主務大臣」ト改メタノデアリマスガ、是ハ今回ノ官制改革ニ伴フモノデアリマシテ、本法中總テ同様ノ字句ハ同様ノ改正ヲ致シタノデアリマス

次ニ第五條ニ付テ御説明致シマス、船舶通信士ニ於テモ海技免狀ハ主務大臣ノ定ムル試験規程ニ依ル試験ニ合格シ、且ツ海技免狀原簿ニ登録ヲ受ケタル者ニ授與スルコトニナルノデアリマスガ、海軍艦船艇ニ乗組ミ無線電信ニ依ル通信ニ從事シタル者、又ハ船舶通信士養成施設修了者ニ對シマシテハ、他ノ船舶職員ト同様ニ學術試驗ヲ行ハズシテ、相當ノ免狀ヲ授與スルコトヲ得ルコトト致シタノデアリマス

次ニ船舶職員定員表ノ改正ニ付テ申上ゲマス、從來ノ定員表ハ船舶航行ノ現狀ニ即セザル點ガ出來マシタノデ、海技免狀ノ整備ト相俟ツテ、之ヲ實情ニ副フ如ク改メタノデアリマス、即チ從來船長運轉士ニ付テハ船舶ノ噸數別ニ、機關長機關士ニ付テハ船舶ノ機關ノ公稱馬力別ニ依リ、各別箇ノ表ヲ以テ定員ヲ定メテ居タノデアリマスガ、機關ノ發達ニ依リ公稱馬力ヲ以テ定員ヲ定ムルコトハ、必ズシモ適當ナラザルニ至リマシタノデ、航海士機關士及ビ無線通信士ヲ通ジテ航行區域及噸數別ニ依ル一表ト致シタノデアリマス、尙ホ航海士機關士ノ定員ニ付テハ、平時ニ於ケル船舶ノ航行安全上適正ナル最小員數ヲ基準トシ、船舶通信士ニ付テハ海上ニ於ケル人命ノ安全ノ爲メノ國際條約ヲ基本トシ、私設無線電信電話規則ニ規定スル無線通信士ノ配置定員ヲ參考トシテ定メタノデアリマス

最後ニ附則ニ於キマシテ、是等改正ニ伴ヒ必要ナル經過規定ヲ定メマスルト共ニ、登錄稅法中關係規定ノ改正ヲモ併セテ行ツタ次第デアリマス

次ニ簡易生命保險法中改正法律案ニ付テ御説明申上ゲマス、本案ハ戰時下國民貯蓄

ノ增強ヲ圖ルト共ニ、國民生活ノ安定確保ヲ期スル爲メ、簡易生命保險ノ被保險者一人ニ付キ加入シ得ル保險金最高制限額ヲ二千圓ニ引上ゲ、制度本來ノ機能ヲ益發揮セシメントスルモノデアリマス、御承知ノ如ク簡易生命保險ハ大正五年十月一日國民生活ノ安定ヲ目途トシテ創始サレタモノデアリマスガ、本事業ハ創始以來二十有七年間不斷ノ躍進ヲ續ケテ參ツタノデアリマス、殊ニ支那事變勃發以來斯業ノ發展ハ實ニ目覺マシモノガアリマシテ、時局下極メテ重大ナル役割ヲ果シテ居ルコトハ既ニ御存知ノ通りデアリマス、簡易生命保險ノ保險金額ハ、創始以來四回ニ互ル引上ニ依リマシテ、現在其ノ最高制限額ハ千圓ト相成ツテ居リマシテ、同一ノ被保險者ガ數箇ノ保險契約ヲ爲ス場合ニ於キマシテモ、右ノ金額ヲ超ユルコトヲ得ナイモノトサレテ居リマスガ、現下喫緊ノ要務タル國民貯蓄ノ增強竝ニ國民生活ノ安定確保上、更ニ一段ノ活躍ヲ期センガ爲メハ、是ガ最高制限額ヲ引上グルコトガ最モ適切ト考ヘラル、ノデアリマス、然ルニ保險金最高制限額ヲ無條件デ千圓以上ニ引上ゲマスコトハ、生命保險會社ニ於テ現ニ實施シテ居リマスル千圓以上ノ無診查保險ト競合致シマシテ、其ノ結果民業ニ及ボス影響モ考ヘラレマスノデ、簡易生命保險ニ付テハ、被保險者一人ニ付キ加入シ得ル限度ヲ二千圓ニ引上ゲマスルト同時ニ、一年間ニ加入シ得ル限度ハ一千圓ヲ超ユルコトヲ得ザルモノト致シマシテ、民間生命保險會社ニ於テモ、從來通り千圓以上ノ無診查保險ヲ營ミ得ルコトトシ、簡易生命保險ト、民營保險ト相携ヘテ、各、其ノ機能ヲ十分發揮セシムルヤウニ致シタ次

第デアリマス、何卒十分御審議ノ程ヲ御願ヒ致シマス

○今井委員長 是ヨリ質疑ニ入ルノデアリマスガ、整理上本日ハ簡易生命保險法中改正法律案、之ニ付キマシテ質疑ヲ致シタイト思ヒマス、通告順ニ依リマシテ其ノ質疑ヲ許シマス——川副君

○川副委員 私ハ極ク簡單ニ簡易生命保險ヲモ扱ヒマスル郵便局ノ局員ノ募集竝ニ其ノ補充難ノ現狀ヲ見マシテ、聊カ當局ノ御方針、ソレカラ今後私が申上ゲタイト存ジマスコトニ對シマスル御判斷ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス、今郵便局員、特ニ特定局、——特定局ノ中デモ無集配ノアノ小サナ郵便局ト云フモノハ、長イ間殆ド自分ノ家族ノ手ニ依ツテ營業ヲ營ンデ參ツタノデアリマスガ、今日ハ色々ナ家庭ノ事情、此ノ戰時下ニ於ケル種々ノ事情カラシテ中々家族ノ手ヲ以テ之ヲヤルコトハ出來ナクシテ、多クハ女子ノ傭人ヲ使ツテ居ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、而モ其ノ女子ノ局員ヲ得ルト云フコトハ非常ニ難カシイ、ソレハ待遇ガ非常ニ惡イト云フコトト、ソレカラ其ノ仕事ガ待遇ノ惡イノニ比シテ非常ニ責任ガ重イト云フコトニアルト存ジマス、當局ハドンナヤウナ工合ニ此ノ局員ノ募集難ヲ切抜ケル御方針デアルカ、此ノ點ヲ御聽キシタイノデアリマス

尙ホ序デニ私皆申シテシマヒマスガ、待遇ノ惡イコトハ色々ナ比較表ヲ見マスルト、或ハ會社、銀行ト比較致シマシテモ、或ハ運輸通信省內ノ鐵道ノ部面ト比較致シマシテモ、郵便局ガ最モ惡イト思ヒマス、此ノ點ハ運輸、通信ト云フモノガ一緒ニナツタノデアリマスカラ、出來ルダケ速ク郵便通信

員ノ方面ト、ソレカラ鐵道當局ノ方面ト鈞合ガ取レルヤウナ御改革ガ必要デアラウト存ジマスガ、急ニモ參リマスマイ、ソレデ私思ヒマスルノニ、郵便局ノ仕事ヲ少クシテヤルト云フコトガ狙ヒデハナイカト思フノデアリマス、待遇ノ點ニ於キマシテハ、或ハ軍ノ工廠、軍需工場ト云フヤウナ所トハ、格段ノ相違アルコトハ御存ジノ通りデアリマス、工廠ノ例ヲ取ツテ見マスルト、或ハ早出、残業ト云フモノガアツテ、増賃ガ相當ニ附ク、然ルニ郵便局ハ、四時ニ窓口ヲ閉メマシテモ、早出モ残業モナイ、而モ四時ニ閉メテモ尙ホ手仕舞デ暗クナルマデ仕事ガ捗ラナイ、相當ナ時間ヲ取リマス、工廠方面ニ行ツテ居ル人達ハ、或ハ薪代用ノ木切レヲ澤山ニ貰フトカ、或ハ豆炭ヲ貰フ、或ハ罐詰ヲ貰フトカ、色々ナ特配ガアルノデアリマス、斯ウ云フ點カラ工廠或ハ軍需工業ト云フヤウナ方面ヲ特ニ希望スル、サウシテ郵便局ノ方ヘ廻ル所ノ女子ガ非常ニ少クナツテ居リマス、先程申シマシタ仕事ノ種類ハ御承知ノヤウニ、モウ國民學校出タ者モ直グニ郵便局ニ參リマス、或ハ爲替トカ、或ハ切手トカ、總テガ金錢ニ關係ノアル仕事ヲサセラルルノデアリマス、少シ合ハナクテモ、或ハ爲替ノ差損ト云ツタ風ナモノガ出テ參リマシテ、金錢上ノ責任ヲ負ハナケレバナラス、ホシノ學校ヲ出テ間モナイ子供ガ、常ニ金錢ノ責任ヲ負ツテ行カナケレバナラスト云フヤウナコトガ、洵ニ氣ノ毒ナ、イデラシイコトデアリマス、或ハ鐵道ノ切符ヲ賣リマスル人トカ、或ハ銀行會社ニ雇ハレル女事務員ト云フヤウナモノハ補助的ナ仕事ヲヤツテ居ルノニ拘ラズ、郵便局ニ於テハ皆一人々々ガ多クハ金

錢上ノ責任ヲ持つテ居ルノデアリマス、是ガ父兄ニ致シマシテモ金ガ足りナケレバ大變ダ、取ツタヤウニデモ思ハレテハ大變ダト云フヤウナ親心モアリマス、本人モ亦始終其ノ爲ニ頭ヲ悩マサナケレバナラスノデ、一層郵便局ヲ嫌フノデアリマス、ソレデ局員ヲ集メマスル方法トシテ私思ヒマスルノニ、先程申シマシタ待遇ノ改善ト云フコトハ、勿論是ハ必要デアルガ、中々直グニ實現ハ難カシイト思ヒマス、ソレデ無集配郵便局等ノ定員ヲ少シデモ殖ヤシテヤルト云フコトガ、ソレカラ仕事ヲ少クシテヤル、少クトモ都市方面ノ特定局ト云フヤウナモノデ、税金或ハ恩給ト云フヤウナモノノ取扱ヲヤツテ居リマスルガ、是等ノモノハ普通局ニ之ヲヤラス、或ハ村落等ニ於キマシテハ、是ハ遠イ所ニタツタ一ツシカナイノデ、特定局デヤル必要ガアルカモ知レマセヌガ、都市方面ノ特定局ト云フモノハ、税金トカ、恩給トカ、色々斯ウ云フ他ノ省ニ屬スルヤウナ出納ヲ止メサセテ、ココカラ時間ヲ取ツテヤル、サウシテ仕事ヲ少クシテヤツテ、裁縫ヲ教ヘテヤルトカ、或ハ生花、或ハ時局下ノ家庭ノ疾ヲシテヤルト云フコトデ、品位ヲ保タセテヤル、郵便局ニ行ケバオ嫁ニ行クニシテモ、其ガ良クナツテ宜カラウト云フヤウナ、ソシテ風ニ品位ヲ保タセルト云フヤウナ所ヲ狙ツテ募集スルト云フヤウナコトガ、ソノ方法デハナカラウカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、是ガ私ノ質問ナリ、又御當局ノ御方針ヲ承ル全部デアリマス、御答辯ヲ御願ヒ致シマス

○小松政府委員 只今川副サンカラ御述ベニナリマシタ點ハ、ソレハ非常ニ我々御尤モニ存ズル次第デアリマシテ、全ク御説ノ通りサウ云フ狀況ニアルノデアリマス、殊ニ特定郵便局員ノ補充難、手不足ト云フコトニ付キマシテハ、豫ネノ我々モ非常ニ頭ヲ悩マシテ居ル次第デアリマス、此ノ點御説ノヤウニヤハリ仕事ガ複雑デアル割ニ責任ガ重イ、又待遇ガ他ノ民間會社ニ比ベテハ勿論、通信關係以外ノ官廳ノ他ノ現業方面ニ比ベテモ、相當劣ツテ居ルト云フヤウナ點カラシマシテ、局員ノ補充難ト云フヤウナ點ガ起ツタト云フコトモ御説ノ通りデアラウト考ヘルノデアリマス、是ガ對策ト致シマシテ、出來ル限リ仕事——特定局ノ方ノ仕事ヲ輕減致シ、又定員モ増加致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、尙ホ金錢上ノ責任等ニ付キマシテモ、出納員ノ手當ヲ増額スルトカ、或ハ居殘ノ手當ノ範圍ヲ擴メテ増額スルト云フヤウナコトモ考ヘテ居ルノデアリマシテ、來年度豫算ニ於キマシテハ、或ル程度御希望ニ副フヤウナコトガ出來ルカト考ヘテ居リマス、尤モ財源其ノ他ノ關係ガアリマシテ、一舉ニ理想的ナ待遇改善ガ出來ルカドウカハ難カシイダラウト思フノデアリマスガ、我々トシマシテハ出來ルダケノ努力ヲ其ノ方面ニ致シマシテ、今後極力運營ニ支障ノナイヤウニヤツテ行キタイト考ヘテ居リマス

○川副委員 今ノ一寸附加ヘタイノデスガ、同じ運輸通信省デアツテ、鐵道ノ方面ト通信ノ方面ト待遇ニ多少ノ厚薄ガアルト存ジマス、通信省カラ流レタ通信院トシテ、又元ノ通信省ノ通信部面ヲ全部御受引ニナツテ居ラレル小松總裁トシテハ、同じ省内デスカラ、鐵道從業員ト郵便電信等ノ通信院關係ノ從業員ト待遇ガ一日モ早ク同ジヤウニナルヤウニ、少クモ其ノ點ニ付テハ十分御努力アラシコトヲ希望致ス者デアリマス

尙ホモウ一ツ特定局、特ニ無集配局ト云ツタヤウナモノハ長イ間國家ノ恩惠ニ依ツテ多少ノ產ヲ成シタ者モアルカモ知レマセヌガ、隨分刻苦勉勵シテ參ツテ居ルト思ヒマス、今日ハ非常ニ苦シイ經營ヲシテ居ル、其ノ點ハ十分御考ヘテ願ヒタイ、尙又特定局ヲ次第ニナクシテ、普通局ニ直シテ行クト云フヤウナ御方針デアアルカドウカ、是ハ明カニサレタ方ガ今後郵便局ノ局員、特定局等ヲ引受ケテヤツテ居ル人ノ將來ニ對スル一ツノ見透シトモナル存ジマスカラ、此ノ際率直ニ特定局ヲ出來ルダケ機會ガアル毎ニ、普通局ニ直シテ行クト云フヤウナ御方針デアアルカドウカト云フコトヲ明カニサレンコトヲ希望スル者デアリマス

○小松政府委員 特定局ノ經營難ニ付キマシテハ能ク承知シテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ハ是マデニモ局舍料ト申シマスガ、今マデ局舍ハ一定局長ノモノヲ供出サセマシテ、政府トシテハソレニ相當スル賃賃料ヲ拂ツテ居ナカツタノデアリマスガ、其ノ後今日デハ此ノ方面ニモ意ヲ致シマシテ、適當ノ借料ヲ拂フコトニ致シテ居リマス、其ノ他ノ方面ニ於キマシテモ局ノ經營上必要トシマスル經費ニ付キマシテハ、出來得ル限リ増額スルコトニ考ヘテ居ルノデアリマス、サウシテ今モ其ノ方針デ進シテ居ルノデアリマス、又御尋ネノ普通局ニ轉換サスト云フコトニ付キマシテハ、是ハ何分特定局ノ數モ非常ニ多イノデアリマシテ、或一定ノ通信力ナリ、其ノ他地況ノ條件ガ特定局デハヤツテ行ケナイト云フヤウナ所ニ付テハ、毎年數局、或ハ十數局ヅツ普通

局ニ漸次組替ヘテ參ツテ居リマス、方針トシマシテハ從來ノ方針ヲズツト繼承シテ行ク積リデアリマス

○今井委員長 川上君

○川上(胤)委員 簡單ニ伺ヒマス、肺結核ノ豫防ニ付キマシテハ國ヲ舉ゲテ皆檢討サレテ居リマス、特ニ生命保險側カラ見タル所ノ肺結核ノ死亡率竝ニ簡易生命保險トシテノ死亡率竝ニ死亡人員ト云フコトニ付キマシテ、數字ガ出テ居タラ御説明願ヒタウゴザイマス、尙又此ノ肺結核ノ撲滅ニ付キマシテハ、簡易生命保險局ノ方ニ於キマシテ先年來大分ニ研究ヲサレテ居ルヤウデアリマス、先般角君カラモ多少質問ガアリマシタガ、從來ノ遞信省、現在ノ運輸通信省ノ、特ニ通信ニ關係スルモノノ側ニ於キマシテノ結核罹病者ハ割合ニ率ガ多イヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、之ニ對スル豫防方策ハ既ニ研究サレテ居ルコトト考ヘマスガ、ソレ等ノコトモ併セテ總裁ヨリ御答辯願ヒタウゴザイマス

○小松政府委員 只今川上サンカラ結核豫防其ノ他ニ付テノ御質問デアリマスガ、簡易生命保險ノ契約者中ニ於ケル死亡表ノ中結核ノミノ統計ヲ取リマシタモノヲ今手許ニ持合セテ居リマセヌノデ、御尋ネノ數字ハ後程調べマシテ御答ヘ致シマス、豫防對策トシマシテハ、從來色々療養所ヲ置クトカ、或ハ早期診斷ヲヤルトカト云フコトガ行ハレテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、曾テ私ガ簡易保險局長ヲシテ居リマシタ當時ニ考ヘテ居リマシタコトヲ一言御參考ニ供シタイト存ジマス、ソレハ御承知ノヤウニ日本ノ亡國病トマデ、稱セラレテ居ルモノハ結核ト花柳病デアリマス、

殊ニ結核ニ依ル死亡率ト云フモノハ非常ニ多イノデアリマス、此ノ結核ヲ一體ドウシタラ撲滅出來ルカト云フコトヲ私モ色々考ヘタノデゴザイマス、丁度廣島ノ遞信局長ヲシテ居リマシタ當時ニ、廣島ノ師團司令部デ徵兵體格検査ノ色々比較表ガアリマシテ、ソレニ付テ司令部ノ意見ヲ聽イテ居ツタノデアリマスガ、ソレヲ見マス、各村ナリ、各地方ノ青年ノ結核罹病率ガ大體分ツテ居ルノデアリマス、ソレヲ貫ヒマシテ研究シマシタ結果、私ノ氣付キマシタノハ、或ル村ニ於テハ徵兵適齡者ノ結核ノ罹病率ガ多イガ、或ル村ヲ見マス、其ノ罹病率ガ非常ニ少イト云フコトヲ發見シタノデアリマス、ソコデ其ノ原因ヲ探究スル爲ニ、私ハ其ノ土地ニ參リマシテ色々調べタノデアリマス、所ガ青年ニ結核ノ多イ村ノ根源ハ何處ニアルカト云フコトヲ見マス、根元ハ小學校ノ教職員ニ結核患者ガ居リマシテ、其ノ教職員ガ狭イ教室内ニ於テ生徒ニ肺病ノ菌ヲ振り撒イテ居ルト云フコトガ分リマシタ、ソレカラ結核ノ罹病率ノ少イ村ヲ見マス、ソレトハ反對ニ、小學校ノ教職員ガ非常ニ健康デアツテ、學校ニ於テ病氣ニ感染スルト云フコトガ殆ドナイ位ノ狀況デアルノデアリマス、此ノ二ツヲ取ツテ見マス、ドウモ小學校デ肺病ノ菌ヲ子供ニ植付ケテ居ル、所謂小學校ガ結核ノ溫床ニナツテ居ルノデアリマス、御承知ノヤウニ、小學校カラ中學校マデノ非常ニ發育ノ盛シナ時分ニハ、結核ニ感染致シマシテモ、ソレハ急ニ表面ニ現ハレテ來ナイノデアリマス、丁度徵兵適齡頃ニナリマス、人體ニ於ケル生理的ノ變化モ起リマス、又學校ヲ了ヘタ後ノ生活上ノ變化

モ起ルト云フヤウナコトデ、丁度適齡前後ニ古ク持込ミマシタ結核菌ガソコデ活動ヲ始メルト云フヤウナコトデ、結核菌ヲ吸入シテ直グ發病ニナルト云フモノハ少イ、相當長イ間潜伏シテ居ツテ、ソレガ生理的變化ニ依ツテ體ガ弱ツタト云フヤウナ時ニ出テ來ルト云フヤウナ譯デアリマシテ、隨テソコデ考ヘマシタノハ、是ハドウシテモ、結核ノ病狀ノ相當進行シタ者ヲ病院ニ入レルトカ、或ハ隔離スル、藥ヲ飲マセルト云フヤウナコトヲシテ見タツテ、ソレハ本ヲ正サナケレバ結核ヲ撲滅スルコトハ凡ソ難カシイノデハナイカ、斯ウ考ヘタノデアリマス、ソコデ、其ノ爲ニハ一體ドウシタラ宜シイカト云フノデアリマスガ、先ヅ第一ニ、結核ノ蔓延スル溫床デアル小學校ノ教職員ニハ一人ノ結核患者モナイヤウニシタラ餘程違フノデハナイカト云フコトガ、色々他ノ統計ヲ見マシテモハツキリ分ツテ居リマス、其ノ後サウ云フ點マデハハツキリ分リマシタノデ、壯丁ノ體位ガ劣弱ニナルト云フコトハ、國家トシテモ非常ニ重大ナ問題デアリ、特ニ徵兵關係ニ於テハ益々重要視サレル點デアリマシテ、陸海軍ニ於テモ非常ニ關心ガ深イト云フ譯デアリマス、當時陸軍及ビ海軍ノ方ヘモ私ノ調査致シマシタコトヲ報告致シタノデアリマス、間モナク簡易保險局長ニ轉任致シマシタノデ、尙ホ續ケテ之ヲ是非ヤリタイ、殊ニ國民ノ死亡率ガ少シデモ減ルト云フコトハ保險事業ノ上カラ申シマス、非常ニ好イ影響及ボス譯デアリマス、兼ネテ生命保險事業ト結核ト云フモノハ非常ニ深い關係ヲ持ツテ居ル譯デアリマス、是ハ是非トモ私ハ保險局長ヲヤツテ居ル中ニ何トカシテ國

家トシテノ結核撲滅策ヲ講ジタイト云フ考ヘヲ起シテ居ツタノデアリマス、ソコデ、先程申シマシタヤウニ結核ノ根源ガ小學校ノ教職員ニアルト云フコトヲ突キ止メテ居リマシタノデ、保險局長ニ轉任致シマシタ同時ニ、内務省ノ衛生局長ヲ初メトシマシテ、文部省ノ關係者及ビ陸海軍ノ醫務局長、其ノ他ニ參集ヲ願ヒマシテ、結核ノ豫防對策トシテハ是ガ一番宜イト思フカラ、其ノ方面ナラ簡易保險ノ金ヲ注ギ込シデモ宜イカラ是非ヤラウデヤナイカト云フ相談ヲシタノデアリマス、元々從來、或ハ今日デモ行ハレテ居リマス結核對策ト云フモノハ、先ヅ第一ニ療養所ヲ殖ヤス、モウ結核ニナツタ者ヲ療養サセテ回復サセルヤウニ努力スルト云フ譯デアリマス、成程是ハ放任スルト云フ譯ニハ行キマセヌガ、其ノ根源ヲ衝イテヤルト云フ點ニ付テハ、少シ我々ノ考ヘデハ手緩イト考ヘテ居ツタノデアリマス、ソレデ文部省ニ話シマシテ、小學校ノ白紙ノ狀態ニアルヤウナ子供ノ健康ヲ害シナイヤウニ、子供ノ時代ニ結核菌ヲ吸入シナイヤウニ、小學校ノ教職員ニハ結核患者ハ一人モナイヤウニスルニハドウシタラ宜カラウト云フ御相談モシタノデアリマス、私共モ此ノ案ヲ採ヘマシテ、其ノ統計ヲ欲シイト思ツテ實ハ探シタノデアリマスガ、文部省ニ於キマシテモ教職員ノ結核罹病者ノ完全ナ統計ト云フモノハナイノデアリマス、形式的ニ纏マツタモノハアリマス、是ハ實際トハ非常ニ違ツテ居ルヤウニ考ヘラレ、ソレハドウ云フコトカト申シマス、教職員ニシマシテモ、自分ガ結核デアルト云フコトヲ外部ニ知ラレルコトヲ非常ニ憚ル、又結核デアツテ、療養シナケレ

バナラヌケレドモ、給料ダケ貰ツテ居タノ
ジャ、中々ソレガ出来ナイシ、況ヤ一時學
校ヲ休ンデ専心ニ療養スルト云フヤウナ、
サウ云ツタ餘裕ハ殆ドアリマセヌノデ、成
タケ自分ノ病氣ヲ隠スヤウナ傾向ニアリマ
シタシ、又健康診斷ヲヤリマシテモ、出来
ルダケソレヲ避ケルト云フ風ナコトデ、小
學校ノ教職員ノ結核罹病者ノ統計ト云フモ
ノハ、先ヅ當テニナラナカツタノデアリマ
スガ、大體ノ所デ参リマスレバ、大約ノコ
トハ分リマスルノデ、ソレヲ本ニシテ初期
ノ結核罹病者ハ半年カ一年、極ク場所ノ良
イ所デ専心療養致シマスレバ、必ズ恢復シ
テ、健康ニ復ス譯デアリマス、民間ノ或ル
會社ニ於キマシテモ、ソレハ現ニ實行シテ
居ル所ガアリマシテ、會社ニ勤メテ居ル者
デ結核ノ一期、或ハ二期位ノ者ハハ強制
的ニ休マセル、サウシテ一年ナリ、一年半
ナリ轉地サシテ専心療養サセルコトニシマ
スト、モウ大抵ノ者ハソコ癒ツテ歸ルト
云フ譯デアリマスガ、問題ハ其ノ専心療養
ヲ一年ナリ、一年半ヤラス爲ニハ相當ノ經費
ヲ要スルノデアリマス、本人ニ負擔サスト
云フコトハ、是ハ先ヅ不可能デアリマス、
隨テ會社等ニ於テハ會社自ラガソレヲ負擔
シテヤツテ居ルノデアリマス、國家トシマ
シテモ、小學校教職員ノ結核ヲ一人モナイ
ヤウニシヨウト云フ爲ニハ、是非ソレヲヤ
ラナケレバイカスト考ヘテ居タノデアリマ
ス、而モ所謂從來行ハレテ居ツタ結核豫防
對策ト云フモノハ何ト云フカ、チンドン
屋式ト云ヒマスカ、非常ニ間口ヲ廣クシテ
ヤツテ居ルノデアリマス、サウ間口ヲ擴ゲ
テ行クヨリ、私ハ其ノ結核ト云フ敵ヲ擊破
スルニハ、ドウシテモ各個擊破デ行カナケ

レバナラヌスト思フ、先ヅ小學校ノ教職員ニ
一人モ結核患者ガナイヤウニシテ、全國ノ
小學校ガ結核ノ溫床デアルカノ如キ觀ヲ呈
シテ居ル一番惡イ根源ヲ先ヅ第一ニナク
ス、ソレヲヤリマシテ、次ハ幼稚園、或ハ
中等學校、其ノ他大勢ノ人ガ集マツテ居リ
マス工場、官廳其ノ他ニ及ボシテ行ク、何
モ彼モ一遍ニヤラウトスルカラ事ガ成功シ
ナイ、先ヅ第一ニ一番根源デアアル小學校教
職員ニハ結核患者ガ一人モ居ナイト云フコ
トニ全力ヲ擧ゲテヤラウト相談ヲシタノデ
アリマス、サウ云フ話デ段々進ミマシテ、
陸海軍デモ非常ニ關心ヲ持チ、内務省、文
部省モ勿論異議ガアル譯デアリマセヌ、唯
其ノ金ノ出所ニ困ツタノデアリマスガ、私
ハ之ヲ三箇年計畫デヤツテ行キタイ、小學
校教職員ヲサウ云フ風ニシテ全部強制的ニ
診斷ヲシマシテ、結核ノ保菌者ハ全部適當
ノ期間轉地療養ヲサセル、勿論家族ヲ連レ
テ行ツテモ宜イシ、或ハ家族ヲ連レナイデモ
宜イ、而モ其ノ療養期間中ハ今マデ百圓ノ
月給ヲ貰ツテ居タモノナラ、百五十圓位與
ヘタイ、療養ニ要スル費用モ全部我々ノ方
デ負擔スル、サウシテ後顧ノ憂ヒナク安心
シテ療養ガ出来ルヤウニサシテ、健康ニナ
ツタナラ又元ヘ歸ツテ就職口モチヤント明
カニシテ置ク、安心シテ療養ニ専心從事出
來ルヤウナ仕組ニシタイト云フノデ色々計
算シテ金ノ方ノ勘定モシテ見タノデアリマ
スガ、小學校教職員ダケト云フコトニ決メ
テ参リマス、割合ニサウ餘計金ハ要ラナ
イノデアリマス、之ニ依ツテ國民ノ結核罹
病者ガ大分減リ、死亡率モ減ルコトニナリ
マス、先ヅ一番恩惠ヲ受ケルモノハ生命
保險事業デアリマス、隨テ簡易生命保險ト

シテモ、勿論其ノ利益ニ均霑スルコトニモナ
リ、又民間ノ生命保險事業モ相當均霑スル
ト云フ譯デアリマスカラ、サウ云フ理窟カ
ラサウ云フ公共的ナ結核撲滅ノ費用ノ一半
トシテ、政府デ經營シテ居ル簡易生命保險
ノ金ヲ出シ、ソレデ足りナイ部分ナリ、他
ノ部分ヲ國家ガ補助スルト云フコトニシテ、
一ツ大規模ニ小學校教職員ニハ一人モ結核
患者ガナイト云フ所マデ持ツテ行ク、サウ
シテ子供ノ健康ガ理想的ニ行クヤウニ、子
供ノ時ニウシト體力ヲ作ツテ行カウト云フ
コトニシタラ、勿論國民ノ體位モ向上スル
シ、結核撲滅ノ溫床ヲ衝クコトニナリマシ
テ、最も效果ガアルト云フノデ、話ヲ進メ
テ居ツタノデアリマス、所ガ其ノ話ガ結局
サウ云フコトニ行クニ付キマシテハ、ドウ
シテモ相當大掛リニヤラナケレバナラス、
衛生ノコトハ御承知ノヤウニ當時内務省ノ
衛生局デヤツテ居ツタノデアリマスガ……
○今井委員長 成ベク簡潔ニ願ヒマス
○小松政府委員 衛生局ダケデハ中々難カ
シイト云フノデ、其ノ點色々ナ経緯ガアリ
マシテ、其ノ話ガ本ニナツテ、今日ノ厚生
省ト云フモノニ實ハ變化シテ参ツタノデア
リマス、サウ云フヤウナ譯デ、私ハ今日デ
モヤハリ結核ノ療養、結核ノ撲滅ト云フコ
トニ付キマシテハ、罹病者ガ療養ニ盡ス
ト云フコトハ勿論必要デアリマスガ、ソレト
同時ニ豫防對策ヲ今少シ具體的ニシナケレ
バナラスノデハナイカト云フ考ヘテ、當時
カラ今日デモヤハリ持ツテ居ルノデアリマ
ス、川上サシノ御尋ネノ點ニ丁度「ピン」
ガ合フカドウカ分リマセヌガ、生命保險ト
結核ノ關係ニ付テ一應申述ベタ次第デアリ

マス
○今井委員長 懇切丁寧ハ最も結構デスガ、
成ルベク質疑應答トモ簡潔明快ニ願ヒタイ
ト思ヒマス——次ニ竹内俊吉君
○竹内委員 只今ノ結核ノコトニ關シテ先
ヅ以テ御尋ネ致シタイト思ヒマスガ、今總
裁カラ洵ニ長々ト懇切丁寧ニ一般結核對策
問題ト、簡易生命保險ニ關聯シタ對策ヲ伺
ツタノデアリマスガ、此ノ機會ニ率直ニ其
ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス、ソレハ先般角
委員ノ御質問ノ際ニ當局ノ御答辯ノ中ニハ、
通信從業員ニモ非常ニ結核患者ガ多イ、是
ハ一種ノ職業病ノ感ガアルト云フ御言葉ガ
アツタノデアリマス、ソコデ今ノ御話ニモ
關聯シマシテ、通信從業員ノ職業病デア
ルトスラナラバ、ソレ程ニ結核患者ガ多
イ原因ハ、通信事業ノ作業面ノ條件ノ中ニ
アルノデハナイカト云フコトデアリマス、
職業病ト云フ以上ハサウ云フコトガ考ヘラ
レルノデアリマスガ、其ノ點ニ付テ御當局
ガ今マデ通信從業員ノ結核ノ原因ニ付テ調
査シタルコトアリヤナシヤ、アルトスレバ
其ノ職業病ノ由ツテ來タル原因ハ、作業上
ノ如何ナル條件ニアツタト云フ結論ニ達シ
タカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス
○小松政府委員 只今御尋ネノ從業員等ノ
作業狀態ト結核患者トノ關係デアリマスガ
是ハ通信從業員ノ中デ一番結核ニ感染シ易
イ部面ハ、電話ノ女子事務員ナノデアリマ
ス、御承知ノヤウニ電話ノ女子事務員ハ、
或ハ電話交換ニ從事スルニ付キマシテモ、
胸カラハ或ハ頭カラ掛ケタ受話器ヲ常ニ當
テ、應答シテ居ルノデアリマス、其ノ大勢
ノ中ニ數名ノ結核、殊ニ開放性ノ結核ノ者
ガ入ツテ居ルト云フコトニナリマス、其

員ノ服務ヲ強化致シマシテ、一層負擔量ノ増加ニ對處シテ参リタイト云フコト、ソレカラ又郵便、電信、電話ノ補習教育ヲ施シ、或ハ競技會ヲヤルト云フヤウナコトデ、技術ノ向上策ヲ執ツテ参リタイト居ルノデアリマス、又業務上ノ對策トシテハ取扱手續ヲ出來ルダケ簡易化致シマシテ、事務數量ノ増加ニ對應シテ行ク、例ヘバ行囊ノ封緘ヲ省略スル、或ハ電報宛名抹消ノ徹底或ハ著信交換狀ノ作成ヲ廢メルト云フヤウナ點等、手續上ノ簡易化ニ依ツテ相當負擔ノ輕減ヲ圖ツテ行キタイト考ヘマシテ、實行致シテ参リタイト居ルノデアリマス、又只今御話ノヤウニ儀禮的ナ通信ガアル、或ハ不急不要ノ通信ガ多イ爲ニ、重要ナ通信ガソレニ依ツテ妨害サレテ居ルノデハナイカト云フ御話デアリマスガ、サウ云フモノノ郵便ニ付キマシテハ、ハツキリマダ統計ハ實ハ出來テ居リマセス、電信ニ付キマシテハモウ既ニ御承知ノ通り、其ノ方針デ相當突込シテ所マデ参リタイト居リマシテ、不要不急ノ電報ノ抑制ヲヤツテ居ルノデアリマス、郵便ニ付キマシテモ勿論儀禮的ナ通信トカ、或ハ不急不要不急ト思ハレルモノニ付テハ、是ハ出來ル限リ引受停止ヲスルナリ、或ハ適當ナ處置ヲ講ジタイトハ考ヘテ居リマスガ、何シロ封書ヲ一々全部檢閲スルト云フコトモ出來兼ネマスノデ、國民ノ協力運動ヲ起スヤウニ致シマシテ、サウ云フ點ニ付テハ是非重要通信ガサウ云フ不要不急ノ通信ノ爲ニ、阻碍サレルヤウナコトノナイヤウニ致シテ参リタイト思ツテ居リマス、尙ホ今後ニ於キマシテハ電信、電話、郵便ヲ通ジマシテ、色々ナサナケレバナラスコトモ澤山アリマ

電信ノ交流化ヲ圖ル、或ハ大都市ニ於キマシテハ電話ノ自動化ヲ圖ル、或ハ交換器ヲ全面的ニ整備スル、或ハ其ノ他大都市近郊地ノマダ市内電話ニ入ツテ居ナイ部分ヲ、市内ニ編入スルト云フヤウナコトヲ致シマシテ、著々實行ニ移シテ参リタイト考ヘテ居リマス

○竹内委員 郵便物ノ通信内容ノ重要度ノ調査ハ、確力ニ困難ナコトニ相違アリマセスガ、又ヤツタ事實モ多少アルヤウニ聞イテ居リマスノデ、現在マデノ所デモ宜シウゴザイマスカラ、其ノ資料ガアリマスレバ後デ頂戴シタイト思ヒマス

次ニ通信事業ノ戰時型切替ヘトシテ、作業管理上ノコトヲ二、三御伺ヒシタイノデアリマス、今ノ總裁ノ御説明ニモ、作業ノ簡易化ニ依ツテ能率ヲ高メテ行クコトニ留意致シテ居ルト云フ御言葉ガアツタノデアリマスガ、私共ノ見ル所デハ、大イニ其ノ點ニ苦心ヲサレテ居ルノデアリマセウケレドモ、マダノ殘サレテ居ル面ハ非常ニ多イヤウニ感ズルノデアリマス、例ヘバ今御話ノ二、三ノコト以外ニモ、我々素人カラ考ヘマシテモ區分ノ簡易化トカ、或ハ消印ノ簡易化——葉書ナドハ消印ヲ廢メタラドウカト考ヘマス、或ハ行囊ノ納入ノ簡易化、引受時間證明ノ廢止、内容證明ノ引受ノ制限、斯ウ云フコトモ一應考ヘラレルノデアリマス、斯ウ云フ作業管理ノ簡易化ニ依ツテ從業員ノ能率ヲ二、三割向上サスコトハ、サシテ面倒デハナイヤウニ考ヘルノデアリマスガ、元來遞信省ハ作業廳デアリナガラ、從來私ノ見ル所デハ、制度ト組織ノ改正ニハ稍、煩被リヲシテ來タ感ガ強イト思ヒマス、私ハ實ハ會テ遞信省ノ飯ヲ食

ツタ經驗ガアリマスノデ、多少部内ノコトモ知ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ點ニ一ツノ缺陷ガアルト思フ、ソレニハ困ツテ來ル原因ガアルノデアリマスガ、作業廳タル遞信行政ハ作業ノ簡易化、技術化、サウ云フ點ニ今一段ノ工夫ヲシナケレバナラスノデハナイカト思フ、後デ時間ガアレバ其ノ點ニ付テ多少事例ヲ舉ゲテ御尋ネ致シタイト思ヒマスガ、此ノ思ヒ切ツテ作業ヲ簡易化スルト云フコトニ付テ、今多分御考ヘニナツテ居ルコトガアラウト思ヒマス、今申上ゲタヤウニ葉書ノ消印ナドハ廢メテシマフト云フ、思ヒ切ツタ作業管理ヲスル方針ガアリマスカドウカ、アルナラバ其ノ具體的ナモノ、或ハ片鱗ダケデモ御示シテ願ヒタイト思ヒマス

○小松政府委員 從來ノ遞信省時代カラ作業廳トシテノヤリ方ガ餘リニ細力過ギテ、今日ニ於テハモツト之ヲ簡易化シ、手續ヲ省略シテ能率ヲ増進スベキ餘地ガ相當アルノデハナイカト云フ御意見デアリマスガ、其ノ點私モ全ク御同感デアリマス、出來ル限リ各種ノ無駄ナ手續ヲ省略致シマシテ、此ノ手不足ノ際デモアリマスノデ、能率ヲ向上シテ行キタイト考ヘテ居ルノデアリマス、具體的ニドウ云フコトヲ考ヘテ居ルカト云フ點ニナリマス、マダ發表ノ時期ニ至ツテ居リマセスガ、何レ次ノ議會ニハ、殊ニ郵便法ノ改正ニ付テ一案ヲ持ツテ居ルノデアリマス、マダ發表ノ時期ニ至ツテ居リマセスガ、唯其ノ概略ヲ申上ゲテ見タイト思ヒマス、御承知ノヤウニ郵便局デモ一番困難ナ仕事ノ一ツトサレテ居リマスノハ、道順組立デアリマス、道順組立ニハ大體局全體ノ能力ノ何割カラ割イテ居ルコトハ御

承知ノ通りデアリマス、此ノ道順組立ガ素人デモ出來ル、或ハ町カラ應援ニ來タヤウナ所謂挺身隊トカ何トカ、サウ云フ人ノ手デモ出來ルヤウナコトニナリマス、非常ナ負擔輕減ニナルノデアリマスガ、今日ノ道順組立ハ非常ナ熟練者デナイト出來ナイ、局ニ採用シマシテカラ少クトモ、三年或ハ五年ノ經驗ヲ經ナイト、道順組立ト云フモノガ中々出來ナイヤウナ難カシイコトニナツテ居リマス、是ガ素人デモ出來ルヤウニナツタナラバ非常ナ手續省略ト申シマスガ、簡易化ニナルヤウニ思ヒマス、サウ云フ點ニ付テハ實ハ豫メテ研究ヲシテ居リマス、唯ハ郵便法ノ改正ナリ、何ナリ相當ノ手續ヲ要シマスノデ、モウ少シ其ノ點ヲ研究致シマシテ、是非ハ實行ニ移シテ見タイト考ヘテ居ル次第デアリマス

○竹内委員 來議會マデニ思ヒ切ツテ作業管理ノ簡易化ヲ圖ル具體案ヲ立テタイト云フ御話デアリマスガ、理窟ヲ申セバ、來議會マデノ間ガ最モ緊要ノ時デアルト云フコトハ申上ゲルマデモアリマセス、ドウゾ思ヒ切ツテ積極的ニ此ノ面ニ改善ヲ加ヘラレシコトヲ望ンデ止ミマセス、先程申上ゲタヤウニ、遞信行政ハ作業管理ヲ主トシテ行クノガ本旨デアラウト思ヒマス、然ルニ上ノ方デハ普通ノ監督官廳ノ管理ノ仕方ガ非常ニ強イ、例ヘバ遞信局ノ監督ノ仕方ニシテモ、文書監督ニ非常ニ重點ヲ置イテ、作業ノ簡易化トカ、能率ノ増進トカ、サウ云フ面ノ指導ナリ、研究ナリガ疎カニサレテ居ツタ傾向ガ相當濃厚デアルト私ハ考ヘマス、其ノ點ニ付テ希望ヲ申上ゲテ置キマス

次ニ御尋ネシタイノハ、先程ノ川副委員カラ御尋ネニ關聯致スノデアリマスガ、川

副委員長ノ御言葉ニモアリマシタ通り、今日特定局ニハ様々ナ問題ガアラウト考ヘマス、特ニ通信從業員ノ待遇問題ニ考ヘ及ビマス時ニ、其ノ中デ最モ惠マレテ居ナイ者ハ特定局、從業員デアルコトハ申上ゲルマデモナイノデアリマス、此ノ特定局ノ從業員ニ對シテノ待遇改善ヲ行フコトモ御考ヘニナツテ居ルト思ヒマスガ、具體的ニ御尋ネラ致シマスガ、今度ノ郵便電信料ノ値上ニ依ツテ増收ニナリマシタモノヲ引當トシテ、通信從業員ノ待遇ノ向上ヲ圖ルト云フコトデアリマシテ、勿論是ハ特定局從業員ニ及ブコトト考ヘマスガ、今回ノ特典ガ特定局從業員ニドノ程度ニ及ブ計畫デアルカ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○小林(武)政府委員 來年度ニ於ケル待遇是正ノ問題ニ付キマシテハ、特定局或ハ普通局ト云フモノニ區別シテ考ヘナイデ、一律ニ致シタイト存ジテ居リマス、尙ホ特定局員ガ非常ニ惠マレテ居ナイト云フコトハ、前カラ定評ガアルコトデアリマシテ、特ニ特定局員ニハ昇進ノ途ガナイト云フヤウナコトモ言ハレテ居ツタノデアリマスガ、實ハ來年度ノ新シイ大キナ施設トシテ特定局員モ判任官ニナレルト云フ途ヲ開キマシテ、來年度ニ於キマシテハ、全國ニ於キマシテ約二千人特定局ニ判任官ヲ配置シ得ルヤウナ施設ヲ致シマシタ、此ノ點ハ特定局員ニ取ツテハ非常ニ大キナ福音デハナイカト存ジテ居リマス、尙ホ待遇改善ト致シマシテ、只今私共ノ考ヘテ居リマスコトハ、此ノ前モ申上ゲマシタヤウニ、給料ヲ一律ニ或ル程度引上ゲテヤリタイ、同時ニ手當モ若干引上ゲタイト考ヘテ居リマス、其ノ率ガドノ位ニナルカト云フコトハ、全體トシテマ

ダ決定致シテ居リマセスガ、特定局竝ニ直轄局ノ間ニ差別ヲ付ケル積リハアリマセス、其ノ他特定局ニ付キマシテハ、現在經營上色々ナ困難ガアリマス、隨テ來年度ニ於キマシテハ、特定局ニ對シテ雜費等ヲ相當増額致シ、或ハ無集配局所等ハ今日非常ニ手當ガ低額デアルノデ、是モ或ル程度値上ヲシテヤリタイ、局舎料ニ付キマシテモ、非常ニ不合理ナ所ガアリマスノデ、是モ或ル程度値上ヲシテ、之ヲ合理化致シタイト云フヤウナコトモ考ヘテ居リマシテ、特定局ノ改善ト云フコトニ付キマシテハ、特ニ力ヲ注ギタイト存ジテ居リマス

○竹内委員 非常ニ満足ヲスベキ所ノ御答辯ヲ得タノデアリマス、待遇改善ニ於テ普通局ト特定局トノ差別ナク行フ、又判任官ニ登用ノ途ヲ開ク、是ハ特定三等局從業員ノ能率ヲ高メル上ニ於テ非常ニ效果ガアラウト思ヒマス、ソコデ今ノ御答ヘニ關聯シテ御尋ネ致シタイノハ、判任官ニナツタ場合ニハ無論恩給制度ニ浴セル譯デアリマス、但シ判任官ニナル者ガ今ノ御話デハ來年度ハ二千人ト云フコトデアリマス、多數ノ通信手デ判任官ナラザル者ガ殘ル譯デアリマス、特定局ノ組織ハ請負制ニナツテ居リマスノデ、ソコニ稍、問題ハアルノデアリマスガ、斯ウ云フ者ガ實際ヤツテ居ル仕事ハ國家ノ重要ナル通信事業デアリマスカラ、此ノ事業ニ從事シテ居ル通信手全體ニモ恩給制度ヲ及ボスノガ、私ハ國家トシテハ當然デハナイカト考ヘマス、勿論今デモ共濟組合ニ依ル年金制度トカ、一時退職賜金等ガアリマスガ、國家トシテノ通信手ニ對スル措置トシテハ、當然ソコマデ及ブベキデハナイカト考ヘマス、一體此ノ特定局ノ判

任官ナラザル從業員程、今日國家ノ仕事ヲ直接シテ居ル面ニ於テ身分ノ曖昧ナモノハナイト考ヘマスガ、其ノ身分ニ付テモ何カ又御考ヘニナツテ居ルカドウカ、此ノ點ヲ一點伺ヒタイノト、今特定局ノ雜費ノ値上ヲシテ其ノ經營ヲ豐カニシテ行キタイト云フ御答ヘガアリマシタガ、ソレニ關聯シテ、今特定局ニハ一級カラ六級マデ、級別ニ依ツテ交付金ニ差別ガアルノデアリマス、此ノ制度ガ發足シタ當時ニ於テハ、如何ニモ我が國內ニ於テモ其ノ地域ニ依ツテ物價ニ相當ノ高低ガアリマシタ、又實際ノ局ヲ運營シテ行ク上ニ於テモ、勞銀其ノ他ニ於テモ、高低ガアツタフデアリマスガ、現在此ノ統制經濟ノ中ニ於キマシテハ、物價ノ地域的差ト云フモノハ殆ドアリマセス、隨テ此ノ級別ニ依ツテ差額ヲ設ケテ居ル現在ノ特定局ノ經理ノヤリ方ハ私ハ不合理ダト思ヒマスガ、思ヒ切ツテ級別ヲ撤廢スル所マデ御考ヘニナツテ居ルカ、此ノ點ヲ伺ヒタイ

○小林(武)政府委員 只今特定局ノ判任官配置ガ少ナ過ギルト云フ御話ガアリマシタガ、私共モ其ノ通りニ考ヘテ居リマス、現在特定局通信手ハ約九千人居リマスガ、是等ニ付キマシテモ私共ハ全部判任官ニ致シタイ希望ヲ持ツテ居リマス、其ノ點ハ來年度ニ於テ相當ノ希望ヲ持ツテ居リマス、隨ヒマシテ近キ將來ニ於キマシテハ全部判任官ニ直リ積リデ居リマスソレカラ雜費ノ問題デアリマスガ、御話ノ通り雜費ノ支給方法ニ於キマシテハ從來缺陷ガナカツタハ思ヒマセス、隨ヒマシテ御話ノヤウニ來年度ニ於キマシテハ此ノ支給方法ヲ相當合理化致ス積リデ居リマス、尙ホ現在ニ於キマ

シテハ、ドチラカト申シマスレバ、雜費ノ支給ハ所謂大局ニ有利トナツテ出來テ居ルト云フヤウナ點モアリマスノデ、來年度ニ於キマシテハ寧ロ小局救済ノ意味ニ於キマシテ、小サイ局ニ厚クヤルト云フヤウニ、人ニ應ジテ順次薄クスルト云フ方法ヲ執ラウト存ジテ居リマス、即チ雜費ニ付キマシテハ一局ニ付テ基本幾ラ、ソレカラ從業員一人ニ付テ幾ラト云フヤウナ方法ヲ執ツテ居リマスガ、是等ノ方法ガ御話ノヤウニ是正出來ルヤウニ訂正スル積リデ居リマス

○竹内委員 只今ノ御答辯ニ結構ニ存ジマス、次ニ方面ヲ變ヘテ通信機械ノ問題ニ關シテ電線路ノ一元化ヲ斷行スル意思ハナイカラ御尋ネ致シタイ、通信材料トシテ電信電話用ノ機材、電柱、電線——銅、鉛、真鍮管等ハ直接作戰上緊急ニ必要ナル機材ガ多イノデアリマスカラ、國內ニ於テ一機一線デモ節約シテ戰場ニ送ルト云フコトハ當然デアリマス、ソレニ付テ考ヘラレルコトハ現ニ當局デ行ツテ居ルコトデアリマスガ、アノ架空線ノ太イ電線、銅モ多量ニ要スル線デアリマスガ、之ヲ「ケーブル」化シテ「ケーブル」ノ新線ニスルト、同量デ何回線力出來ルト云フコトハ誰デモ知ツテ居ルコトデアリマス、今日ノ場合此ノ架空線ヲ「ケーブル」化スルコトガ極メテ必要ナノデアリマスガ、之ニ對シテドウ云フ計畫ヲ十九年度乃至ハ其ノ以後ニ於テ行ハントシテ居ルカ、特ニ此ノ際緊急ナ問題ト思ヒマスコトハ電線路ノ一元化デアリマス、御承知ノ通り是ハ遞信省ニ於テモ前々カラ懸案ノ一ツトナツテ居ツタト思ヒマスガ、今ノ運輸通信省ノ中デモ遞信關係ノ電線ト、鐵道關係ノ電線トガ兩方アリマス、又警察電

話ト云フモノガアル、森林電話ト云フモノモアリマス、其ノ他ニモ特殊ナ電線路ガアルト思ヒマスガ、是等ノモノヲ一元化シテ電線電柱ノ經濟ヲ圖リ、作業員等ノ人員ノ經濟ヲ圖リ、又豫備機械ノ經濟ヲ圖ルト云フコトハ、理由ヲ申上ゲルマデモナク今日ノ急務デアアル、特ニ運輸通信省ガ出來マシテ通信鐵道兩省ガ合體シタ今日、此ノ電線ノ一元化ヲ行フコトガ運輸通信省トシテ一ツノ大キナ使命デアアルト考ヘマス、特ニ鐵道關係ノ電線ハ殆ド架空線デアリマスガ、此ノ架空線ヲ「ケーブル」化スルコトニ依ツテ出テ來ル銅ノ回收ト云フモノハ相當ナ數量ニ上ルデアラウト考ヘマス、此ノ電線路ノ一元化ヲ急速ニ斷行スル意思ト計畫ガアルカドウカ、此ノ點ヲ伺ヒマス

○小松政府委員 弱電線路ノ統合ニ付テノ御質問デアリマスガ、是ハ逓信省時代カラ永年ニ互ル問題デアリマシテ、幸ヒ今度ハ逓信鐵道兩省ガ一省トナリ、運輸通信省トシテ「スタート」シマシタノデ、只今御話ノヤウニ成ベク急速ニ一元化致シタイと思ヒマシテ、只今折衝中デアリマス、日本ノ電氣通信ニ付テ申シマス、數年前マデハ日本ノ弱電流ノ關係ハ大體外國ニ比シテ劣ツテ居ツタノデアリマスガ、今日デハ日本ノ弱電ノ技術ハ世界ノ群ヲ抜イテ居リマス、ソコデ從來外國ノ技術其ノモノヲ入レテ來テ使用サレテ居ツタ技術ヲ、今度新シイ日本ノ進歩シタ技術ニ變ヘテ行クト云フコトハ當然必要デヤラネバナラスコトデアリマス、通信院ノ線路ニ付キマシテハ、只今御話ノアリマシタヤウニ、裸線ヲ成タケ撤回シマシテ、殆ド全部「ケーブル」化スルコトニ著々進ンデ居リマス、大部分ハ出來上ツテ居

リマス、今日汽車、自動車ヲ旅行サレル際ニ、外デ見ラレル架空線ハ殆ド通信院ノ線ハナイノデアリマス、日本全體トシテ考ヘマスレバ、通信院ノ線ダケガサウナツタノデハ何ニモナリマセスカラ、鐵道ノ線路、内務省ノ線路、或ハ軍用線ニ於キマシテモ、戰時資材ノ節約ト云フ點カラ見マシテモ、技術ノ進歩ト云フ點カラ見マシテモ、御説ノヤウニ「ケーブル」化致シマシテ、通信ノ能力ヲモツトウント發揮セシメネバナラスト考ヘテ居リマス、御意見ノヤウニ只今取運ビ中デアリマス、何レ遠カラス内ニ實現スルト存ジマス

○竹内委員 最後ニ一、二點伺ヒタイノデアリマスガ、其ノ一ツハ貯金獎勵ニ關シテ、私率直ニ申シマスガ、ドウモ大藏省ト舊逓信省トノ間ニ步調ガ合ハナイト言ヒマスカ、非常ニシツクリシナイ點ガアツテ、市町村等ノ末端ニ於テハ多少迷惑シテ居ル向ガアルノデアリマス、是ハ私共例ヲ擧ゲテ申上ゲルマデモナク、能ク事情ヲ御諒承ノコトト思ヒマスガ、斯ウ云ウコトデアツテハ簡易保險ノ集金勸誘等、或ハ年金ノ集金等ヲ隣組ニ委託シタイト言ヒマシテモ、此ノ現情ノヤウナシツクリシナイ狀態デハ末端デハ迷惑ヲシテ、之ヲ取上ゲルニ躊躇スルデアラウト考ヘテ居リマス、此ノ點ニ付テ今後ドウシテ協調ヲシテ行ク積リデアルカ、此ノ點ヲ伺ヒタイ

ソレカラモウ一ツハ從業員ノ手不足ノ對策トシテ女子從業員ガ殖エテ來マスコトハ當然デアリマスルガ、其ノ女子從業員ニ關聯シテ伺ヒタイノハ、女ノ郵便局長ヲ採用スル意思ガアルカドウカト云フコトデアリマス、最近ノ新聞ニ依ルト銀行デハ女支

店長ヲ作ツタヤウデアリマス、私ハ無任配局ノ郵便局長ナドハ女デモ結構勤マル方ガアルト思ヒマス、ソコニ特殊ナ事情ノアル場合ニハ女ノ局長ヲ採用シテ行ツテ宜イト云フ御考ヘガアルカドウカ此ノ點ガ一ツ、第三ハ東北、北海道、北陸地方ノ如キ積雪ノ寒イ地方ニ於テハ、特定局ニ薪炭、雜費ヲ吳レナケレバ無理ダト思ヒマス、薪炭雜費ト云フモノハ全然ナイ、雜費ノ中ニ含ンデ居ルト言ヘバソレマデデアリマスガ、特ニ薪炭ノ雜費ヲ相當ニ見テヤラナケレバ作業上ニ非常ニ無理ガアルト思ヒマスルガ、此ノ點ハドウ御考ヘニナツテ居リマスカ、以上三點ニ付テ簡潔ニ御答ヘガ願ヒタイ

○中村(純)政府委員 貯蓄獎勵ニ關シマシテ大藏省ト逓信院トノ間デ、何カ面白クナイヤウナ摩擦ガアルノデハナイカト云フ御尋ネデゴザイマス、中央ト致シマシテハオ互ヒニ協力致シマシテ、今日非常ニ大切ナ仕事デアリマスル國民貯蓄ノ増強ト云フコトニ手ヲ携ヘテヤツテ居ルノデアリマス、唯今御話ノ如ク第一線ノ末端ノ方ニ參リマスルト、御示シノヤウナ事例モ私共時々耳ニ致シテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテ大藏當局ト致シマシテハ、要スルニ貯蓄ノ全面ニ付テイツモ考ヘテ行ク、隨ヒマシテ今日大キク見マス、日本ノ貯蓄機關ノ中デ所謂郵便局デヤツテ居リマスル官營ノ貯蓄機關、官營ニアラザル銀行或ハ信用組合、保險會社ト云フヤウナ民營ノ金融機關ト二ツアル譯デアリマス、大藏省ノ考ヘ方ト致シマシテハ、其ノ何レニ對シテモ同ジヤウナ立場デ行キタイ、殊ニ官營ノ貯蓄機關ナルガ故ニ其ノ方ニ力ヲ入レルト云フコトハ、結局其ノ半面民營ノ金融資金ノ

吸收機關ニ對シテ士氣ヲ沮喪サセル、其ノ結果トシテ日本全體ノ貯蓄増強ト云フ點カラ考ヘルト、必シモソレガ思ハシイ結果ヲ生ズルカドウカ分ラス、斯ウ云フノガ大藏省ノ從來ノ考ヘ方デアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ我々トシマシテハ非常ニ異存ガアル譯デアリマス、常ニ其ノ點ニ付テハ官營ノ貯蓄機關トシテノ特性、殊ニ郵便局デ扱ツテ居リマスル郵便貯金、或ハ簡易保險、郵便年金ト云フモノハ所謂大衆ヲ相手ニ致シテ居リマスル極メテ零細ナ金ヲ集メテ行ク仕事デアリマシテ、其ノ間ノ努力ハ他ノ金融機關ニ比ベテ非常ニ大キナモノガアル譯デアリマス、隨テ民營ノ金融機關ト同ジヤウナ立場デ扱ハレルコトハ、非常ニ困難デ困ルト云フコトヲ絶エズ話シ合ツテ居ル譯デアリマス、遺憾ナガラ今日マデノ大藏省ノ考ヘ方ハ、先程申シマシタヤウニ官營ノ資金吸收機關、民營ノ資金吸收機關トノ間ニ差別的ナ扱ヒ方ハ成ベク致シタクナイ、ソレガ國民貯蓄増強上ノ正シイヤリ方デアルト云フ考ヘ方デアリマス、隨テ例ヘバ從來地方ノ郵便局ニ於キマシテ、市町村其ノ他ト話合ヒマシテ、割當テラレマシタ目標額ヲソレノ下部組織ノ方ヘ割當テ、賞フヤウニ話ガ付イテ居ル場合ニ、大藏省側ノ方針ト致シマシテ、地方ノ自治團體ハ郵便局トサウ云フ特殊ノ關係ヲ結ンデヤルコトハイカスノダ、若シサウ云フ協定ガアルナラバ、協定ヲ廢メロト云フヤウナコトヲ直接間接ニ指示シテ居ツタ事實ガアルノデアリマス、其ノ結果折角郵便局ト、地方ノ市町村アタリト郵便局關係ノ貯蓄ニ關シテ話合ガ出來テ居ツタモノガ壞サレル、其ノ爲ニ郵便局トシテハ苦シイ立場ニ立ツト

云フコトハ御話ノ如クアツタノデアリマス、其ノ點ニ付キマシテハ、殊ニ來年度ハ非常ニ大キナ目標額ガ設定セラレテ居ルノデアリマス、從來ノヤウナ各金融機關トノ間ノ所謂自由競争ノヤウナコトデ貯蓄ヲ殖ヤシテ行カウト云フ考ヘ方ハ、我々ノ立場カラ言ヒマス、此ノ際一考シナケレバナラスノデヤナイカト考ヘテ居リマス、何レ來年度ノ各金融機關ニ對スル目標額ノ割當等モ近イ機會ニ行ハレト思フノデアリマス、其ノ際ニ我々ノ方ト致シマシテハ更ニ大藏當局ニ對シマシテ其ノ點十分ニ折衝致シタイト考ヘテ居ルヤウナ譯デアリマス

○小林(武)政府委員 只今ノ第二ノ御尋ネデゴザイマスガ、逓信省ニ於キマシテハ從來女子ハ非常ニ重用致シテ居リマシテ、最モ早イ機會ニ於テ判任官ヲ作ツタノデアリマス、御話ノヤウナコトモ御尤モダト存ジマスガ、差向ノ所ハ女子ノ特定郵便局長ヲ作ルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌガ、廳テ將來問題ニナルカト存ジテ居リマス

尙ホ東北、北海道地方ニ對シマシテ薪炭雜費ヲ認メナイノハイケナイト云フ御話デアリマシタガ、是ハ我々トシマシテハ或ル程度認メテ居ル積リデアリマス、隨ヒマシテ此ノ金額如何ガ問題ニナルト存ジマスノデ、又是等モ來年度ノ資金ニ於キマシテ適當ニ考ヘタイト存ジテ居リマス、薪炭關係ニ付キマシテハ東北、北海道ハ御話ノ通り他地方ト全ク異ナル事情ガアリマスノデ、其ノ外ニ普通局方面ニ於テモ若干雜費ハ考慮致シテ居リマスノデ、是トノ關係モアリマスガ、特定局ノ方面ニ於テハ金額ノ問題ニ於テ一ツ考慮シタイト存ジマス

○竹内委員 質問ヲ終ルノデアリマスガ、

最後ニ今ノ貯金獎勵ニ關シマシテ、大藏省ノ貯金獎勵局ト、逓信院ノ貯金獎勵ノ現在ノヤウナ行キ方ハ今政府委員ガ申サレタ通り、明年度ノアノ龐大ナ貯金ヲ消化スルニハ非常ナ支障ガアルト思ヒマス、此ノ點今末端マデシツクリシテ居ナイト云フ御話デアリマシタガ、只今ノ御答辯ニ依ツテモ中央デシツクリシテ居ナイコトハ明瞭デアリマス、ガカラ先ヅ中央デシツクリシテ、ソレガ末端ニ及ブヤウニ特ニ善處サレンコトヲ希望シテ私ノ質問ヲ終リマス

○田中(好)委員 私ハ竹内君ノ質問ニ關聯シテ一點ダケ御伺ヒシタイト思ヒマス、此ノ間運輸通信大臣ニ鐵道ノ從業員ト逓信從業員ノ待遇ニ關シテ、アマリ懸隔ガナイヤウニヤツテ貰ヒタイト云フコトヲ私ハ申述ベタノデゴザイマスガ、ドウモ鐵道ノ從業員ト逓信從業員ト比較シテ、私共ガ毎日接觸シテ居ル點ニ於テ見デミマス、逓信從業員ノ方ガ待遇モ惡イシ、ソレカラ能力モ惡イヤウニ私ハ思フテ、頗ル心細ク感じテ居ル一人デアリマス、何トカシテ良イ從業員ヲ養成セラレルヤウナ方針ヲ持ツテ居ラレルカドウカト云フコトヲ一點御伺ヒシタイト思フノデアリマス、ソレハ私ハ獲達ノ郵便局ノ管内ニ住居シテ居ル者デアリマスガ、先般軍人デ出征シテ居ル者ガ戰死シマシタカラ、弔ミノ電報ヲ打ツテヤラウト思ツテ持タシテヤリマシタ所ガ、弔電ハ全部引受ケナイト云ツテ返シテ來タ、ソレデ私ハサウ云フコトハナイ筈ダ、何時サウ云フコトニナツタノカト言ツテ聽イテ見マス、少シ待ツテ呉レト言ツテ、二時間程シマシテカラ電信係ガ、其ノ弔電ヲ却下シタノハ間違ツテ居リマシタ、惡ウゴザイマシタ、モ

ウ一遍濟マスケレドモ持ツテ來テ呉レ——是ハ宜シイ、所ガソレカラ又數箇月後ニ同ジ弔電ヲ打チニヤリマス、是ハ又イケナイト言ツテ却下シタノデアリマス、ソレデ又同ジヤウナ例ダト思フテ電話ヲシテ見マス、何時サウ云フ風ニ改正ニナツタノカ分リマセヌガ、郵便局ノ看板ニ弔電ハ受付ケナイト貼出シテアリマスカラ受付ケナイノデアリマス、是ハ何時ドウ云フヤウナ手續デ變ツタカ分リマセヌト云フノガ、二等郵便局ノ電報取扱者ノ言葉デアリマス、鐵道ハ貨物ノ禁止ヲヤル、野菜物ノ禁止ヲヤルノダト云フ時ニハ、是ハ鐵道省ノ告示ニナツテ居リマスモ明瞭ニ言フ、所ガ自分ノ專屬シテ居ル電報ガ何ノ爲ニ止メニナツテ居ルノカ、或ハ取扱ツテ居ルノカ分ラナイト云フヤウナコトデハ、洵ニ私共ハ心細イ氣ガスルノデアリマス、是ハ畢竟スルニ待遇モ惡イデアラウガ、從業員ノ養成ニ關シテ力ヲ注イデ居ナイ證據デハアルマイカ、斯様ニ思ヒマシテ御尋ネヲスル譯デアリマスガ、全國ノ通信事業ニ從事スル者ニ對シテ特殊ノ教育ヲ施サレルヤウナ御計畫ガアルカドウカ、現在ハ少シアルコトハ知ツテ居リマス、ソレ以上ニオヤリニナルコトノ計畫ガアルカドウカ、此ノ一點ダケ御伺ヒ致シマス

○小林(武)政府委員 御尋ネノ點デアリマスガ、逓信院ニ於キマシテモ、電信ニ付キマシテハ專屬ノ養成機關ガ全國ニアリマシテ、相當力ヲ入レテ居ル積リデアリマスケレドモ、通信現業員全體ト致シマシテハ、實ハ教育ヲ受ケタル者——所謂特殊教育ヲ受ケタル者ノ比率ハ非常ニ少イノデアリマス、隨ヒマシテ普通ノ局ニ於ケル者ハ、逓信

省ノ特殊ノ教育ヲ受ケナイデ、直グニ採用シタ者ガ多クヲ占メテ居リマスノデ、御話ノヤウナ向モアラウカト存ジマスガ、通信現業員ノ教育ト云フコトニ付キマシテハ、私共モ非常ナ力ヲ入レテ居リマシテ、實ハ此ノ爲ニモ相當ナ經費ヲ使ツテ居リマシテ、現在凡ソ九百萬圓カラ一千萬圓内外ノ經費ヲ養成ニ使ツテ居リマス、今後ニ於キマシテモ其ノ點ハ十分擴充致シタイト存ジテ居リマス、御話シノヤウナ點ハ主トシテ從業員ノ再教育ノ問題デアアルノデアリマスガ、是等ニ付キマシテモ十分力ヲ注イデ行キタイ、此ノヤウニ考ヘテ居リマス、唯何分ニモ現在學校ヘ採用スルニシテモ、應募者ガ比較的少イ、隨テ素質ノ良イ者ヲ採リニクイト云フヤウナ事情ニハアルノデアリマスガ、教育或ハ修練ニ依リマシテ、ソレ等ヲ出來ルダケ補正シテ行キタイ、左様ニ考ヘテ居リマス

○田中(好)委員 御答辯ヲ得マシタガ、實際隨分澤山居ルノデゴザイマスカラ、モウ少シ大キナ計畫ノ下ニ養成セラレテ、ソレヲ三等郵便局ト云ヒマスガ、兎ニ角末端ノ郵便局ニモ完全ナ者ヲ配置スルヤウニナサラスト、人ハナイ、惡イ者バカリ殘ツテ、通信事業ハ非常ナ後退ヲスルヤウナコトニナルノデアアルマイカ、斯ウ云フコトヲ懸念スルノデアリマス、鐵道ナドトノ關係カラ致シマシテモ、鐵道省ハ驛ニ於テ養成ノ方法ヲ執ツテ居ル、郵便局ノハソシナ養成方法ハ執ツテ居ナイ、採用シタ翌日カラ一生懸命現務ニ服スル、而モ未熟ナ頭デ現務ニ服スルノガ實情デアラウト思ヒマスカラ、何トカシテ全國ニ善良ナル從業員ガ普及スルヤウナ方法ヲ御考ヘニナランコトヲ御願ヒ

シテ置キマス

○新井委員 私モ關聯シテ一ツ質問サセテ戴キマス、先程竹内委員カラ御尋ネシマシタ從來ノ遞信省ト、從來ノ鐵道省トノ電信電話ノ一元化ト云フヤウナコトデアリマス、ソレニ付テ詳細ハ今折衝中ダト云フコトヲ御話ニナリマシタガ、此ノ一元化ト云フ言葉ガ「ケーブル」化カ、ソレトモ遞信、鐵道從來ノモノガ一緒ニナツテヤルト云フコトカ、ソレヲ御尋ネ致シマス

○小松政府委員 簡單ニ一元化ト申シマシタガ、是ハ御尋ネノ通り、勿論「ケーブル」化ニ依ル一元化デアリマス、唯建設保守ヲ統合シテヤルト云フコトデ、電信電話線ヲ運營スルニハ、只今鐵道ノ方ニ於テハ鐵道ヲ專用ヲ致シマス、内務省ノ警察部ニ付キマシテモ、警察電話ハ警察ヲ專用スルト云フコトデアリマス、唯一元化トカ、統合ト云フダケデハ御分リニナラナカッタコトト思ヒマス、要スルニ建設及ビ電柱ノ統合ヲ致シマシテ、電柱ガ何本モ立ツテ居ルノガ一つノ「ケーブル」ニ收マルヤウニシヨウト云フコトデアリマス

○新井委員 能ク分リマシタ、ソレデ結構デス、此ノ際申上ガテ置キマスガ、遞信關係、鐵道關係ノ電信電話ヲ共用シテ居リマスノハ、蒙疆地區デヤツテ居リマス、是ハアノ簡單ナ非常ニ回數ノ少イ鐵道デアリナガラ、ドウシテモ共同ガ出來ナイノデ、借リ上ゲテ、特別ナ電話線、電信線ヲ使ツテ居ツタノデアリマス、將來トモ此ノ點ハ議論ノ起ル所デスカラ私通信院總裁ニハツキリ御伺ヒシタ次第デアリマス、其ノ通信院總裁ノ御考ヘデ満足致シマス

○今井委員長 質問ハ是ニテ終了ヲ致シマ

シタ、午後一時マデ休憩致シマス、午後一時再開シテ船舶法ノ審議ニ入りタイト思ヒマス、是デ休憩致シマス

午後零時十分休憩

午後一時十四分開議

○今井委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、船舶職員法中改正法律案ノ質疑ニ入リマス、通告順ニ依リマシテ質疑ヲ許シマス——小山亮君

○小山(亮)委員 午前中運輸通信大臣ニ依ツテ説明ヲサレマシタ船舶職員法中改正法律案ヲ見マス、海技免狀ヲ整備シ、運輸士、其ノ他ノ呼稱ヲ改正シ、サウシテ航路別、噸數別ニ依ツテノ乗組船員ノ數ヲ決定シテ行ク、大臣ノ御説明ニ依レバ之ニ依ツテ航行ノ安全ヲ圖リ、船舶ノ運營能率ノ向上ヲ圖リ、海上輸送ノ完璧ヲ期スト仰シヤイマシタガ、唯名前ヲ變ヘタリ、海技免狀ヲ整備シタリスルダケデ航行ノ能率ヲ向上サセタリ、海上輸送ノ完璧ヲ期スルナドト云フコトハ、私共ニ取ツテハ説明サレタ言葉ニ對シテ、改正サレル法律案ノ内容ガ餘リニ貧弱デハナイカト思フノデアリマス、ソコデ先ヅ御質問ヲ申上ガタイト思ツテ居リマスコトハ、海技免狀ノ整備或ハ呼稱ノ變更、乗組船員ノ數ノ改正以外ニ、緊急ニ船員ニ對スル所ノ何等カノ法案ヲ御提出ニナリ、現在ノ狀況ヲ改良セラレル御意思ガアルカナイカ、ソレヲ御伺ヒ致シタイ

○妹尾政府委員 今ノ御質問デアリマスガ、船員ノ待遇ト云フコトニ付テハ、實際我々當事者ト致シマシテ十分デナイト云フコトハ能ク認識致シテ居リマス、何トカ之ヲ改善シナケレバナラヌト云フコトニ付テハ鋭

意努力致シテ居リマシテ、色々生活必需品ノ増配デアルトカ、或ハ給與モ各會社ニ依ツテ區々ニナツテ居リマスガ、サウ云フモノモ一定ノ基準ヲ示シマシテ、統一スルヤウニシ、其ノ他色々名譽的ノコトトカ、或ハ彼等ガ今勤メテ居リマシテモ、實際給與ト云ヒマス、初任ノ時ニハ餘リニ差ハナイノデアリマスガ、長ク勤メテ居リマシタ結果ハ、鑛山労働者、或ハ工鑛業ニ從事シテ居ル者ニ比ベマシテ、著シク船員ノ給與ノ惡イト云フコトモ能ク分ツテ居リマシテ、之ヲ是正スル如ク考ヘテハ居ルノデアリマスガ、今差當リ其ノ法案ヲ作り、或ハ一ツノ規則ヲ以テ根本的ニ立直スト云フマデニ準備ガ至ツテ居リマセス、部分的ニ今出來ルダケノ優遇ト云フコトニ付テハ努力ヲ致シテ居リマス

○小山(亮)委員 今回運輸通信省ト名前ガ變リマシタガ、遞信省ハ從來カラ船員ヲ擁護シナケレバナラヌトカ、船員擁護機關トカ、色々「ラジオ」ヲ通ジテモ、新聞ヲ通ジマシテモ、如何ニモ船員ヲ非常ニ優遇シテ居ルガ如キコトヲ形式ノ上デハ致シマスガ、内容ニ於テ今日マデ船員ハ何等優遇サレテ居ル事實ガナイノデアリマス、是ハ最近海運總局長官ニナラレタ妹尾長官ニ御質問ヲ申上ガラルコトハ少シ無理カモ知レマセス、併シナガラ前カラズツト長イ間管船局以來ヲ通ジテ遞信省ニ於テ船員問題ニシテモ、造船ニシマシテモ、船員對策ニシマシテモ、ヤツテ居ラレタ所ノ局長ハ、此ノ問題ハ十分ニ御承知デナクチャナナイ筈ナノデアリマス、私ハ何時ノ議會デモ議會ガ開カレル度ニ船員ノ對策ヲ誤ツテハナラヌト云フコトヲ常ニ言ウテ居ルノデアリマスガ、未ダニ實行ニナツテオイデニナラナイノデアリマス、而モ今日ハ戰爭ガ苛烈ニナリマシテ、此ノ大東亞各領域ニ於テ多クノ船員ガ陸海軍ノ軍人ト共ニ影ノ形ニ添フ如クシテ働キマシテ、戰死ヲシテ居ルヤウナ勇敢ナ船員ガ澤山アルノデアリマス、ソレニ對シテモ其ノ事實ヲ確認シテ居リナガラ、未ダニ船員ニ對スル何等ノ優遇方法モ講ゼラレテ居ラナイ、サウシテ今日ハ船員ニ應募スルモノモ殆ドナイ、之ヲ募集スルコトニスラ困難ヲ感ジテ居リマシテモ、マダ其ノ待遇改善トカ、給與ノ改正ト云フコトニ對シテ著手ニナツテ居ラナイ、私ハ此ノ點ハ當局ノ非常ナ怠慢デアルト思フノデアリマス、厚生省ハ今回議會ニ労働者年金法案ヲ出シテ居ル、其ノ中ニ船員ノ年金法ガ含マレテ居ルカト思ツテ調ベテ見マシタガ、船員ノ年金法案ハ入ツテ居リマセス、厚生省ガ既ニ陸上ノ労働者ニ對シテ是ダケノ措置ヲ講ジテ居ルノニ、何故ニ海務院當局ハ此ノ労働者年金法ニ對シテ厚生省ニ之ヲ繰入レルダケノ努力ヲ拂ハナカッタノカ、何故ニ労働者年金法案ト云フヤウナ船員ノ年金法案ヲオヤリニナラナカッタノカ、之ヲ御伺ヒ致シタイ、ソレヲオヤリニナルトスレバ、其ノ時期ハ何時ガ適當カ、何時オヤリニナルカ、今日ハ既ニ時期遅キニ過ギテ居ルト思ヒマスガ、之ヲオヤリニナル意思ガアルカドウカ御伺ヒ致シタイ

○妹尾政府委員 今ノ御質問デアリマスガ、船員ノ優遇トカ、或ハ待遇ノ改善ニ付テ何等ヤツテ居ラヌト云フコトデアリマスルガ、何モ私言葉尻ヲ捉ヘルノデアリマセスガ、何等ヤツテ居ラヌノデナクシテ、ヤツテ居ルノデアリマスガ、其ノコトニ付キ

マシテハ、細カクナリマスノデ、一例ヲ舉
ガテ細カイコトヲ私ハ能ク此處デ纏メテ居
リマセヌカラ、其ノ優遇法ニ付テハ船員局
長カラ御返答申上ゲマス、尙ホ今ノ年金ノ
コトニ付キマシテモ、私ハ概略承知シテ居
リマスガ、船員局長カラ御説明ヲ申上ゲサセ
マス

○石井(敬)政府委員 今ノ御質問デゴザイ
マスガ、船員優遇問題、是ハ前々カラ非常
ニ叫バレタ問題デアリマシテ、殊ニ大東亞
戰爭勃發後ニ於ケル船員ノ服務ト云フモノ
ガ、特ニ激シクナツタト云フコトデ、昨年ノ
一月二十六日ニ閣議決定ヲ以チマシテ、船
員優遇ニ關スル件、斯ウ云フモノガ出サレ
マシテ、船員ノ功績顯著ナル者ハ招魂社ニ
オ祀リスル、船員ニ付テ公葬ヲヤル、尙ホ
船員トシテ服務中ハ軍屬トシテ待遇スル、
尙ホ、大政翼賛會ヲ通ジマシテ、隣組、隣保
班等カラ、其ノ遺族、家族等ノ援護モヤル、
斯ウ云フ大體四項目ガ閣議決定ニナリマシ
タ、ソレニ基キマシテ、多少準備ハ遅レマシ
タガ、日本海員救濟會ノ機構ヲ改組擴充致
シマシテ、船員救濟援護會トシテ、殉職若
シクハ傷痍船員ノ援護ヲ徹底的ニヤラウ、
斯ウ云フコトデ昨年ノ十月既ニ發足致シマ
シタ、之ニ對シマシテハ、各方面カラノ寄附
ヲ仰グト共ニ、政府ノ補助金モ其ノ方ニ貫
ヒマシテ、ソレニ依ツテ概ネ軍事援護ニ準
ズル取扱ヲシテ、殉職船員ノ遺族、傷痍船
員ノ家族、或ハ傷痍船員ニ對スル援護ノ徹
底ヲ期シヨウ、斯ウ云フコトデ目下著々準
備ヲ進メテ居リマス、船員ノ戰爭中ニ於ケ
ル所ノ色々ノ勇敢ナル行為、若シクハ美談、
勤勞等ニ對シテハ、陸軍ニ於テ既ニ四名、
海軍ニ於テ二十六名金鷄勳章ヲ拜受シテ居

リマス、尙ホソレ以下ト申シマスカ、サウ
云フモノハ澤山ゴザイマスガ、任務中ニ特
ニ他ノ模範トナルヤウナ行動ヲシタ者、若
シクハ永年船員トシテ勤務シ、殊ニ其ノ功
績顯著ナル者ニ付キマシテハ、船員顯功章
ト云フモノヲ作りマシテ、是ハ大臣トシテ
船員ニ褒賞ヲスル、勤勞章、顯功章、斯ウ云
フ二ツノ「メタル」ヲ作りマシテ、ソレヲ授與
スルト共ニ、其ノ功績ヲ表彰スル、斯ウ云
フ方法ヲ現在實施中デアリマス、尙ホ給與
ニ付キマシテハ、先程長官カラモ御話ガア
リマシタガ、船員ノ給與ハ他ノ産業ニ比ベ
テ中堅ドコロガ低イト云フノデ、其ノ改正
方ヲ目下起案研究中デゴザイマス

保險ノコトニ付キマシテハ、在來船員保
險法ト云フモノガ、大正十五年ニ出來マシ
テ實施中デゴザイマス、船員保險ハ主トシ
テ低給者、年收入額千八百圓以下ノ者ニ對
シテノ保險デアリマシテ、是ハ怪我シタ場
合ノ治療及ビ入院ノ代金ヲ出ス、或ハ死亡
シタ場合ノ年金ヲ出スト云フコトガ、厚生
省ノ下ニ船員保險ガ現在實施サレテ居リマ
スガ、今回厚生省デ實施サレマシタ勞務者
ノ厚生年金法ノ方が若干在來ノ船員保險法
ヨリモ率ガ良クナルト云フ關係モゴザイマ
シテ、目下厚生省ニ於テ船員保險法ヲソレ
ト比ベテ更ニ改善シヨウ、斯ウ云フコトデ
案モ既ニ出來テ居リマス、近イ機會ニ其ノ
改正ガ行ハレルト云フコトニナツテ居リマ
スガ、直接船員ノ身上ノコトヲヤツテ居リ
マス我々ノ方トシテ、ソレニ對シテ種々要
求モシ、一緒ニナツテ研究ヲヤツテ居ル、
斯ウ云フ狀況デゴザイマス、一般ノ船員ノ
殉職等ノ場合ニ於ケル、或ハ傷痍ノ場合ニ
於ケル給與トフ問題ニ付キマシテハ、現在

御承知ノヤウナ狀況デ、船舶、船員ト云フ
モノノ國家管理ヲヤツテ居リマスガ、尙ホ
會社トノ關係モ一部存シテ居ルト云フコト
デ、傷痍若シクハ死亡ノ場合ニ於テハ、會
社ニ於ケル見舞金、或ハ退職手當ノ外ニ、
國家ト致シマシテ、一時賜金、殆ド軍人ニ
準ズルト申シマセウカ、サウ云フ一時賜金
ヲ頂戴シテ居ルト云フ現狀ニナツテ居リマ
スガ、其ノ額ニ付キマシテハ、總額ニ於テ
現狀必ズシモ満足スベキ狀態ニマデ行ツテ
居ルト云フコトハ考ヘテ居リマセヌガ、漸
次斯ウ云フモノノ額モ引上ゲ、尙ホ先程長
官ノ御話ノアツタヤウナ給料ノ引上モ現ニ
考慮中デゴザイマス、サウ云フコトト相俟
ツテ、全般的ニ船員ノ待遇ヲ良クシヨウ、
斯ウ云フコトニ付テ目下研究中デゴザイマ
ス、船員ノ募集ノ問題モ一寸御意見ガアツ
タヤウニ思ヒマシタガ、高級船員ガ現在相
當逼迫シテ居ルト云フ狀況ニ對シテ、我々
ノ方トシテモ、特ニ此ノ點ニ意ヲ用ヒマシ
テ、昨年ノ暮ニ高等商船學校ノ生徒募集ヲ
ヤリマシタガ、相當努力シタ結果、十五、
六倍ト云フ志望者ヲ出シマシテ、銓衡中デ
ゴザイマスガ、續イテ中等商船短期高等海
員ト云フモノモ目下募集中デゴザイマスガ
ソレモソレ程デナクテモ相當ナ應募者ガア
ルト云フコトヲ豫期シテ居リマス、普通船
員ニ付テハ之ニ比ベマシテハ應募者ガ若干
少イト云フ點ガゴザイマスガ、是ハ今後ノ
造船等ト見比べマシテ、大々的ニ募集ニ努
力シテヤル積リデゴザイマス、今マデハ大
體補給上甚ダシイ支障ナク賄ヒ得タト云フ
狀況デゴザイマス、大體是ダケデゴザイマ
ス

○小山(亮)委員 此ノ船員問題ヤ、船
舶ノ問題デ政府委員ト議論ヲシヨウト考ヘ
テ居ルノデハアリマセヌ、隨テ只今ノヤウ
ニ何等施設ヲシテ居ラヌト云フコトハナ
イ、少シハヤツテ居ル、斯ウ仰シヤイマス
ガ、私ハ左様ナコトハ議論スル積リデハナ
イガ、逐次是カラ私ガ御質問申上ゲルコト
ニ依ツテ、如何ニ船員ト云フモノニ對シテ
特ニ顧ミラレナイ狀態ニアルカト云フコト
ハ、御分リデアルト思ヒマスカラ、私ハ一
ツツ事實ニ付テ率直ナル質問ヲ致シマス
ノデ、ソレニ對シテ時間ガゴザイマセヌカ
ラ、成ベク簡單ニ御説明ヲ願ヒタイ、只今
御説明ヲ伺ヒマシタ中ニ、船員ノ應募者ハ
非常ニ多イ、殊ニ高等商船學校等ニ對スル
船員ノ應募者ハ非常ニ多イ、斯ウ云フコト
ヲ言ハレマシタ、陸軍ヤ海軍ニ對シテアレ
ダケ熱狂的ニ青年ガ應募シテ行ク中ニ、大
大的ナ募集ヲシナケレバ普通船員ハナイト
云フ事實ト、高等商船學校ニ對シテ何故十五、
六倍モノ學生ガ殺到シテ行クカ、ソレハ現
實ノ狀況ヲ御覽ニナレバ分ルノデアリマス、
サウシテアノ高等商船學校ヲ出タ者ガ商船
ノ乗組員トシテ働ク積リナラバ、アンナニ
應募者ハナイノデアリマス、海軍ノ特務ノ
仕事ヲスル、即チ海軍ノ軍人ト同様ニ、軍
艦デ働ケルト云フ感激デ高等商船ニ入ツテ
居ルノデアリマス、其ノ證據ニハ、同様ノ
率デ中等商船學校ニモ應募シテ行カナケレ
バナラヌ筈デアアルノニ、中等商船學校ガ十
五、六倍ニナツタコトハナイノデス、其ノ
事實ヲハツキリト御認識ニナレバ能ク分ル
ノデス、素人ニ御説明ナサルナラバ、東京
商船學校ニ十五倍ノ生徒ガ應募シテ居ルト
仰セラレテモ納得スルデセウガ、事實ヲ能
ク検討シテ見レバ、商船ノ乗組員ニナラウ

トシテ居ルノデハナイノデアリマス、是ハ長官ハ是レ以上深く申上ゲナクテモ御分リニナルコトダラウト思ヒマスシ、尙ホ是ハ軍機ニ觸レルトイケマセスカラ、此ノ位ニシテ置キマスガ、ソレ位船員ニナリ手ハナイ、ナゼナリ手ガナイカ、是ハ實際ニ今日ノ待遇ヲ檢討スレバ明瞭ニ分ルノデアリマス、是ハ議論ヲスルノデハナク、自分ノ意見ヲ述ベルノデハナイ、事實ダケヲ申上ゲテ是カラ御質問申上ゲマスカラ、ドウカソレニ付テ率直ナル御答辯ヲ願ヒタイ

尙ホ海軍ノ軍務局長ガ見エテ居ラレマスカラ、此ノ機會ニ私ハ軍務局長カラ伺ヒタイノデアリマスガ、現在海軍ノ徵用船トシテ、大東亞ノ各水域ニ活躍シテ居ル船ハ相當ノ數デアリマス、其處ニ働イテ居ル船員、是ハ先程申シマシタヤウニ海軍ト共ニ陰トナリ、日向トナリ、其ノ手足トナツテ輸送ニ働イテ居ル、殆ド戰團要員トシテ働イテ居ルト私ハ思ヒマスガ、是ハ丁度縁ノ下ノ力持チノヤウナ仕事デアリマスカラ、非常ニ辛イ働キヲシテ居ル船員モアルダラウト思ヒマス、又其ノ船員ノ中ニハ酬イラレザル身デアリナガラ、ドンナニカ國家ノ爲ニ御役ニ立ツテ居ル者モアルダラウト思ヒマス、其ノ點ニ付テ海軍徵用ノ船員ノ活躍シテ居ル狀況、或ハ其ノ中デ特筆スベキモノ、私共ガ伺ツテ居ル方ニ傳ヘテヤリタイト思フヤウナ、海軍ノ方デ認メラレテ居ル功績等ノ實例ガアリマシタラバ、ドウカ此ノ機會ニ御發表ニナリ得ル範圍内デ詳細ニ伺ヒタイ

○岡政府委員 只今ノ小山君ノ御質問デアリマスルガ、我々モ此ノ船員ノ戰爭ニ於ケル非常ナル活躍ニ對シテハ常ニ感激、感謝

ヲシテ居ル次第デアリマス、今ノ御質問ニ對シマシテ、私ノ見タリ聞イタリシテ居ルコト、所感ヲ申述ベタイト思ヒマス、開戰以來各方面ニ行動シテ居リマスル船舶乗員ノ勇敢ナル行爲ニ付キマシテハ、屢、其ノ報告ヲ受ケテ居リマシテ、其ノ一部ハ既ニ公表濟ミノモノデアリマス、又近ク發表豫定ノモノモアリマス、大東亞戰爭開戰以來、船員デ其ノ功績ガ顯著デアリマシテ、殊動ト認定セラレマシテ、金鵄勳章ヲ賜ハリマシタ者ハ、先程政府委員カラ話ガアリマシタガ、合計二十七名ニ達シテ居リマス、是ハ海軍ダケデアリマス、特ニ特設輸送船一隻ハ聯合艦隊司令長官カラ、其ノ功績ノ偉大ナルコトヲ認メラレマシテ、感狀ヲ授與セラレテ居リマス、是等船員ノ奮闘美談モ澤山アリマスルガ、相手ガ大抵、敵ノ飛行機、及ビ潜水艦デアリマシテ、大體似タリ依ツタリノモノデアリマス、例ヘバ或ル船ノ如キハ、開戰當初カラ南方前線ヘノ補給任務ニ從事シテ居リマシタガ、敵ノ浮上潜水艦二隻ト遭遇致シマシテ、劣勢ナル兵裝ヲ顧ミズ、敢然之ヲ砲撃致シマシテ、遂ニ其ノ一隻ヲ撃沈シ、他ノ一隻ヲ撃破シタト云フ偉功ヲ奏シタモノモアリマス、此ノ戰團ニ於テ船員三名ハ壯烈ナル戰死ヲ遂ゲタノデアリマス、又特設運送船ノ或ル船ハ「トラック」附近ニ於キマシテ敵ノ潜水艦ノ魚雷攻撃ヲ受ケマシテ、揮發油ニ火ガ點イテ火災ヲ起シマシタ、大發、其ノ他救助艇ヲ下スコトニナリマシタガ、中々此ノ火災ガ烈シクテ下リナイ、其處ニ居ル二等機關士ハ部下一名ト共ニ、我が身ノ危險ヲ顧ミズ、刻々ニ沈ンデ行ク船、而モ暗黒ナル機關室ニ飛込ンデ焚火ヲ自分デ以テ續ケテ、サウ

シテ消防「ポンプ」及ビ發動機ノ運轉ヲ繼續シテ、救助艇、大發、其ノ他ヲ下スコトガ出來タト云フヤウナ勇敢ナル行爲ノ船員モ居リマス、或ハ又敵潜水艦ヲ至近ノ距離ニ發見シマシテ、勇敢ニ之ニ衝突ヲ敢行シテ、敵艦ヲ撃沈シタ、又或ル機帆船ガ敵ノ潜水艦ノ機銃射撃ヲ受ケタ際ニ、敢然トシテ敵ノ潜水艦ニ衝突ヲ試ミテ、其ノ中ノ血氣ノ乘員ガ敵艦ニ泳ギ著イテ格闘ヲショウト云フヤウナ姿勢ヲ執ツタ爲ニ、敵ハ潛航避退シテ、逃ゲテ行ツテシマツタト云フヤウナ例モ聞イテ居リマス、斯様ニ勇敢デアリマシテ、所謂船員精神ト言ヒマスカ、又船員魂ト申シマスカ、能ク此ノ本分ヲ全フセル實例ハ實ニ枚舉ニ追ガナイノデアリマシテ、我々海軍士官ヲシテ非常ニ感奮セシムル例ガ多イノデアリマス、抑、海上輸送ノ強化ハ戰爭遂行上最モ重要ナルモノデアリマシテ、直接此ノ任ニ當ツテ居ル船長初メ船員ノ責務ハ極メテ重大ナルモノガアルノデアリマス、平時ニ於キマシテモ、御承知ノ通り船ヲ安全ニ、最モ效率良ク運航スルト云フコトハ容易ナコトデアリマセス、又其ノ勤務ハ専門ノ技能ヲ必要ト致シマシテ、並々ナラス苦心ガアルノデアリマス、其ノ實際ノ狀況ハ責任ヲ以テ船ヲ運航シタト云フ經驗ノアル者デナケレバ十分ニ納得シ得ナイ、又納得セラレナイモノガアルノデアリマス、殊ニ開戰以來敵潜水艦ノ跳梁スル海面ヤ、敵ノ飛行機ノ行動圈内ヲ運航スルコトハ、對潜水艦、對飛行機上ノ特殊ノ技能手腕ヲ必要トシマスト共ニ、平時ノ倍或ハ幾十倍ト云フ程ノ勞苦ガアルノデアリマシテ、全責任ヲ持ツ船長ノ如キハ、一タビ海洋ニ出マスレバ名實共ニ不眠不休、而モ食

事モ落着イテ出來ナイト云フ狀態ナノガ普通デアリマス、隨テ一航海終レバ、心身共ニ非常ナ疲勞ヲ覺ユルト云フガ實際ノ實情デアリマス、而モ一方輸送力ヲ極度ニ發揮スルヲ要スル爲ニ、荷役其ノ他ハ極度ニ縮減サレテ、又再ビ直グ大洋ニ出航シタケレバナラスト云フノガ今日ノ狀況デアリマシテ、船長初メ船員ノ並々ナラス努力ニ對シマシテハ衷心我々ハ感謝シ、非常ニ敬意ヲ表シテ居ル次第デアリマス、是等極メテ勇敢ナル船員ハ、非常ニ少數ノ人數デ、而モ武裝ガ不十分ナ船ヲ以テ晝夜ヲ問ハズ、所謂見エザル敵、空カラ突如トシテ現ハレテ來ル敵ト相對シマシテ、而モ波濤ヲ冒シテ第一線將兵ノ勞苦ニ優ルトモ劣ラザル奮闘ヲ續ケテ居ルノデアリマシテ、船員各位ハ強キ盡忠ノ精神ト、熱烈ナル責任觀念、最モ勇敢ナル膽ツ玉ヲ以テ默々トシテ海上輸送ノ重責遂行ニ邁進シツ、アルノデアリマス、我々ハ常ニ是等船員ニ對シマシテ非常ナ感激ヲ致シテ居ルノデアリマス、私ハ此ノ機會ニ於キマシテ皆様ヲ通ジマシテ、國民全般ガ此ノ船員ノ努力ト勞苦、本戰爭ニ於ケル船員ノ立場、之ヲ十分ニ全國民ニ理解セシメルト共ニ、船員ノ士氣ノ昂揚、保健、又慰安、斯ウ云フモノニ對シマシテハ勿論、其ノ家族ニ對シテモ後顧ノ憂ヒナク、船員ヲシテ活動セシムル爲ニ眞ニ同情アル態度ヲ持タレマシテ、政府ガ色々施策ヲ實行シテ居リマスルガ、之ニ十分ナル御協力ヲ賜ハラレンコトヲ御願ヒスル次第デアリマス、又同時ニ船員諸君ニ於キマシテモ更ニ一層ノ努力ヲ致サレテ、萬難ヲ排シテ海上輸送ト云フ此ノ現下最大ノ國家ノ要請ニ對シマシテ、重責ノ達成ニ邁進セラレンコ

トシテ居ルノデハナイノデアリマス、是ハ長官ハ是レ以上深く申上ゲナクテモ御分リニナルコトダラウト思ヒマスシ、尙ホ是ハ軍機ニ觸レルトイケマセスカラ、此ノ位ニシテ置キマスガ、ソレ位船員ニナリ手ハナイ、ナゼナリ手ガナイカ、是ハ實際ニ今日ノ待遇ヲ檢討スレバ明瞭ニ分ルノデアリマス、是ハ議論ヲスルノデハナク、自分ノ意見ヲ述ベルノデハナイ、事實ダケヲ申上ゲテ是カラ御質問申上ゲマスカラ、ドウカソレニ付テ率直ナル御答辯ヲ願ヒタイ

トヲ希望シテ已マナイ、斯ウ云ウ風ニ考ヘルモノデアリマス

○小山亮委員 海軍當局ニ對スル質疑ハ是デ私ハ終リマシタガ、只今ノ軍務局長ノ船員ニ對スル御話、或ハ船員ノ家族ノ問題マデモ取上ゲテ論ジラレマシタコトハ、日本中ノ船員ガ之ヲ聽キマシタ時ニドノ位感謝ヲシ、ドノ位國家ノ爲ニ、又更ニ力ヲ揮ヒ起スカ知レナイコトダラウト思ヒマシテ、私ハ非常ニ喜バシク嬉シク拜聴致シマシタ

第二ニ此ノ議會ニ於キマシテハ重大ナル船員ノ問題ニ對シテ、船ト人ト云フ一番重大ナ問題ニ對シテドナタモ論議ガ觸レテ居リマセヌ、隨ヒマシテ私ハ特ニ船員問題ガ出マシタ機會ニ、細カニ船員ノ現狀ニ付テ當局ノ御承知ナイヤウナ面モゴザイマス

今日ノ戰爭ニ參加シテ戰闘要員トナツテ居リマスル船員、其ノ身分ハ船舶ヲ所有シテ居リマスル資本家ノ使用人デアリマス、使用人デアリマスガ、陸軍、海軍ノ徵用船トナリ、或ハ陸軍、海軍ノ徵用船ニナラナイデ、今危險ナル海上ヲ航海シテ居ル者デモ、其ノ氣持ハ一資本家ノ使用人デアルト云フ氣持ニ甘ンジテ居ル者ハナイノデアリマス、皆悉ク本當ニ國家ノ爲ニ、此ノ戰爭ニ勝ツ爲ノ戰闘要員デアルト云フ氣持デ働イテ居ルノデアリマス、隨テ此ノ場合ニ一資本家ノ使用人デアツテ、僅カナ賞與ヤ、給料ノ爲ニ船員ガ働クノダト云フヤウナ考ヘヲ持チマシタ場合ニハ、ドウシテアノ危險ナ敵ノ飛行機ノ中ニ突込ミ、或ハ敵彈ノ雨霰ト降ル中ヲ敵前上陸ニ、小舟艇ヲ突込ンデ行クト云フコトガ出來ヨウ道理ガナイ、今日ノ如キ場合ニ於テハ、政府ハ船員ト云

フモノニ對スル根本對策ヲ御立デニナツテ、根本的ニ船員ノ立場ヲ御考ヘ直シニナル機會デハナカラウカ、言ヒ換ヘレバ第二ノ海軍軍人ト同様ニ、之ヲ海運總局ナラ總局ガ船員ト云フモノヲ總括的ニ傘下ニシツカリ統括シテ、サウシテ軍人ヲ訓練スルト同ジヤウニ訓練シテ、政府ノ志ス所ノ船員ヲ供給シテヤルト云フヤウニ、根本カラ御建直シニナル時期デハナカラウカト思フノデアリマスガ、御所見ハ如何デアリマスカ

○妹尾政府委員 今ノ御意見ハ一ツノ見方デアリマシテ、サウ云フコトガ急激ニ出來レバ、又はハ一ツノ方法デ大變宜イコトダト思ヒマスガ、今直チニサウ云フ轉換ハ相當困難ダラウト思ヒマス、御意見能ク承リマシテ、尙又詳細其ノ實行スル方法、其ノ他モ御聽キ致シマシタ上デ、著シキ障礙ガナク、宜イコトデアレバ非常ニ結構ナコトデアリマシテ、ソレヲ採入レルト云フコトニ付テハ一ツモ異存ハアリマセヌガ、私ノ直感デハ海軍ノ軍人ノ如ク全船員ヲ海運總局ノ職員トシテ、之ヲ一資本經營ノ會社ニ皆配置シテ行クカ、ドウ云フ工合ニシテ行クカト云フコトニ付テ直チニ考ヘガ浮ビマセヌカラ、尙ホ能ク御意見ヲ承リマシテ、著シキ支障ガナケレバサウ云フコトハ非常ニ結構ダト思ヒマス

○小山亮委員 是ハ直チニ斯ウ云フ風ニスルト云フコトヲ當局ニ要求スルコトモ無理カト思フテ居リマスケレドモ、此ノ點ハ新シイニカラノ日本ノ海運ト云フコトヲ新タニ考ヘマス、モウ戰爭前ノヤウナ古い資本家ガ自分勝手ニ船ヲ廻ハスト云ツタヤウナヤリ方ノ時代ハ過ギタノデアリナイカ、ドウシテモ新シイ海運政策、海運對策、或

ハ船員對策ト云フモノヲ根本的ニ考ヘナケレバナラス時期ガモウ既ニ來テ居ルノデアリナイカト思ヒマス、私ハ少クとも其ノ意見ヲ持ツテ居リマスガ、是ハ御研究ヲ願ヒタイト思ヒマス

ソレニ付テ一ツノ例ヲ申シマス、例ヘバ今日高級船員、普通船員ノ配船ガ極メテ困難デアリマス、所ガ實ニ不思議ナコトハ、海運總局ノ方ガ運航實務者ヲ五ツノ班ニ區分シテ、其ノ五ツノ班デ勝手ニ仕事ヲサセルヤウニサセマシタ結果ハ、宜イ部面モアルデアリマセウガ、惡イ部面モ亦ソコニ生ジテ參リマス、例ヘバ例ヲ申上ゲマス、名前ヲ申シテハ其ノ會社ニ氣ノ毒デアリマスカラ、名前ハ差控ヘマスガ、或ル大キナ船會社ノ如キハ豫備ノ高級船員、普通船員ヲ通ジテ約七百名乃至八百名ノ豫備テ居ル、然ルニ今度ノ戰爭ノ爲ニ新シク出來マシタ油槽船會社、サウ云ツタ小サナ會社ニハ實績ガアリマセヌカラ、船員ハ一人モ持ツテ居ナイ、船ハドン／＼出來テ來テ、政府ハ此ノ船ヲ早く受取レト云フノデアリマスガ、船員ヲ一人モ持ツテ居ナイ、ソコデ今マデアリマシタ大キナ船員ノ持溜メヲシテ居ル會社ニ一々頭ヲ下ゲテ、一人々々ズ、船員ヲ貰フノデアリマス、所ガ中々其ノ會社ガ——船員ニモ善イモノ、惡イモノガ澤山アリマスカラ、善イ船員ヲ呉レナイデ、惡イ船員カラ一人、二人位ツ、ヤル、其ノ持集メタ船員ヲ以テ、一番大事ナ油ヲ輸送スル大事ナ船ニ乗セル、ソレガ爲ニ未熟練ナ船員デアリ、船内ノ平和ガ、各會社ノ違ツタ所カラ寄せ集メタノデアリマスカラ、ドウシテモキツチリ行カナイ、ソ

レガ爲メ——ソレガ爲メト云フ譯デハナイデセウガ、船員ノ技術ガ低下シタ爲ニ起ル海難事故ガ相當多イノデアリマス、今日苛烈ナル戰爭下ニ於テ、敵襲ノ爲ニ船ガ壞サレルト云フコトハ、是ハ當然ナコトデ、私共覺悟シテ居リマスガ、船員ノ技術ガ低劣ナ爲ニ海難事故ガ此ノ戰爭下ニ於テ益、多クナツテ來ルト云フ現狀ヲ見マス時ニ、此ノ船員對策ト云フモノヲ何トカ考ヘナケレバイケナイノデアリナイカ、所謂持チ溜メヲシテ居ルヤウナ大キナ會社デゴザイマス、優秀ナ船員ヲ持ツテ居リマスカラ、其ノ會社ノ方ガ却テ事故ガ少ク、新シク出來タドン／＼船員ガ不足シテ、貰ヒ集メシテ居ルヤウナ會社ノ船ニ機關ノ故障ガ起ツタリ、或ハ海難事故ガ起ツタリ、此ノ事實ヲ見マストキニ、優秀ナ船員ノ持溜メナンカラ出來ナイヤウニ海運總局ニ於テノ對策ヲ御立ニナルノデナカツタナラバ、少クとも日本ノ是カラノ海運政策ハ立チ行カナイト私ハ思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ特別ナル御考慮ヲ願ハナケレバナラスヤウナ時代ニナツタノダト云フコトヲ考ヘマスノデ、其ノ點ニ付テ特ニ其ノ對策トシテ海軍總局ガ船員ヲ全部握リ、サウシテ其ノ船員ノ運營ト云フモノハ船員局ナリ、何ナリニ委託シテ、ソコデ配船シ、何處ノ會社ニ所屬シテ居ツタモノハ何處ノ船ニ行クト云フコトニ、文句ヲ言ハセナイヤウニスルノデナカツタナラバ、是カラノ對策ハ立チ行カナイト思フノデアリマス、此ノ點ヲ御質問ヲ申上ゲタノデアリマス、御考慮サレルト云フコトデアリマスノデ、此ノ點ハ此ノ程度ニシマス

尙ホ今日ノ船舶ノ狀況ハ、戰爭前ノ狀況

レガ爲メ——ソレガ爲メト云フ譯デハナイデセウガ、船員ノ技術ガ低下シタ爲ニ起ル海難事故ガ相當多イノデアリマス、今日苛烈ナル戰爭下ニ於テ、敵襲ノ爲ニ船ガ壞サレルト云フコトハ、是ハ當然ナコトデ、私共覺悟シテ居リマスガ、船員ノ技術ガ低劣ナ爲ニ海難事故ガ此ノ戰爭下ニ於テ益、多クナツテ來ルト云フ現狀ヲ見マス時ニ、此ノ船員對策ト云フモノヲ何トカ考ヘナケレバイケナイノデアリナイカ、所謂持チ溜メヲシテ居ルヤウナ大キナ會社デゴザイマス、優秀ナ船員ヲ持ツテ居リマスカラ、其ノ會社ノ方ガ却テ事故ガ少ク、新シク出來タドン／＼船員ガ不足シテ、貰ヒ集メシテ居ルヤウナ會社ノ船ニ機關ノ故障ガ起ツタリ、或ハ海難事故ガ起ツタリ、此ノ事實ヲ見マストキニ、優秀ナ船員ノ持溜メナンカラ出來ナイヤウニ海運總局ニ於テノ對策ヲ御立ニナルノデナカツタナラバ、少クとも日本ノ是カラノ海運政策ハ立チ行カナイト私ハ思フノデアリマス、此ノ點ニ付テ特別ナル御考慮ヲ願ハナケレバナラスヤウナ時代ニナツタノダト云フコトヲ考ヘマスノデ、其ノ點ニ付テ特ニ其ノ對策トシテ海軍總局ガ船員ヲ全部握リ、サウシテ其ノ船員ノ運營ト云フモノハ船員局ナリ、何ナリニ委託シテ、ソコデ配船シ、何處ノ會社ニ所屬シテ居ツタモノハ何處ノ船ニ行クト云フコトニ、文句ヲ言ハセナイヤウニスルノデナカツタナラバ、是カラノ對策ハ立チ行カナイト思フノデアリマス、此ノ點ヲ御質問ヲ申上ゲタノデアリマス、御考慮サレルト云フコトデアリマスノデ、此ノ點ハ此ノ程度ニシマス

尙ホ今日ノ船舶ノ狀況ハ、戰爭前ノ狀況

ト可ナリ變ツテ居リマス、第一ニ陸軍、或ハ海軍ノ徵用船ニナリマシタ場合、陸軍、海軍ノ豫備ノ兵士ナリ、何ナリガ護衛ノ爲ニ高射砲隊トカ、或ハ設置シタ所ノ砲手トシテ海軍並ニ陸軍ノ軍人ガ乗込シテ参リマス、其ノ乗込シテ來マシタ所ノ船員ニ指揮命令ヲ下スモノハ誰カト云フコトニナルト、是ガ統帥權ノ關係デ、概ネ現在ノ船ノ乗組ノ船長ト云フモノハ、豫備ノ海軍ノ軍人ガ多イノデアリマスガ、併シナガラ其ノ人達モ豫備ナルガ故ニ現役トシテ乗込シテ居ル砲手ニ對シテ指揮命令ヲスルコトノ命令權ヲ持ツテ居リマセス、是ハヤハリ何カ統帥權ノ關係ナンカデ喧シイ問題ニナルノダサウデアリマスカラ、之ヲドウシロ、斯ウシロト云フノデアリマセスガ、少クトモ船内ニ乗込シテ居リマス所ノ、陸軍ニシロ、海軍ニシロ、船内ニ乗込シテ船ノ防衛ニ當ツテ居ル所ノ者ノ風紀上ノ取締、或ハ日常ノ言動ノ取締ト云フモノニ對シテハ船長ガ絕對責任ト指揮權ヲ持ツテ之ヲ指揮スルコトガ出來ルヤウナコトデナカッタナラバ、船内ノ平和モ保テナケレバ、船内ノ秩序ノ維持モ出來ナイ、是ガ非常ニ惱シテ居ル實際ノ問題デアリマスガ、此ノ點ニ對シテ海務院長官ノ方デ何カ御名案ガアリマシタラ伺ヒタイ

○妹尾政府委員 其ノ問題ハ御意見ノ通り甚ダ工合ノ惡イモノデアルト云フコトヲ痛感致シテ居リマス、ソレデハ何トカナル方法ハナイデアラウカト云フコトニ付テ聽キマシタ所ガ、是ハ既ニ私が著任以前カラ海軍ノ方ニ色々交渉ヲシテ居ルサウデアリマス、何トカスル方法ヲ考ヘテ居ルノデアリマスガ、之ヲ全般的ニ及ボスト云フコトニ

付テ相當困難ガアルト云フコトデアリマス、ソレハ今仰シヤウタヤウニ、全部ガ豫備員ノ船長ガ乗ツテ居リマス、之ヲ其ノ時召集シテ現役ニ服セシメマスレバ宜イノデアリマスガ、全然兵籍ノナイ人ガ居リマス、或ハ陸軍ノ兵籍ヲ有ツテ居ツタ人モアリマス、ソレヲ召集スルト云フコトニモ行キマセス、ソレカラ兵籍ヲ全然有ツテ居ラス人ハ軍屬ト云フコトニナリマス、軍人ト軍屬ト云フ關係デ、軍屬ガ軍人ヲ指揮スルコト云フコトニナルト云フ工合ノ惡イ點ガアリマスノデ、全般ニ及ボスコトガ色々困難デアルト云フコトデアリマスガ、私ハサウ云フ理窟ハ理窟トシテ御意見ノ通りダト思フノデアリマシテ、サウ云フ理窟ヨリモ、苟クモ船ニ乗ツテ居ルト云フト、船長ガ總テノ責任ヲ持ツ、風紀其ノ他保安上ノ責任ヲ負フ人デアリマスカラ、其ノ船ニ乗ツテ居ル人ヲ何トカ取締ル方法ト言ヒマスガ、指揮命令ヲスル、或ハ局限シタモノニナリマスガ、ソレデモ取締ラナケレバイカスト云フ考ヘヲ持ツテ居リマスノデ、何トカ之ヲ解決スル方法ヲ、イツマデモ研究バカリシナイヤウニシテ、是ハヤツテ行カナケレバナラス斯ウ考ヘテ居リマス

○小山(亮)委員 船内ノ乗組船員ノ食糧ニ就テデアリマスガ、乗組ノ普通船員ノ食糧ハ四合四勺デアリマス、高級船員ノ食糧ハソレヨリカ遙カニ少イノデアリマス、所ガ現在ノ船員ハ一日ニ三回、四時間ヅ、働ク譯デアリマスガ、機關部員ノ如キニ至ツテハ、労働ガ非常ニ過勞デ、火ヲ焚イテ居ル非常ニ過勞ナ労働デアリマス、ソレバカリデハナク、賄部員ニ至ルマデ、今日ハ日本ノドノ港ヲ出マシテモ、一時間經テバモウ直グソコニ潜水艦ガ居ルノデアリマスカラ、何時デモ戰鬪狀態ナンデアリマス、ソコデ手ノ空イテ居ル者ハ仕事ヲ休ンダ時ニモ全部高イ所ニ上リマシテ見張ヲヤツテ居ル、サウシテ自分ノ時間ハ又働ク、時間ガ濟ンダラ見張ヲヤツテ居ルト云フノデ、年中休ンデ居ルコトハ殆ドナイノデアリマス、斯ウ云フヤウナ人達ニ對シテ此ノ四合四勺ノ配給米デハ非常ニ少イノデアリマス、又高級船員ニ對シテモ僅少過ギルノデアリマス、陸軍ヤ海軍ノ兵隊サンガ乗ツテ居ル、其ノ兵隊サン自身ニ對シテハ四合九勺カ五合ノ配給ガアルノニ、一緒ニ乗ツテ居ル船員ニ對シテハ四合五勺、高級船員ハモツト少イ、危險ハ同ジデアアル、敵前上陸ノ時ニモ一緒ニ死ンデ居ル、今ノ海軍ノ發表ニ依リマシテバ、實ニ壯烈ナル最後ヲ遂ゲテ居ルニモ拘ラズ、同ジ船ニ乗ツテ、同ジニ働イテ居ルニ拘ラズ、給與ダケガ少イ、斯ウ云フコトガ船員ニ及ボス思想上ノ影響モ惡イバカリデナシニ、是デハ十分ナル労働ガ出來タ所デ、小サイ船ノ乗組員マデ入レテ十二萬カ十三萬ニ過ギナイ、其ノモノノ食糧ダケヲセメテ海軍、或ハ陸軍ノ一番下ノ兵隊ト同様ナ給與ダケヲヤツテ貰フト云フヤウナ方法ハ執レナイモノデセウカ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス

○妹尾政府委員 其ノ問題ハ御意見ノ通り甚ダ工合ノ惡イモノデアルト云フコトヲ痛感致シテ居リマス、ソレデハ何トカナル方法ハナイデアラウカト云フコトニ付テ聽キマシタ所ガ、是ハ既ニ私が著任以前カラ海軍ノ方ニ色々交渉ヲシテ居ルサウデアリマス、何トカスル方法ヲ考ヘテ居ルノデアリマスガ、之ヲ全般的ニ及ボスト云フコトニ

○妹尾政府委員 高級船員ハ今仰シヤウウニ現在ハ二合九勺デアリマス、普通船員ハ四合四勺割當テ、貰ツテ居リマス、是ハ今御説明ノ通り洵ニ不都合デアリマスノデ、高級船員普通船員共ニ同量トシ、而モ軍人ト同ジノ——此ノ數量ハ申上ゲテ宜イカドウカ分リマセスガ——程度ニ増量スルヤウ

ニ今農商省ニ交渉シテ居リマス、是ハ必ず解決シナケレバナラヌト思ツテ居リマスノデ、又或ハ側面カラノ御援助ヲ御願ヒシタイト思ツテ居リマス

○小山(亮)委員 更ニ船舶乗組員ノ勤務上ニ必要ナル物資、例ハバ作業衣、仕事スル爲ニ必要ナ仕事着、或ハ「シヤツ」或ハ手袋、靴、地下足袋、斯ウ云フヤウナモノノ配給ガ實ニ遺憾ナノデアリマス、船員ガヤツテ居ル仕事ハ戰爭ヲシテ居ルノト何等變ラナイ、戰鬪要員ナノデアリマス、戰鬪要員デアアルニモ拘ラズ、配給サレル物資ハ軍需トシテ取扱ハレナイデ、民需トシテ取扱ハレテ居ル、隨テ軍人トハ雲泥ノ差ガアルノデアリマス、アノ白イ所謂軍手ト稱スル手袋ノ如キハ、アレダケ過激ナ労働ヲヤリ、石炭室ニ潜リ、或ハ荷役ヲスル、機械ヲ動かスト云フヤウナ労働ヲヤツテ居ル所ノ其ノ船員ニ對シテ、一箇年ニ二著デアリマス、一箇年ニ二著ノ手袋シカ貰ヘマセス、軍需工場ヤ鑛山ニ働イテ居ル所ノ労働者ニ比ベタラ、此ノ一箇年ニ二著ト云フノハ如何ニモ船員ヲ侮辱シタヤウナ支給ノ仕方ダト私ハ思フノデアリマス、此ノ點モ當然御改善ニナラナケレバナラヌコトダト思ヒマス、又「ゴム」底足袋ニシテモ、十人ノ乗組員ガアレバ、其ノ二人分半シカ一年ニ寄越サナイ、十人ノ乗組員ニ對シテ一年ニ二足半ノ地下足袋デハ、是ハ働カナイデ寢テ居ルト云フコトヲ意味スルモノデアアル、本當ニ働カセヨウトスルナラバ、ヤハリ之ニ對シテモ普通ノ鑛山ヤ、或ハ軍需工場ヤ、或ハ陸軍ヤ海軍ノ一番低イ位置ニ居ル者ガ貰フ位ノ物資ハ配給シテ貰ハナケレバ、船員ハ働ケナイト云フコトニナリマス、又作業服ノ如キモ、ヤ

ハリ十人ニ對シテ二人分半デアル、仕事ヲスル爲ニ着ル着物ガナイ、仕事ヲスル着物ヲ貰ハナケレバ仕事ガ出来ナイ、貰フト云ツテモソレハ買フノデアリマスガ、ソレヲ配給シテ貰ハナケレバ仕事ガ出来ナイニモ拘ラズ、仕事ヲスル着物ガ十人ニ對シテ二人分デアル、是デハ募集サレテ船員ニナツタ者ガ、陸ニ居ル間ハ待遇ガ良イトカ何トカ言ハレマシテ、養成所ニ居ル中ハ海ニ對スル憶レヲ持ツテ居テ、サウシテ船ニ乗リマスガ、乘リマシテ三箇月カ、四箇月經チマスト、給與モ惡イ、米モ少クテ腹ガ減ル、オマケニ地下足袋モ呉レナケレバ、手袋モ呉レナイ、長靴モ呉レナケレバ、雨ガ降ツテモ合羽モ支給サレナイト云フコトニナリマス、デアリマスカラ、何時マデ經ツテ募集シテモ、底ノナイ釣瓶ニ水ヲ入レルト同ジヤウナモノデ、今ノ待遇ヲ改メ、物資ノ配給ヲ改メナケレバ絕對ニ船員ハ船ニ留マラナイノデアリマス、是ハ海運總局長官ガ御承知デアリマセウ、コンナニ困ツテ居ルノニ、先程長官ガ言ハレタヤウニ、是ダケノ支給デモ出来ルヤウニシタシト仰シヤルナラバ是ハ議論ニナリマスガ、是デハ殆ド支給シテヤラナイノト同ジコトナノデアリマス、又汽罐部員ノ下駄デアリマス、船デ下駄ヲ履クト云フノハ非常ニワカシナ話ダト御考ヘニナルカモ知レマセウ、アノ汽罐室ノ底ニ居ツテハ、靴ヤ地下足袋デハ堪リマセヌ、非常ニ焼ケタ熱イ石炭ガ出テ來ル、其ノ中ヲザク／＼踏ンデ仕事ヲスルノダカラ、下駄ガ必要ダ、其ノ下駄ノ配給ガナイ、恐ラク是ハ農商省ノオ役人サンハ船ナンカニ下駄ハ要ラナイト云フノデ、船ヲ忘レラレタノデアラウト思ヒマスガ、船ニハ下駄ガ

非常ニ必要ナノデアリマス、此ノ配給モ十分ニ圓滑ニシテ働ケルヤウニシテヤツテ貰ヒタイ、又煙草ノ配給モサウデアリマス、港ニ著イテ陸ノ人ト同ジヤウニ煙草屋ノ前ニ行列シテ並ンデ居ツテハ、碇泊中ノ船員ハ働ケマセヌ、是ハ現在ハ報國團ノ方カラ經メテ支給シテ貰ツテ居ルヤウニ聞イテ居リマスガ、更ニモウ一段ノ御工夫ヲ願ヒタイノハ、産業報國會、或ハ海軍艦船ニ配給サレル煙草ハ税金ヲ除ケルノカ何カ知ラスガ、煙草ノ價格ガ安イノデアリマス、船ノ方ダケハ税金モ何モ控除シテ貰ヘマセヌカラ、高い、船舶乗組員ダケハ高い煙草、陸上デ買フト同ジ煙草ヲ喫ツテ居ルノデアリマス、若シ海軍ノ乗組員ガ幾分カ安イ煙草ガ喫ヘルモノデアラナラバ、又産業報國會ガ配給シテ居ル煙草、ソレガ幾分カ安ク喫ヘルノデアリマスカラバ、ヤハリ海運報國團ガ船員ニ配給シマス煙草モヤハリソレト同ジ價格デ配給サレルヤウニ御心配下サルノガ至當デハナイカト思フ、又汽罐部員ニ對シテ石鹼ガ殆ド配給ガナイノデアリマス、アノ汽罐部員ハ石炭デ眞黒ニナツテ居ル、ドウシテモ仕事ガ濟ンデ寝ル時、或ハ飯ヲ食フ時ニハ石鹼ヲ洗ハナケレバ、アノ石炭ハ落チマセヌ、殊ニ碇泊中ニ汽罐ノ掃除ヲスル、此ノ汽罐掃除ニ付テハ長官ハ能ク御承知デアリマセウガ、一般ノ官廳ノオ役人サンナドハ汽罐掃除ガドンナニ辛イモノカト云フコトハ御承知デナイデセウガ、一々汽罐ノ中ヘ、潜リ込ミマス、汽罐ノ中ノ湯ヲ拂ヒ落シテマダ冷タクナラヌ内ニアノ中ニ入ツテ、一生懸命鍔ヲ落シタリ、汗ダラケニナリ、眞黒ニナツテ掃除ヲスル、サウシテ仕事ガ濟ンデモ石鹼ガナイ、頭ノ髪ノ中マデ芥ヤ鍔

ガパイ入ツテ居ルノニ、ソレニ對シテ石鹼ガナイ爲ニ、汽罐掃除ヲスルノヲ厭ガルト云フ傾向ガアリマス、是ハ船ノ運航ニ危険ヲ生ズルコトハ明カナコトデアリマス、是ハ實際ノ戰闘員デアリマスカラ、斯ウ云ウモノハ民需ニシナイデ、軍需ニシテ行クヤウニヤツテ戴キタイノデアリマスガ、長官ノ御意見ヲ伺ヒタイノデアリマス

○妹尾政府委員 御指摘ノ通り、現在形式上ハ民需デアリマシテ、其ノ獲得ガ甚ダ困難デゴザイマスカラ、將來此ノ船員用ノモノハ特ニ軍需ニ準ジテ優先配給ヲ受ケルト云フコトデアリマセヌト、ドウシテモコチヲノ要求通りニハ現物化ナリ、或ハ實物ヲ割當テ貰ヘナイト云フコトデアリマスカラ、是ハドウシテモ閣議決定ニシテ戴カストイケマセヌノデ、目下之ヲ閣議決定ヲシテ戴カヤウニ手配中デアリマス、若シサウ出来マシタナラバ、今ヨリモモツト改善シ得ルト思ヒマスガ、唯何分ニモ全體ノ物資ノ中カラ脱合セテ割當ヲ受ケルモノデアリマシテ、コチヲノ要求通り必ズ是ガ貰ヘルガドウカト云フコトニ付テハ分リマセヌガ、全然努力シテ居ラナイ譯デハアリマセヌ、言譯スルヤウデアリマスガ、今御指摘ニナツタ物ニ付テ申シマス、其ノ他ニモ澤山要求シテ居ルノデアリマス、昭和十八年度ノ纖維必需物資トシテ要求致シマシタ物ハ、作業服ハ一年ニ二着、軍手ハ一箇月一ツ、ゴム底ノ地下足袋ハ二足、石鹼ハ一箇月ニ二ツ、下駄ハ一箇月一足、煙草ハ金鵝級ノモノデアリマスガ、一日ニ一ツト云フヤウナ割合、其ノ他多數ノ物資ヲ擧ゲマシテ要求ヲシ、相當折衝シタモノト思ハレマスガ、是ハ昨年ノ春ヤツタコトデアリマスガ、全體

ノ物資ノ脱合セカラ、斯ウ云フ査定ヲ受ケテ、現在ノヤウナコトニナツテ居ルノデアリマスガ、全然「ゼロ」ニセラレタト云フヤウナ物ハ餘リ澤山ハナイノデアリマシテ、例ヘバ夏ノ「ズボン」デアルトカ、或ハ國民服デアルトカ云フヤウナモノハ削除ヲ受ケテ居リマスガ、其ノ他ノ物ハ兎ニ角十分デハナクトモ、配給ハ受ケテ居リマスカラ、今ノヤウナ少シシカ貰ヘナイト云フ狀況デアリマスガ、何トカ此ノ所要求ヲ充足スルヤウニ來年度、十九年度ニハ、十分努力致シテヤラナケレバイケナイト存ジテ居リマス、殊ニ今御指摘ニナリマシタ見張員用ノ雨合羽ト云フヤウナモノハ、ドウシテモ必要ナノデアリマシテ、是ハ現在ノ狀況ヲ以チマスト、布地ハ一萬五千着分割當ヲ貰ツテ居リマスガ、今其ノ「ゴム」ノ配當ガナイノデ、製造ガ出来ナイト云フ狀況デゴザイマス、其ノ他今ノ煙草ノ問題ハ全部ヲ免稅ト云フヤウニシテ居ラスノデ、妙ナコトデアリマスガ、一部ハ安クシテ鑛工業勞務者ト同ジヤウニ致シテ居リマスガ、是ハ全體デハアリマセヌデ、或ルモノハ安ク買ツテ居ルト云フ狀況ニナツテ居ル譯デアリマス、ソレカラ酒ハヤハリ普通ノ船員ダケハ特配ノ價格ニシテ居リマス、ソレカラ高級船員ハ値段ハ安クハシテ居リマセヌガ、數量ダケハ特配スルト云フコトニナツテ居リマス、未成年者ノ船員ニ對シテハ煙草ノ代リニ菓子ヲヤルト云フヤウニ、十分デハアリマセヌガ、兎ニ角努力ハ致シテ居ルノデアリマスガ、尙ホ之ヲモツト充實致シマシテ、其ノ船員ガ逃ゲテ餘所ノ方ニ行ツテシマフト云フヤウナコトガアツテハナラナイノデアリマスカラ、其ノヤウニ十分優遇ト云フコ

トヲ考ヘナケレバ、イカスト考ヘテ居リマス

○小山(亮)委員 只今一々物ヲ舉ゲテ申上
デマシタコトハ、唯御參考ニ申上ゲタノデ、
ソレニ一々御説明ヲ承ラナクテモ宜イノデ
アリマスガ、御參考ニ申上ゲルト、現在ハ毛
布ガアリマセス、毛布ノ配給ガ全然駄目ナ
ノデ、新シイ船員ガ参リマス時ニハ、家カ
ラ蒲團ヲ持ツテ來イト云フコトニシテ、サ
ウシテ船主ノ方ガ其ノ蒲團ニ對スル損料ヲ
拂フト云フヤウナコトニナツテ居ルノデア
リマスケレドモ、普通船員ニナツテ來ヨウ
ト云フヤウナ者、其ノ家庭ト云フモノハ皆
貧困ナ家庭ガ多イノデアリマス、ソレデモ
尙ホ國家ノ御役ニ立タウト言ツテ應募シテ
來ルノデアリマス、ソレニ對シテ蒲團ヲ家
カラ持ツテ來イト云フヤウナコトニナルト、
其ノ蒲團ガ持ツテ來ラレナイ爲ニ、船ニ乗
レナイト云フヤウナ者モ出來テ参リマス、
此ノ點ハ防禦具ト云フモノモ一應海運總局
ノ方デ、乗組員ニハドウスルト云フヤウナ
對策ヲ御立テ願ハナケレバナラヌト思ヒマ
ス、以前ノヤウニ毛布ガ自由ニ手ニ入ル時
分ニハ、銘々ガ買ツテ居ツタノデアリマス
ガ、今ハ金ヲ出シテ買ヘナイモノデスカラ、
非常ニ困ツテ居ル、ソレカラ「ゴム」ノ長靴デ
アリマス、是ハ寒イ所、アノ「キスカ」トカ「アッ
ツ」トカ云フ方面ニ海軍ノ艦船ト共ニ行動
シマス船ナドハ、波ガ甲板ノ上ニ打上レバ
直ダ凍ルノデアリマスカラ、甲板上ハ四尺
モ、五尺モ氷張リニナツテシマフ、サウ云
フヤウナ所ニ居ツテ、「ゴム」ノ長靴モナイ、
長靴ガナイモノデスカラ、今日デハ新聞紙ヲ
足ニ巻イテ、其ノ上ニボロ／＼ノ襪襦布ヲ
巻着ケテ、ソレヲ細イ紐デ巻イテ働イテ居
リマス、其ノ姿ト云フモノハ實ニ憐レナモ

ノデアル、ソレデモヤハリ寒サガ透ル、
水デ濡レルモノデアリマスカラ、働クノニ
逆モヤリ切レナイ、防水ノ雨合羽モナイ、
雨合羽モナイカラ甲板ニ立ツテ、サウシテ錨
ヲ打ツ時ニ、一番先ニ出テ潮ヲ浴ビテ、自
分ノ體ガズブ濡レニナル、ズブ濡レニナル
バ直ダ風邪ヲ引ク、風邪ヲ引カラ結局ハ
甲板ノ下ニバカリ居ツテ、中々出テ來ヌト
云フヤウナ結果ニナル、斯ウ云フ點ハ船舶
ノ航行ニマデ安全率ヲ非常ニ脅カス大キナ
問題ニナツテ來ルノデアリマスカラ、些々
タル問題デアリマスガ、非常ニ大キナ問題
デアリマス、此ノ點モ海軍ノ水兵ガ合羽ヲ
支給サレル、陸軍ノ二等兵ガ合羽ヲ支給サ
レル、靴ヲ支給サレルト云フナラバ、ドウ
カ此ノ船員ニモ、ソレハ決シテ將校ノ持
ツテ居ルヤウナ物ヲ配給シテ呉レト云フノ
デヤナイ、一番低イ水兵、或ハ一番低イ陸
軍ノ兵士ノ支給品ト同様ナ物デ宜イノデア
リマスカラ、ドウカソレヲ萬遍ナク支給シテ
戴クヤウニ特ニ御骨折ヲ願ヒタイノデアリ
マス
ソレカラ給與ノ問題ハ、長官ガ既ニ其ノ點
ハ御承知デ御考ヘ下サルコトト思ヒマスカ
ラ、敢テ深クハ觸レマセスガ、現在ノ普通船
員ハ乗船シマシタ時ハ、成程初任給ガ四十
二圓デアルトカ、四十五圓デアリマスケレド
モ、普通船員トシテ戰場ニ働イテ甲板長ト
カ、或ハ機關ヲ操作スル所ノ、今名前ガ變ツテ
居リマスカラ何ト申シマスカ、操縦長ト申
シマスカ、昔ノ火夫長、ア、云フヤウナモノ
ニナリマスニハ、ドウシテモ十五、六年ノ年月
ガ要ルノデアリマス、十七カ十八位ノ時ニ
船ニ乗リマシテ、二十歳ノ時ニ四十二圓ナリ
四十五圓ナリ取ツタ人ガ、ソレカラ十五十六年

モ經ツテ、サウシテ最後ニドノ位ノ給料ヲ貰
フカト云フト、僅カニ百五十圓以上ニハナ
ラナイノデアリマス、サウ云フコトニナツ
タ時ニハ、勿論陸ニハ家庭ヲ持チマス、子供
モ出來マス、其ノ家庭ト船トノ二重生活ヲ
シテ居ツテ百五十圓位ノ給料デ、ドウシテ
モ自分ノ子供ヲ國民學校以上ノ學校ニヤル
コトガ出來ナイト云フコトガ見極メガ付イ
タ時ニハ、船員ヲ辭メヨウト云フ氣持ガ起
ルノデアリマス、是ハ陸ニ働イテ居ル人ニ
比ベテ能ク御考ヘ下サレバ分ルノデアリマ
ス、船ノ水夫長、火夫長ト云フノハ軍艦ニ
於テハ兵曹長ト同ジヤウナ役ヲスルノデア
リマス、其ノ位置ニナリマシタ者ニハ、決
シテ老後ノ心配ノナイヤウニ家庭ノ子供位
ハ學校ニヤレル位ニ給與ヲ御改メテ願ヒタ
イ、サウデナケレバ日本ノ海員ヲ志望スル
者ガナクナルノハ當然デアアル、物價ハ日ニ
日ニ上ル、給與金ハ上ラナイ、益々家庭ハ食
ヘナクナルト云フコトニナレバ、家庭ヲ脅
カサレテ、ドンナ船員魂ヲ持ツ勇猛果敢ナ
者デモ、ソレハ駄目ニナルノデアリマスカ
ラ、此ノ點ハ特ニ御留意ヲ御願ヒシタイ、
之ニ對シテ若シ長官カラ重ネテ給與ニ對ス
ル所ノ御考ヘヲ御開明願ヘレバ、私非常ニ
幸ヒデアリマス
○妹尾政府委員 今御指摘ノ通りデアリマ
シテ、殊ニ年齢ガ四十歳以上ニナリマス、
此ノ船員ト工場労働者ト云フモノニ非常ナ
差ガ付イテ居ルト云フコトハ事實デアリマ
スノデ、之ヲ劃期的ニ直サナケレバイカス
ト云フコトヲ考ヘテ居リマシテ、目下給與
ニ付テハ基準ヲ審議中デゴザイマスカラ、
近イ將來之ヲ公定シテ、サウシテ各船主ヲ
シテ成ベク基準通りニ實行サセルヤウニ指

導シテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○小山(亮)委員 先程厚生省ノ年金制度ニ
付テノ長官ノ御趣旨モ伺ヒマシタガ、今茲
ニ實例ヲ取ツテ申上ゲテ見タイト思ヒマス
ノハ、船員ガ戰場ニ於テ戰死スル、或ハ
遭難シテ死シタト云フヤウナ者ニ對スル
所ノ手當、ソレガ今ドウ云フ風ニナツテ居
ルカト云フコトヲ御承知カモ知レマセスガ、
御參考ノ爲ニ申上ゲテ見タイ、ソレト海軍
ノ將校或ハ海軍ノ兵隊トノ給與ヲ比較シテ
見タイト思フノデアリマス、現在平均年齢
四十七歳デ商船ノ船長ノ職ヲ執ツテ居ル者
ノ平均ノ給料ガ二百四十四圓九十錢デアリ
マス、死シタ時ノ手當ハ家族ニ依ツテ違ヒ
マスカラ、假ニ妻ガ一人、子供ガ三人ト云
フ家族デ比較シテ見マス、給料ニ對スル
手當ハ戰死シタ場合ニハ三十六箇月ノ給與
ヲ貰ヘマス、ソレカラ所持品ヲ失ツタト云
フ者ニ對スル遭難手當ト云フノガ六箇月貰
ヘマス、サウスルト死シタ場合ニ其ノ船長
ガ貰フ所ノ手當ハ全部合計シテ平均一萬八
千七百十二圓四十錢貰フ譯デアリマス、之
ヲ例ヘバ二十年間ノ保證即時終身年金ト云
フノニ入レテ、サウシテ其ノ中カラ毎月幾
分ヅ、家族ガ貰フト云フコトニナリマス、
毎月家族ガ貰フノハ年金月額八十圓六十二
錢ヅ、貰フ、是ハ二十年間貰ヘル譯デアリ
マス、所ガ更ニ之ヲ海軍ノ方ト比較シテ見マ
ス、先ヅ船長ヲ大尉位ノ所ニ一應引下ゲテ
比較シテ見マス、現在ノ海軍ハ大尉デモ一級、
二級、三級トアリマスカラ、其ノ眞申ニ
持ツテ見マス、大尉ノ二級位ノ所デ月給ガ百
三十七圓五十錢デアリマスガ、是ガ戰死シタ
ト云フコトニナルト、先ヅ少佐ニナリマス、少
佐ニナツテ假定俸給ニ依ツテ幾ラ貰ヘルカ

ト云フコトニナリマス、少佐ノ年俸ハ三千二百五十圓、是デズツト割出シテ見マス、扶助料其ノ他恩給ハ、大尉ガ死シテ少佐ニ昇級シテ、假定俸給ニ依ツテ計算サレテ、月額幾ラ貰フカト云フト、百三十七圓五十錢ノ本給ヲ持ツテ居ツタ大尉ノ恩給ハ百三十九圓四十三錢貰フ譯デアリマス、生前ノ俸給ト殆ド變ラナイダケノモノヲ家族ガチャント貰フデアリマス、是ハ單リ大尉バカリデハゴザイマセヌ、私ハ細カニドレモ是モ調ベテ見マシタガ、大體今ノヤウナ調子ニナツテ居リマス、然ルニ商船ノ方ノ乗組員ニナリマス、水夫ノ一番上級ノ甲板長、水兵ノ一番上ノ兵曹長ニモ比較サレル甲板長ガ、月給ガ平均百九圓十錢デアリマス、是ハ年齡平均四十三歳デ、月給ガ大體百九圓十錢ト云フノガ日本中ノ甲板長ノ平均デアリマス、而モ是ハ小サイ船ハ入ツテ居リマセヌ、大型船バカリデアリマスガ、平均ガ斯ウナリマス、サウシテソレガ戰死シタ場合ニ色々ナ手當ヲスツカリ混ヘテ、船主カラ幾ラ貰フカト云フト、六千七百七十四圓六十錢貰ヒマス、而モソレヲ二十年間ノ保證ノ終身年金ニシテ毎月家族ガ幾ラ貰フ貰フカト云フト、三十二圓六十錢貰フ、家族ガ三人アツテ、妻君ガ一人デ、モウ段々教育モシナケレバナラヌ、其ノ人ガ戰死シテ一箇月ニ三十二圓六十五錢シカ貰ヘナイ、餘程恩惠的ニ貰ツテモ是ダケデアル、然ルニ之ヲ海軍ノ兵曹長ニ比較シマス、諄クナリマスガ、念ノ爲ニ海軍ノ方ノ準士官ト比較シマス、準士官モ一、二、三級トアリマスガ、其ノ中ヲ取ツテ年俸千五百五十圓、一箇月ニ九十五圓八十三錢貰ツテ居ル、是ガ戰死スルト少尉ニナル、

サウシテ一年ニ千四百圓ト云フ假定俸給ニナル、サウシテ其ノ戰死後、家族ガ毎月毎月幾ラツツ恩給ヲ貰フカト云フト、九十六圓四十錢デアル、コチラノ方ハ甲板長デアツテ、年齡ハ無論之ニ比べレバ比較ニナラス程年取ツテ居リマス、又海上履歷モ勿論長イノデアリマス、ソレガ戰死シテ澤山貰ツタヤウニ見エレルドモ、毎月三十二圓ソコノデ、家族モソレデハ食ツテ行ケナイ、是デハ差ガ餘リニ酷クハナイカ、勿論私ハ海軍ノ軍人ト同ジニシロナドト云フノデハアリマセヌ、同ジ海上ニ勤務シテ居リナガラ、比較對照シテ見マス、餘リ酷イ、是ハ船員ガ不平ヲ言ツテ居ル譯デアリマセヌ、併シ船員ニ後顧ノ憂ヘノナイヤウニ御改正ニナルトスルナラバ、少クトモ手近ノ海軍ノ家族ノ扶助ト、船員ノ家族ノ扶助ト見較ベラレテ、兎ニ角國家ノ爲ニ長イ間船ニ勤メテ功勞ノアツタ人ガ死シタ場合ニハ、セメテ其ノ家族ダケハ満足ニ食ツテ行ケル、大學マデ子供ヲ出シテ貰ハナクテモ宜イカラ、兎ニ角中等程度ノ學問ヲサシテ貰ヘル位ノ給與ヲ與ヘルヤウニ、此ノ際御改正ヲ願ヒタイと思ヒマスガ、之ニ對スル海運總局長官ノ御意見ハ如何デゴザイマセウカ、同ヒタイと思ヒマス

○妹尾政府委員 今ノ數字ヲ舉ゲテ御説明ヲ聽キマシタガ、私モ實ハ甚ダ迂濶ナコトデアリマシテ、ソコマデ調ベテ對照表ヲ作ツタコトハゴザイマセヌノデ、斯ウ云フコトハ成ベク睨合セテ同ジ性質ノ人ハ、成ベク同ジヤウナ工合ニ待遇シテ行クコトガ根本ノ原則ダト思ヒマスカラ、是ハ何トカスル、ト申シマシテモ結局船主ノ負擔ニナルコトニナル譯デアリマシテ、色々御意見ノ程ヲ私モ深刻ニ承リマシタカラ——多分船員局ノ方デハ是レ位ノ表ハ作ツテ持ツテ居ルコトト思ヒマス、私ガ知ラナカツタマデデアリマシテ、斯ウ云フ差ノアルコトヲ能ク記憶ニ留メマシテ、十分研究シタイと思フ次第デアリマス

○小山(亮)委員 ソレカラ船員ノ戰死シマシタ者ノ給與ニ關シテデアリマスガ、是ハ氣ガ付カナイデ斯ウ云フコトニナツテ居ルト思ヒマス、陸軍ノ徵用船デアリマス、船員ガ戰死シタ場合ニハ、陸軍ノ規定ニ依ル所ノ戰死者ニ對スル一時金ト云フモノガアリマス、是ハ額ハ必ズシモ多クナイノデアリマス、ソレト同時ニ船主ガ徵用船ニ對シテハ遭難手當ト云フモノヲ乗組員ニ出シテ居ル、其ノ率ハ表デ申シマシタ通り、三十六箇月乃至四十箇月分ニナツテ居ル、ガカラ陸軍ノ徵用船ハ兩方カラ貰ヘマス、然ルニ海軍ノ徵用船ニハ甲乙ガアリマシテ、甲ノ方ハ海軍ノ特殊ノ仕事ニ從事シ、乙ハ普通ノ徵用船ト同ジデ、詰リ御用船デアル、然ルニ其ノ船ノ船員ガ戰死シマシタ場合ニハドウナルカ、甲ノ場合ニハ戰死シマシタ時ニ、其ノ船ノ乗組員ニ對シテハ海軍カラ一時金ガ出ルダケデ、船主カラ遭難手當ト云フモノハ出ナイ、海軍カラ一時金ト云フモノガ下士官ヲ將校ガ死シタ時ト同ジヤウニ出ルダケデアル、海軍ノ乙ノ方ハ乗組員ガ戰死シタ場合ニハ、海軍カラ一時金ハ出ナイ、船主ダケガ遭難手當ヲ出ス、同ジ陸軍ト海軍ニ働キナガラ、陸軍ハ一時金モ、遭難手當モ貰フガ、海軍ハ一時金ダケデアル、船主トハ全然縁ガ切レルカラ、甲ノ方ハ出サナイ、乙ノ方ハ船主ト縁ガ切レテ居

ナイカラ、船主ガ出スガ、甲ノ方ハ船主ハ出サナイ、死シマシタ人間ガ金ガ欲シイト云フ譯デハナイガ、同ジ徵用船デアリナガラ、陸軍ト海軍トノ間ニ給與ノヤリ方ガ調和ガ取レズ、連絡ガ取レテ居ナイト云フコトハ、洵ニ國家ノ爲ニマツイコトデアルト考ヘマス、是ハ海軍ト陸軍ト同ジヤウニスルヤウニ、特ニ長官カラ、是ハ海軍當局ニ質問スベキ事項カモ知レマセヌケレドモ、是ハ海運總局ノ方デ此ノ點モ篤ト御調ベニナツテ、私ノ申上グルコトハ事實デアリマスカラ、少シモ間違ヒガナイ、其ノ矛盾ヲ御直シニナルヤウニ御願ヒシタイと思ヒマスガ、御意見ハ如何デアリマスカ

○妹尾政府委員 私ハサウ云フコトヲ知ラスト申シマス、甚ダ無責任ナヤウデアリマスガ、實ハ能ク分リマセヌ、尙ホサウ云フ事實ガアリマスコトデセウカラ、十分是ハ一ツ調ベマシテ、陸海軍同ジニシナケレバイカスト思ヒマス

○小山(亮)委員 是ハ長官ガ御承知ナイコトハ海運總局長ガ御承知ノ筈ダラウト私ハ思ヒマスガ、アナタハ隨分長イ間船ノ關係ヲヤツテオイデニナリマス、御承知ニナツテ居ルト思ヒマスカラ、御承知ニナツテ居レバ、アナタカラデモ差支ヘハアリマセヌ、長官ニバカリ喋ラシテ居ルガ、アナタデモ宜シイ、本當ノコトデ、アナタノ知ツテ居ルコトヲドシ——答辯願ヒタイ

○妹尾政府委員 今ノ問題ハ實ハ能ク分ラナイノデスガ、ソレハ新谷局長モ知ラナイト云フノデスガ、係ノ者ノ説明デ宜シカツタラ一寸……

○今井委員長 ソレデ宜シウゴザイマスカ

○小山(亮)委員 宜シウゴザイマス

○問庭説明員 陸海軍ノ船ニ付キマシテ、確カニ差別ガアリマシタ、其ノ點ハ過去一年間私ノ方デハ海軍當局ニ折衝シテ來テ居リマス、ソレデ現在ニ於キマシテハ殆ド兩者ガ同ジ位ニナツテ居リマス、尙ホ其ノ點ニ付キマシテハ、小山サシノ御調査ガアルデハナイカト思ヒマスガ、若シ御必要ガアレバ、海運總局デ後日又詳シイモノヲ差上げマス、ソレカラ尙ホ甲乙ノ方ハ、少シ差別ガアリマス、甲ト云フノハ全然海軍自體ガ徵用シテ居リマシテ、乙船ト種類ガ違ヒマス、是ハ工員、傭員ノ扶助令ガ適用サレマスカラ、甲ノ船員ニ付テハ多少違ヒガアリマスガ、海軍ノ乙ノ船員、ソレカラ民間ノ一般船員ニ付テハ、今マデ大體同ジヤウニ折衝シテ努力シテ參リマシタ

○小山亮委員 只今ノ御答デ大分近寄ツタデナシニ、同ジニスルヤウニ、一分一厘變ラナイヤウニシテ戴クヤウニシナイト、陸軍ノ方ヘ行ケバ宜イガ、海軍ノ方ヘ行ケバイカスト云フヤウナ非難ガアリマシテ、私ハ此ノ點ハ近寄ラスト云フコトヲシナイデ、同ジニスルヤウニ御努力ヲ願ヒタイ、ソレカラ甲乙デ差ガアルノハ、私ハ非常ニ困ル、船ハ海軍ノ所屬ニナツテ特殊ノ仕事ヲシテ居ルガ、船員ハ軍屬ナンデス、ソレガ死シテラ恩給ナント云フモノハ海軍ノ兵ト同ジヤウニハナラナイノデスカラ、ヤハリ今ノヤウニ年金法カ何カガ決マツテ居レバドツチデモ宜イノデスガ、ヤハリ一時金ダケデオ終ヒニナツテ、家ヲ見レバ家族ノ者ガ路頭ニ迷フト云フヤウナコトガアリマシタラ、海軍ノ甲ノ乗員ニナツタ爲ニ、俺達ハ食ヘナイデ路頭ニ迷フノダ、乙ニナレバ食ヘルノダト云フヤウナ聲ガ民間ニ若シ

起ツタラ大變ダカラ、是ハ私ハ同ジニシタラドウカト云フコト申上ゲテ居ルノデス、之ヲ同ジニサレナイカラ、アナタ方ノ責任ガドウダカラオ辭メナサイト云ツテ居ルノデヤナイテ、アナタ方ガオ辭メニナツタツテコシナコトハ解決シヤシマセス、是ハ誰ガ責任ヲ取ルトカ、取ラヌトカ云フ問題デハナイ、惡カツタコトハオ互ヒガ過去ヲ言ハズニ直サナケレバ戰争ニ勝テスカラ、私ハソレヲ言ツテ居ルノデ、私ハ責任ヲ追求スルト云フ氣持ハ全然アリマセス、アナタ方ガ勝手ニ責任ヲ取ルト云フナラ是ハ又別デスガ、私ハアナタ方ノ責任ナシカ追求スル氣ハ全然アリマセスカラ、御相談スル積リデ、虛心坦率ナ御答辯ヲ願ヒタイ

遭難船員ノ取扱ニ付テデアリマスガ、遭難船員ノ取扱ハ、大體船主ハ遭難シマシタ船員ニ對シテハ着物ヤ何カナクナスト云フ意味デ、遭難手當ト云フモノヲ六箇月支給スルコトニナツテ居リマス、海軍ノ乙徵用船及ビ徵用船デナイ一般ノ民需ノ船ハ、六箇月貰ヘル、所ガ甲ノ徵用船ハ此ノ遭難手當ガナイ、船ガ沈没シテ、乗組員ハ辛ウジテ生キテ來タ場合ニハ、船デ遭難シタ者ハ、御承知ノヤウニ一ツデ、着物モ持ツテ居ナイ、アル物ヲ皆ナクシテシマツテ、裸一貫デ歸ツテ來ル、着物ハ海軍ナリ、カラ借シテ貰ツテ、兎ニ角鎮守府ナリ、宇品ナリニ歸ツテ來マスケレドモ、借リタモノダカラ返サナケレバナラナイ、其ノ時ニ手當ハ徵用サレテ居ラス船、或ハ海軍ノ乙徵用船ダト六箇月ノ遭難手當ヲ船主ガ出シマスガ、併シナガラ今ノ海軍ノ甲徵用船ガヤラレテ歸ツタ時ニ、誰モ何ニモ出サナイ、六箇月ノ手當ガ貰ヘナイ、是デハイケナイト

思ヒマスカラ、私ハヤハリ甲徵用船ノ船主ガ六箇月位ノ手當ヲ出シテヤルヤウニ、一ツ何トカ御工夫ヲ願ヒタイ、ソレカラ是ハ極ク僅カナモノデスガ、陸軍ノ徵用船デスト、遭難ラシ、船ガ沈没シテ、命カラハ逃ゲテ來タト云フヤウナ場合ニ、船長ニ對シテ陸軍トシテハ遭難手當ト云フ意味カ、慰勞ノ意味カ知リマセスガ、二百圓程度位ノ費用ヲ呉レルノデス、所ガ海軍ノ方ハ全然ナイ、是等モ私ハ僅カナコトデスケレドモ、片方ニアツテ片方ニナイト云フコトハドウカ、ヤハリ同ジニヤルヤウニシテ戴イタ方が感ジガ宜イデハナイカ、斯ウ思フノデアリマスガ、是ハ僅カ二百圓ノコトデアリマスカラ、是ガナイカラ海軍ガイケナイ、陸軍ガドウトカ云ツテ居ル譯デハナイ、唯同ジヤウニ扱フ、僅カナコトデアリマスカラ出來サウナモノダト思ヒマスガ、此ノ點モ私ハ御改正ノ餘地ガアルノデハナイカト考ヘマスガ、念ノ爲ニ長官ノ御意見如何デアリマスカ

○妹尾政府委員 サウ云フコトハ或ハ其ノ主務者ハ知ツテ居ルカモ知レマセスガ、我々ノ知ラナイコトガ澤山アルカモ知レマセスノデ、サウ云フ資料ヲ一ツ一括シテ戴キマシテ、ソレデ出來ルダケ同ジヤウニシナケレバナラスト云フヤウニ私共考ヘマスノデ、モウ此處デ交渉出來ルコトハ、其ノ交渉スルコトハ一寸モ努力ハ惜ミマセスノデ、何トカサウ云フヤウニ致シタイト思ヒマスガラ、資料デモ一ツ戴ケレバ結構ダト思ヒマス

南方ヤ、或ハ大東亞ノ各地カラ段々ニ生殘ツタ船員ガ大量ニ一括シテ日本ニ送還サレテ參リマス、是ハ鎮守府ヘ來ル、何處ヘ來ルト云フヤウナコトニナルノデアリマスガ、其ノ場合着物ハ海軍ノ着物デアルカラ、鎮守府ニ來マシテモ、下士官集會所位ニ入レテ、直グニ電報ヲ打ツテ、船主ガ着物ヲ持ツテ迎ヘニ來イ、斯ウ云フコトヲ言ツテ參リマス、各船主ハ各々自分ノ乗組員ガ歸ツテ來タカラ、着物ヲ持ツテ迎ヘニ行カウトシテモ、衣料切符ハ貰ツテアツテモ、現物ヲ貰フコトガ出來ナイ、現物ガナイカラ急ニ國防服ナリ、何ナリ拵ヘテ着セヨウト思ヒマシテモ、ソレガナイ、其ノ爲ニ間ニ合ハナイ、間ニ合ナイ間ハ、ドウモ下士官集會所ヘ歸ツテ來タ同ジ遭難デモ、海軍ノ方ハ直グ自分ノ家デアリマスカラ、外ニ移サレルガ、一方ハ船主ガ着物ヲ整ヘテ迎ヘニ來テ呉レルマデ、丁度人質ニナツタヤウニジツト待ツテ居ナケレバナラスト云フヤウナコトモ非常ニ考ヘサセラレルコトデス、折角歸ツテ來タ船員ニハ、能ク苦勞シテ歸ツテ來タト云フ慰安ノ言葉位ハ掛ケテ、其ノ待遇ヲ考ヘテヤツテ戴キタイ、ソレヲ惡イコトヲシテ歸ツテ來タ者ト同ジヤウニ、今ニ着物ヲ持ツテ來タラ、ソレデ一人デ歸ツテ行ケト云フ風ナリ方ハ、是ハ本當ニ親切ナリ方デハナイ、隨テ一度遭難シマスト、今度ハドウシテモモウ一度行カウト云フヤウナコトヲ言ヒ出サナイノデアリマス、御承知ノヤウニ船ヲ何同モ一モ敵ニヤラレテ沈メラレタリ、何同モ一船ヲ打突ケテ沈シタリシタ經驗ノ積ンダ船員ハ一番貴イ船員デアアル、是ガ一番優秀ナ船員ニナルノデアリマス、其ノ優秀ナ者ガ段々

第六類第五號 鐵道敷設法戰時特例案外一件委員會議錄 第六回 昭和十九年一月三十一日

ニ行カナルト云フコトハ、經驗ノアル者ガ行カナルト云フコトハ、非常ニ國家ノ爲ニ悲シムベキコトダと思ヒマス、斯ウ云フ者ニハ着物ヲ何處カニ用意シテ置イテ、少シブク／＼シタ位ノ服デモ宜イノデアリマスカラ、大中小位ノ服ヲ用意シテ置イテ、着セテヤル、斯ウ云フヤウナコトニ御取計ヲ願ヘレバ結構デアリマス、是ハ決シテヤツテ出來ナイコトハナイノデアリマス、現ニ是ハ叱言バカリ言ハナイデ、良イ所ヲ言ヒマス、横須賀鎮守府管内ハ、中村大佐トカ言ハレル方ガ横須賀鎮守府ニ居ラレルサウデアリマスガ、其ノ方ガ非常ニ此ノ問題ニ理解ヲサレテ、横須賀鎮守府管内ノ知事ヲ皆呼ビ集メテ、斯ウ云フ場合ニハ斯ウシテヤラウデヤナイカト云フコトヲ決メラレテ、何等法律ニモ規定ガナイノニ、一生懸命ニ各知事ヲ協力サセテ、横須賀鎮守府管内ニ歸ツテ來タ所ノ船員ダケハチヤント着物モ着セラレテ歸サレル、他ノ鎮守府ハ何モシテ居リマセヌ、横須賀鎮守府ダケハ非常ニ皆ク行ツテ居ル、是ハ一ツ——ヤツテ出來ナイコトデハナイノデアリマスカラ、各鎮守府モ横須賀鎮守府ニ見倣ツテ、サウ云フヤウナ處置ヲヤツテ戴ケルヤウニ特ニ御取計ヲ願ヒタイと思ヒマスガ、御意見ハ如何デアリマスカ

○妹尾政府委員 今ノ御話ハ私モ前カラ聞イテ居リマシテ、洵ニ御氣ノ毒デアリ、又船員ノ志氣ノ爲ニ甚ダ遺憾デアルト思ヒマシタノデ、色々主務局課長等ニ聞イテ見マスト、骨ハ折ツテ居ルノデアリマシテ、隨分努力ハシテ居ルモノ、中々物資ノ配給等ガ皆ク行カナイノデ、甚ダ御氣ノ毒ナコトガ續イタラシイノデアリマスガ、漸ク此

軍需省ト云ヒマスカ、前ノ商工省ノ時代ニ、諒解ヲ得テ——何シロ切符ダケハ駄目ナノデ、現物ヲ貰ハナケレバイカスノデアリマシテ、現物モ手配ヲ相當致シタノデアリマスガ、マダ制服マデニハ行キマセヌガ、差當リ事業服一著ト下著一揃ト云フモノダケハ準備ヲ致シマシテ、各船主ニ渡シテアルノデアリマス、ソレヲ持ツテ行キマサガ、制服モ直グ渡セルヤウニ、只今現物ヲ約六千着デアリマスカ、用意致シマシタ、是モ早目ニ渡サヤウニ致シタイと思ヒマスガ、斯ウ云フコトヲ考ヘマシテカラ、實行マデニハ相當年月ガ——年月ト云ヒマシテモ約一年程掛ツタノデアリマスガ、今カラハ段々ト是ハ改善シテ行ケルダラウト思ヒマスカラ、尙ホ十分主務局課ノ者ヲ督勵致シマシテ、サウ云フ氣持ノ惡クナラナイヤウニ十分ヤツテ行カケレバナラヌト考ヘテ居リマス

○小山(亮)委員 是ハ前カラ居ラレタ局長、海運局長カ總務局長カドチラカ御承知カト思ヒマスガ、今茲ニ戰時災害保護法ト云フ法律ガ出來テ、サウシテ戰時ニ依ツテ災害ヲ蒙ツタ者ニハ補償ヲスルト云フコトハ、既ニ議會ヲ通過シテ居リマス、所ガ船員ノ場合ハ是ハ遭難ヲシマシタ船員ガ六箇月分位ノ金ヲ貰ツタ所デドウニモナラナイ、時計モナクナツテシマヘバ、持ツテ居ツタ双眼鏡モナクナツテシマヘバ、持ツテ居ル所持品全部ヲ失ツテシマツテ、殆ド裸ニナツテ歸ルノデアリマスカラ、サウ云フ者ハ當然戰時災害保護法ト云フモノノ適用ヲ受ケテ——本當ニ敵ニヤラレタノデスカラ、堂々ト自分ノ郷里ノ知事ニ之ヲ届出レバ、戰時災害保護法適用ヲ受ケテ補償セラ

レナケレバナラナイと思フノデス、私ハ是ハ同様ニ船員ニモ適用サレルモノダと思フノデアリマスガ、主務當局ノ意見ハドウデセウカ、是ハ事實受ケラレルノデアリマスカ、受ケラレナイノデアリマスカ

○妹尾政府委員 戰時災害保護法ハ今適用ハ出來マセヌノデ、是ハ適用スルコトニ付テ厚生省ト海軍省トノ間デ交渉致シテ居リマス、其ノ交渉ノ狀況ハ私ハ存ジテ居リマセヌガ、交渉シテ居ルコトハ承知致シテ居リマス

○石井(敏)政府委員 戰時災害保護法ノ關係ハ現在一般ノ國民ノ方ニ適用サレテ居リマスガ、其ノ額ハ私ノ承知シテ居リマス所デハ一人十二圓ニナツテ居リマス、遭難シタ場合ノ手當金ハ大體標準トシテ給與ノ六箇月分ヲ貰ツテ居ルノデアリマスガ、一般ノ國民ノ災害ノ場合ニ對スル補償ト云フ意味デ、海運局ノ方デ戰時災害ニ相當スルモノトシテ尙ホ會社カラ受ケタ支給デ足ラナイ部分ハ實際ニ出シテヤル、例ヘバ時計ヤ何カラナクシタト云フコトデ、斯ウ云ウ物ヲ再ビ整ヘル必要ガアルノデアリマスカラ、サウ云フモノニ對シテハ會社ヲシテ支給セシムルヤウニ既ニ通知ハ出シテ居リマス

○小山(亮)委員 今ノ御話ダト物ヲナクシタ時ニ會社ヲ見テヤレ、結局會社ガ出スノハ金ナノデスガ、今ノ船員ノ欲シガツテ居ルノハ金デハナクシテ物ナノデス、會社ガドシナコトヲシテモ双眼鏡ハ手ニ入りマセヌ、ヤハリ政府ガ物ヲヤツテ貰ヒタイ、例ヘバ是ハ必要デ贅澤ナモノデハナイノデアリマスカラ、時計一箇、或ハ双眼鏡一箇ト云フヤウニ、双眼鏡ナシカハ甲板部ニ所屬シテ居ル船員ナドニハ是ハ生命ト同ジヤ

ウナモノデアリマスカラ、斯ウ云ウヤウナモノハ代價ニ金デ貰ツテモ何ニモナラヌ、金ナドハト言ツテハ惡イケレドモ、何處ヘ持ツテ行ツタツテ、幾ラ出シタツテ双眼鏡ハ買ヘツコナイノデスカラ、是ハドウシテモ品物デ、服ナリ、靴ナリ、或ハ帽子ナリ、或ハ時計ナリ、双眼鏡ナリト云フ品物ヲヤツテ、サウシテソレヲ貰ツタラ明日カラデモ直グ船ニ乗ツテ行カレルヤウニ特ニ御配慮ヲ御願ヒシタイノデアリマス、當局ハ何デモ會社々々ト言ヒマスガ、會社ハ金ヲ出セト言ヘバ出スデセウケレドモ、物ガナイノデスカラ、ヤハリ海運總局ガ絕對責任ヲ以テ、軍需ト同ジヤウニ見テ戴ケサヘスレバ必ズシモ難カシイコトデハナイト考ヘマスノデ、特ニ御考慮ヲ願ヒタイノデアリマス、サウシテ又戰時災害ノ補償法、是ハ額ハ少イカモ知レマセヌガ、斯ウ云フヤウナモノニ對スル法律ナリ何ナリ、或ハ政府ノ方デ補償シテヤルトカ、何トカ云フヤウナコトモ、一應モウ御考ヘテ願ハナケレバナラヌ時代デアラウト思フノデアリマスガ、御所見ハ如何デアリマセウカ

○石井(敏)政府委員 今御話ノ通り、現物ノ入手ト云フコトガ現在總テノ方面デ問題デアリマシテ、金ハ貰ツテモ直接直グニ必要ナ物ガ買ヘナイト云フノガ實際ノ狀況デゴザイマス、只今ノ見張眼鏡等ニ付キマシテモ、全ク其ノ通りデアリマシテ、是ハモウ船員ノ商賣道具ト云フ問題デアリマシテ、出來ルダケ我々ノ方トシテモサウ云フモノヲ貰フヤウニ、是ハ又全般ノ問題トシテ、通商保護上船舶ノ見張リニ必要ナ眼鏡ト云フコトデ、海軍ガ斡旋シ、若シクハ直接供給シテ、常ニ若干ノ眼鏡ヲ備ヘテ居リマス、金

ヲヤツテ、ソレデ船員若シクハ會社ニ買ハセルト云フコトハ、仰セノ通り實際不可能ノ現狀デアリマシテ、ソレノ製造能力ハ寧ろ軍ノ方ガ全部持ツテ居ル現狀デアリマスノデ、サウ云フ方面カラ、必要ナ數ヲ補ツテ船ニ備付ケテ使ハスヤウナ方法ヲ進マナケレバ充足出來ナイと思ヒマス、我々ノ方トシテハ、今後其ノ方面ニ更ニ努力シテ實現スルヤウニシタイト考ヘテ居リマス

○小山(亮)委員 更ニ政府ニ御考慮ヲ願ハナケレバナリナイノハ、是カラノ木造船ノ乗組員ト云フモノハ中々得ラレナイデアラウト思フ、ト云フノハ、是ハ木造船ノ建造ト云フコトト非常ニ關係ガアリマスガ、ドウモ今マデノ狀態デアリマスルト、鐵船ナラバ又乗員ガ相當アルドラウト思ヒマス、待遇モ比較シテ宜シ、色々ナコトモアリマシガ、木造船ノ方ニナリマス、現狀ノ儘デアルト、木造船乗組員ト云フモノハ恐ラク皆無ニナリハシナイカト思ヒマス、本當ニ何モ知ラナイ未熟練ノ者ヲ騙シテ乗セルナラバ別デスガ、ソレモ二度ト再ビ乗ラナイデセウガ、此ノ乗組員ノ對策、是ハドウ云フ風ニ御立テニナリマスカ、ソレカラモウツハ、今ノ木造船ノ建造ニ付キマシテ、從來マデノヤウナ建造デスト、是ハ餘程難カシイノデハナイカト私ハ思フ、船ト人トハ一體ニシテ離レベカラザルモノナノデ、人ダケアツテモ船ガナケレバ駄目デス、又船ダケ造ツテモソレヲ動かス人ガナケレバ何ニモナラナイ、人ガ良ケレバ少シ位能率ノ惡イ船デモヤハリソレヲ立派ナ船ト同ジヤウニ動カシ得ルノデアリマス、切レナイ刀デモ腕ノ立ツテ居ル者デアレバ、ソレハ十分切レル刀ト同ジヤウニ使ヘルノデアリマス、

隨テ人ノ養成ト云フコトハ極メテ重要ナコトデアリマス、サウカト云ツテ、船ハ策ミタヤウナ船デアツテ宜シイカト云フト、サウデハアリマセヌ、人ト船トハ一體ニシテ離ルベカラザルモノナノデアリマス、是ハ飛行機ト搭乗員、或ハ馬ト騎兵ト云フモノト同ジデ、兩者ハ離レベカラザルモノデアリマス、然ルニ今日マデノ木造船ノ經過ヲズツト見マスト、實ニ憂慮ニ堪ヘナイモノガアリマス、之ニ對シテハ、木造船ノ建造ガ思フヤウニ行カナカツタト云フコトノ原因ヲ御考ヘニナリ、之ニ對スル對策、サウ云フモノガ御當局ニアリマシタラ之ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○妹尾政府委員 木造船ノ建造ニ付テハ、實際ニ輸送力ヲ増スト云フコトガ目的ナノデアリマス、十分輸送力ヲ増スヤウナ堅實ナル船ヲ造ルト云フコトニ進マナケレバナラナイト云フコトハ、前々カラ考ヘテ居ルノデアリマシテ、少クモ十九年度カラハ、今マデドウ云フ所ニ原因ガアツテ行カナカツタカト云フコトモ能ク分ツテ居リマスノデ、其ノ點ヲ改善スベキ所ハ改善シ、堅實ナル船ヲ造ツテ輸送力ヲ増強シナケレバナラスト考ヘテ居リマス、今ノ船員ノ問題ガアリマシタガ、是カラ多量ノ木造船ガ出來マスト、其ノ船員ノ充實ト云フコトニハ相當困難ガアルト云フコトハ相當前カラ私ハ心配ヲシテ居ルノデアリマス、昨年末マデハ、木造船ガ随分出來ルト云フ考ヘデ船員ノ方ヲ準備致シタノデアリマス、所ガ幸ヒト申シマスカ、不幸ト申シマスカ、豫定通りニ船ガ出來ナカツタ、ソレデ船員ノ方ハサシタル困難ヲ感ジナイデ昨年ハ過ギタノデアリマス、所ガ是ガ軌道ニ乘リマシテ、

ドツト船ガ出來マスト、果シテ行ク行クカト云フコトニ付テハ、多少ノ疑問ヲ持ツテ居リマス、ト云フノハ勞務動員ガウント強化セラレ、他ノ方デ求人ガ殖エルト云フコトアリモマシ、又適齡ヲ一年切下ゲルト云フヤウナコトモアリマシテ、昨年ヨリモモツト事態ガ變化シテ居リマスノデ、益々困難ニナルト思ヒマスノデ、主務局ヲシテ本當ニ眞剣ニ、折角造ツタ船ガ船員ガナイ爲ニ動カナイト云フヤウナコトガアツテハ申譯ナイノデアリマシテ、ソレヲ確保スルコトヲ十分努力シテ居リマスガ、他ノノ配合セデ相當ハ困難ガ横タハツテ居ルト云フコトヲ考ヘマスノデ、是コソ待遇、其ノ他ヲ改善スルトカ、何トカ根本的ナ手ヲ打タナケレバ、去年ノヤウニ易々ト行クト云フヤウニ甘ク見テハイカヌ、斯ウ考ヘテ居リマス

○小山(亮)委員 木造船ノ船員ガ非常ニ募集困難ニナル、又乗リタガラナイト云フコトノ一番大キナ原因ハ、今出來テ居ル船デハ危ナクテ乗レナイト云フノガ本當ノ聲ナンデス、是ハ統計ヲ取ツテオイデニナルアナタ方ナノデスカラ、能ク御分リダラウト思ヒマスガ、第一次型ノ木造船、是ハ昭和十八年十二月二十八日ノ現在デ、受取船ガ一隻ニ對シテ、事故ヲ起シタ船ガ一隻デアル、又第二次型ノ船ハ、受取船ガ一隻ノ中ニ一隻ガ事故ヲ起シテ居ル、事故ヲ起シタノハドウ云フ工合デ事故ヲ起シテ居ルカト云フト、其ノ中ノ一隻ハ浸水デス、内避ケル爲ニ坐礁シタノガ一隻、沈没シタノガ一隻、行方不明ノ一隻、斯ウ云フ風ニナツテ居ル、機關ノ故障ガ一隻アル、デスカラ原因ハ、之ヲズツト見テ來マスト、私ハ何モ査察ニ行カヌデモ、木造船トハコ

チラノ統計ヲ御覽ニナツタゲデ分ルノデハナイカト思フ、第一ノ原因ハ何ト云ツテモ設計ノ粗漏デアリマス、是ハ海務院當局ノ設計ノ粗漏ト云フコトモナイト云フコトハナイケレドモ、ソレデケデハナイ、役人ダケガ惡イト云フノデハナイ、造船所ガ非常ニ不誠意デアル、是ハ非常ニ急ガシテ、何デモ彼デモ早く造レ、技術ハドウデモ構ハヌ、ドウデモ早く造レト云フコトカラ、甚ダシイノニナルト、木造船ノ野天ノ屋根ノナイ所デ造ルノデスカラ、雨ガ降ツテ來ルト、船底ニ水ガ溜マルノヲ捨テ置イテ、

「インチ」三「インチ」ノ水穴ヲ拵ヘテ置イテ、愈、出來上ツタ時ニ、ソコニ木ノ栓ヲシテ蓋ラシテ、兩方カラ板ヲ當テ、「ボルト」デキツテ居ル、底ニ穴ノアルノヲ其ノ儘進水サセタカラ浸水シタ、コンナコトハ技術者トシテハ實ニ恥カシク言ヘナイヤウナコトデスガ、ソレハ急ゲ、ト急イダ爲ニ、斯ウ云フ結果ガ起ツタ、是ハ造船所ノ不誠意、不注意、斯ウ云フコトモ重大ナル原因ノ一ツデス、ソレト先程御話申上ゲタヤウニ、船員ガ非常ニ未熟デ、燒玉「エンジン」ニ馴レナイ者ガ寄セ集メラレテ乗ツテ行ク、ソコデ事故ガ續出スル此ノ三ツガ原因ダト私ハ公平ニ考ヘテ思フノデス、海務院ノ方デハ既ニ此ノ點ハ色々御氣付キニナツテ御改メニナツテ居ルト思ヒマスガ、今マデノ海務院ノ設計ニ依ル船ハ「シャフト」ノ關係ヤ何カアツテ、船尾ニ機關部ヲ持ツテ來ル、是ハ當然ノコトダガ、所ガ之ニ荷物ヲ積ム、三百「トン」ナラ三百「トン」積ミノ船ニ三百「トン」ノ荷物ヲ積シタ時ニ、商賣人ノ造ツタ船ナラチヤント體ガ二「フット」乃至

三「フット」ハ「バイザ・スターン」ト申シマシテ、艦足ヲ這入ラナケレバ十分ナル造船設計デハナイ、所ガ今マデ海務院ノ設計デ造ツタモノハ、三百「トン」積ミノ船ニ三百「トン」ノ荷物ヲ積ムト、舳ガ二三「フット」水ニ突込ム、潜水艦デシタラ舳ガ突込シテモ宜イガ、荷物船デハ「スクリー」ガ高ク上ツテハドウモナラヌソレガ爲ニ當然三百「トン」積メル船ニ、前船ノ荷物ヲ積マナイデ前船ヲ空ケテ、三百「トン」積マナイデ、二百二、三十「トン」積ンデ航海スル、コンナ設計ハ素人デモ設計シナイ、海務院ノ何型々々ト云フモノヲ、當局ハ船主ニ對シテ之ヲ受取ラナケレバ怪シカラヌト云フテ強要シテ居ル、之ニハ受取ツタ船主モ困ツテ居ル、船ノ釣合ハドウシテ取ルカト言ヘバ一般ニ水ヲ入レル船底ノ「タンク」デ取ツテ居ル、ケレドモ何カ一種類ダケ貨物ヲ積ムコトニ決ツテ居レバ宜イガ、石炭ヲ積ム場合モアリ、雜貨ヲ積ム場合モ、礦石ヲ積ム場合モアリ、種々雜多ナモノヲ積ミ合ハセル場合モアリマスカラ、積ム時ニハチヤント釣合ノ取レル方法ヲ講ジテ置カナケレバ駄目ダ、其ノ時ニヤハリ船尾ノ「エンジン」ノ所ニ水ヲ入レル「タンク」ヲ別ニ木デ造ツテ置イテ、ソレニ水ヲ張ツテ足ヲ加減スルコトモ出來ル、海務院ノ設計ニハ其ノ「タンク」ヲ全然考ヘテ居ナイ、何モ節約ダ／＼ト云ツテモ、船ガ動かナケレバ幾ラ節約シテモ何ニモナラヌ、材木ヲ浮ベテ置イタ方ガ餘程宜イ、物ヲ運ベナイ船ナカ幾ラ造ツテモ仕方ガナイソレカラ「エンジン」ノ故障ハ何故起ルカト云フト、船ガ細長クナツテ居ル、其ノ前後ヲ貫イテ居ル縦通強力ガ足リナイ、浪ガアルト撓ル、撓ルカラ生木ノ餘リ乾イデ居

ナイ木デ張ツタ外板ハ間隙ガ出來ル、ソレカラ機關部カラ艦ニ通ジテ居ル「シャフト」ガ曲ガリ、摩擦シテ、「ベヤリンド」ノ「バック」ガ燒ケル、縦通材ガ足リナイト云フコトハ是ダケデモ明瞭ダ、木ハ生木デ宜イト海務院ノ方ガ大變強ク主張サレタサウデスガ、サウ云フ方ハ自分デ其ノ船ニ乗ツテ見レバ分ル、自分ガ乗ラナイカラ宜イ位ノ氣持デ、段々乾ケバ隙ガ出ル、殆ド策ノヤウナ船ニ、船員ガケテ乗レ／＼、乗ラナイノハ時局認識ガナイナドト、叱リ付ケテモ乗員ガアリヨウナ筈ハナイ、此ノ頃五島サシガ査察カラ歸ラレドウ云フ御報告ヲナサツタカ存ジマセヌガ、マサカ査察使ガ斯様ナコトハ間違ツテモ仰シヤラナイデセウガ、今マデドン／＼餘リ急ギ過ギタ爲ニ、検査ガ粗漏ダ、試験ガ粗漏ダツタト云フコトハ誤リナイ事實デス、ソレヲ早く造レ／＼ト云ツテ又急ガレルナラバ、其ノ結果益、今マデ惡カツタノガマダ惡クナル結果ニナル、是レ位設備ハナクモ船ガ出ラレタラ出セト云ツテ督勵ナサルサウデスガ、ソナコトヲシタラ大變ダト思フ、殊ニ私カラ言ハシテ滑稽ナノハ、段々節約シテ二挺アル錨モ一挺デ宜イト言ハレルサウデスガ、錨ハ飾ノ爲ニ二挺置クノデハナイ、ドウシテ二挺必要カト云フト、風浪ノナイ時港ガナイヤウナ廣イ錨地ヘ行ツタ時ニハ一挺デ宜イガ、風ガ變リ、浪ガ變ル度ニ錨ヲ中心ニ船ハグル／＼ト廻ハル、所ガ狭イ港デ錨一挺デドノ船モグル／＼廻ハツタラソコニアル船ハ皆傷ンデシマフ、浮ンデ居ルノハ沈没スル、二挺ヲ馬繫ギニ開イテ双錨デズツト張ツテ置クト、ドツチニモ寄りハシナイ、ダカラ狭イ港ナドデハ是非二挺デナケ

レバナラヌ、狭イ港デ一挺デ船繋リヲシタラグル／＼廻ハルカラ、餘程廣イ港デナケレバ一錨デハ碇泊出來ナイ、錨ハ唯船ヲ止メルダケニ使フノデハナイ、下ノ關ノヤウナ潮流ノ激シイ所デハ、ドウシテモ二挺ノ錨ヲヤツテ置カナケレバ駄目ダ、激潮ニ押サレタラ二挺錨デヤツテ置カナケレバ錨ハ切レテシマフ、ソレカラ又一挺ノ錨デシタラ此ノ頃ノヤウニ寒クナルト、ツイ二三日前室蘭ノ港内デハ零下十度、函館デハ零下六度ト云フコトデスガ、斯ウ云フ所デスト、風浪ヲ前カラ被ルト、細イ錨ガ二抱ヘモアルヤウナ氷ノ棒ノヤウニナツテシマフ、是ガ錨デスト緩ミマスカラ氷ガ落チル、然ルニ錨鎖ヲ廢止シテ鋼索「ワイヤー」デ代用スルト云フ意見モアルサウデスガ、コンナモノデヤツタラ錨ノ出ル「ホースパイプ」デシヤクラレルト直グ切レテシマフ、是ハドウシテモ錨デナケレバナラヌ、船舶ハワザ／＼贅澤ニ錨鎖ヲ用ヒタリ、錨ヲ二挺付ケテ居ルノデハナク、絶對ニデナケレバ安全ナ航海ガ出來ナイト云フコトノ爲ニヤツテ居ルノデス、サウ云フヤウナ意見ヲ今ノ海務院ノ方デ出サレル方ハナイト思フガ、併シハ船ヤ海上ノ知識ナイ人カラハサウ云フヤウナ間違ツタ意見ガ或ハ出ルカモ知レマセヌ、ソコデ轉バヌ先ノ杖ニ私ハ申上ゲテ置キマス、殊ニ其ノ査察ノ結果ドウト云フ譯デアリマセヌガ、私ガ非常ニ心配シテ居ルノハ、木船ノ「セントラル・ポンプ」、汽罐室ノ中ニアアル大キナ「ポンプ」、アレガナクテモ宜イデハナイカ、手押「ポンプ」ガアレバ宜イデハナイカト言ハレルサウデスガ、アノ「セントラル・ポンプ」ハ今ノ木船ノ生命線デス、今私ガ此處デ數字ヲアナタ方ニ申上ゲ

タヤウニ、今マデノ百何隻ノ浸水船ガ沈マナイデ歸ツテ來タノハ、此ノ「ポンプ」ガアツタカラデアル、ドン／＼浸水シテ來テ居ル船ガ「ポンプ」デ一生懸命掻キ出シテ、漸ク歸ツテ來テ居ル、其ノ肝腎ノ「ポンプ」ヲ廢止シテ、船員ニ船ニ乗レト云ツテモ、沈ムニ決ツテ居ルカラ、誰モ此ノ船ニ乗ル志望者ハナイ、此ノ「セントラル・ポンプ」ヲ廢止スルト云フコトハ、餘程ノ考ヘノ違ツタ人デナケレバ、ソナコトヲ御考ヘニナル筈ハナイト思ヒマスガ、是ハ轉バヌ先ノ杖デアリマスカラ、一應ドウカ御氣ニ御留メ願ツテ、斯様ナコトノナイヤウニ願ヒタイ、又造船ヲ無闇ニ急ガセルト云フコトノ結果ハ、必ズ惡イ結果ニナリマスノデ、此ノ點特ニ長官ノ御留意ヲ願ヒタイノデアリマス、甚ダ長クナリマシタガ、御所見ヲ御聽カセ願ヒタイト思ヒマス

○妹尾政府委員 小山サンノ指摘セラレタ通りノ狀況デアルコトハ洵ニ遺憾デアリマス、ソレデ私ガ前ニモ申上ゲマシタヤウニ堅實ナル役ニ立ツ、輸送力ノアル船ヲ造ラナケレバイカヌト云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、御存ジノ通り、今マデノ「スビード」デモア、云フ船ガ出來タノデアリマシテ、尙ホ更之ヲ促進スルト云フコトハ、相當粗製濫造ニ傾キハセヌカト云フコトニ付テハ、大變憂慮シテ居ルノデアリマスガ、何トカ是ハ各地方長官ニ能ク話シマシテ、功ヲ急イデ役ニ立タヌ船ヲ造ルヨリモ、サウ云フコトヲスルノハ本當ニ資材ト勞力ノ浪費デアリマスカラ、サウ云フコトノナイヤウニ、役ニ立ツ堅實ナル船ヲ造ルト云フヤウニシテ行キタイト考ヘテ居リマス

ソレカラ今御指摘ニナリマシタヤウナ一

次型、二次型ニ致シマシテモ、色々工合ノ
悪イ點ガアリマス、之ニ付テハ昨年ノ十二
月二十四日ニ船會社ノ實務者、本當ニ能ク
實情ヲ知ツタ人ニ集マツテ貰ツテ、サウシ
テ其ノ技術者モ參リマシテ、今マデモ惡イ
點ガ非常ニアル、ドウシタラ是ガ役ニ立ツ
船ニナルカト云フ研究ヲ致シタノデアリマ
ス、此ノ簡條モ隨分アリマス、五十箇條位直
サナケレバイカスト云フ點ガアリマシテ、詳
シク書イテアリマス、其ノ點ヲ直シマス、ア
レデモ兎ニ角間ニ合フト云フコトニナツテ
居リマスノデ、私ノ方ノ船舶局ノ技術者ニモ
之ヲ能ク納得サセマシテ、面子トカ何トカ云
フコトハ言ハナイデ、之ヲ全部受ケ容レテ、
實務者ノ言フ通りニ直サナケレバナラスト
云フコトデ、直スト云フ方向ニ向ツテ居リ
マス、現在ノ建造中ノモノモ直セルモノハ
直スト云フ考ヘデアリマス、御指摘ノ「エン
ジン」ノ點ハ御承知ノ通りデアリマシテ、
洵ニ前ハ突込ムト云フ不都合ナ狀況ニナツ
テ居リマスノデ、數字ヲ忘レマシタガ、是
モ「エンジン」ヲ何尺カ何「メートル」カ後ニ
下ゲルト云フコトモ考ヘテ居リマス、縦通
材モ非常ニ弱イト云フコトデアリマスカラ、
是モ補強スル、兎ニ角出來ルダケ根本的ニ
設計ヲ直スト云フコトハ又後デヤラナケ
レバナラヌノデアリマスガ、今ノ流レテ居
リマスモノヲ急ニ直ス譯ニモ參リマセヌノ
デ、流レテ居リマスモノハ斯ウモ直セバ役
ニ立ツ船ニナル、〇〇積ンデ歩ケル船ニナ
ルト云フコトガ非常ニ細カク書イテアリマ
スノデ、此ノ通りニヤツテ直シテ行カウト
考ヘテ居リマス

私モ船乗デアナタノ仰シヤルコトハ能ク分
ルノデアリマス、何處デ誰ガサウ云フコト
ヲ言ツテ居ルノカ知レマセヌガ、是ハ恐ラ
クサウ云フコトヲ言ツタ人ハ船乗デナイノ
デアリマシテ、サウ云フ不都合ナ船ガ出來
ナイヤウニ、ドウセ私ノ所マデ上ツテ來ル
筈デアリマスカラ、サウ云フモノガ上ツテ
參リマシタ場合ハ——恐ラクサウ云フコト
ハナイダラウト思ヒマス、多分誰カ全然素
人ノ人ガサウ云フ思付キヲ言ツテ居ルノダ
ト思ヒマスガ、其ノ思付キハ思付キト致シ
マシテ、兎ニ角航海保安上最モ役ニ立ツ、
一ツモ不安ノナイ狀況ノ船ニスルヤウニ、
私ハ能ク氣ヲ付ケテ居ル積リデゴザイマス、
此處ニ船舶局長モ來テ居ラレテ、能ク承ツ
テ居リマスカラ、恐ラクサウ云フモノハ私
ノ所ニハ持込マヌダラウト思ヒマス

○小山(亮)委員 モウ一ツ、是ハ機關ノ問題
デアリマスガ、今マデノ故障ノ起キマシタ
木船ヲ調ベテ見マス、主汽機ヨリモ、寧
ロ補助機關ニ故障ガ非常ニ多イノデアリマ
ス、此ノ補助機關ニ故障ノ多イヲ見テ、
造船所、造船所ヲ調ベテ、見マス、或ル
造船所デハ「シリンド」ガ惡イ所ハ必ズ
「シリンド」ガ惡イシ、他ノ造船所デハイ
ツモ「ベアリング」ノ製造ガ惡イ造船所
ハ、イツモ必ズ「ベアリング」ガ惡イ、デス
カラ惡イ所ダケ抑ヘテ行ケバ、當然之ヲ調
整シテ直セル筈ノモノヲ、今ノヤウニ日本
全國カラ無計畫ニ、岡山縣デ造ル船ニ秋田
縣ノ方カラ「エンジン」ヲ持ツテ來タリ、「ピ
ストン」ハ下關カラ持ツテ來タリト云フ工
合ニ、寄セ集メニヤルカラ、唯一概ニ「エ
ンジン」ガ惡イト言ハレルト、何處ノ工場
デ出來タモノカ、何處ガ惡イカト云フコト

ヲ指摘シ得ナイ現状デアルノハ非常ニ遺憾
ダト思ヒマス、此ノ點ハ工場ノ地域的ニ指
定サレテ、此處ノモノハ此處ヘ行クト指定
シテアレバ、良否ノ成績ガ直グ分ル、今後
ハ監督シ易イヤウニ一ツ制度ヲ御變ヘニナ
ツタラドウカト思ヒマス

モウ一ツハ主汽機ハ大體ニ於テ惡クハナ
イケレドモ、汽筒ノ鑄物ノ接合セト云フモ
ノガ、旨ク出來テ居ナクテ、使ハナイ先カラ
隙ガアツテ、蒸氣ヲ入レ、バ直グ割レテシ
マフト云フヤウナモノモアル、是ハ必ズシ
ナケレバナラヌ水壓試驗ガシテ居ナイコト
ト、ソレカラ陸上ニ於テ陸上試運轉ヲシテ
居ナイ爲メデアル、水壓試驗ヲスル施設ハ
アツチニモコツチニモ餘リ多數アルモノデ
ハアリマセヌガ、何處カ一箇所ニ寄セテ嚴
重ナ水壓試驗ヲシ、十分ナ陸上試運轉ヲシ
タ後ニ積込マセル、茲ニ僅カバカリノ日時
ヲ急ガセタ爲ニ、其ノスベキ試驗ヲシナカ
ツタト云フコトノ結果ハ、汽機ヲ船ヲ持込
ンデ造ツテカラ、又元ノ造船所ニ返シテヤ
ラナケレバナラヌト云フヤウナコトニナリ
マス、此ノ點ハ非常ニ重大ナコトデアリマ
スノデ、御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソ
レカラ沖修理——是カラハ破損船ヲ上テ架シ
マス、上テ架シナケレバ直ラナイト云フノデ
ハナクテ、沖修理ヲスル、沖修理ニ對シテ
十分ナ資材ノ配給ヲナサルヤウニ一ツ特ニ
御留意ヲ願ヒタイト思ヒマス、何レ長官ノ
方ニモサウ云フ御案ガアルノデアリマセウ
ガ、御意見ハ如何デゴザイマスカ

○妹尾政府委員 只今ノ御質問ハ御尤モデ
ゴザイマス、ソレデ沖修理ト云フコトハ非常
ニ大事ナコトデアルト思ヒマス、ト云フノ
ハ現在ノ上テ架裝置デ考ヘマス、本當ハ昔
ノヤウナ本當ニ丈夫ナ船デナイノデアリマ
シテ、今ノ新型ノ船ヲ上テ架裝置デ引上ゲマ
シテ、サウシテ其ノ引上ゲタ後ニモ變形ガ
アリ、又下ストソレガ毀ハレルデアラウト
云フ心配ガアルノデアリマス、今カラ澤山
ノ船ガ出來テ全部上テ架裝置デアルト云フ
益、船ヲ毀ハスデアラウ、何トカ名案ハナイ
カト云フコトヲ考ヘマシテ、是ハ一ツ浮「ド
ツク」デヤツテ見ヨウ、既ニサウ云フコトニ
著眼シタ人ガアリマシテ、施策ヲシテ居リ
マス、來月ノ末頃ニハ第一船ガ出來ルト思
ヒマスノデ、是ハ一箇所五十萬圓位アレバ
出來ルト思ヒマスノデ適當ナサウ云フ浮「ド
ツク」其ノ他ヲ造リマシテ、サウシテ所要
所ニ配リマシテ、沖修理ヲヤル、船體ヲ傷
メナイヤウニヤツテ行クト云フコトヲ計畫
中デアリマシテ、何トカ此ノ修理ト云フコ
トヲウント氣ヲ付ケナケレバイカスト考ヘ
テ居リマス

○小山(亮)委員 陸軍ノ整備局長ガ見エタ
ヤウデアリマスカラ、陸軍ノ方ノ質問ヲ是
カラ致シマス、先程海軍ノ徵用船ニ付テモ
御尋ネシタノデアリマスガ、陸軍關係ノ徵
用船ノ乘組員ガ支那事變、大東亞戰爭ノ中
ニ東亞各地ノ水域ニ陸軍部隊ト共ニ影ノ形
ニ添フヤウニ苦シミナガラ、部隊ノ作戰ヲ
援ケテ働イテ居リマスル船員、ソレガ勇
敢ナ仕事ヲシテ働イテ居ルヤウナコトモ屬
新聞紙ニ見、耳ニモスルノデアリマスガ、
此ノ機會ニ陸軍徵用船乘組員ガ如何ナル
活躍ヲシテ居ルカ、又其ノ乘組員ノ活躍
シテ居ル中デ、特ニ議會ヲ通ジテ國民ニモ
認識シテ貰ヒタイト思フヤウナ事實等ガゴ
ザイマシタラバ、出來ル限り詳細ニ一ツ
伺ヒタイト思ヒマス

○吉積政府委員

陸軍ノ徵用船ニ乗組ンデ居ラレマスル船員ノ方ノ御活動振リニ付キマシテ一應申上ゲマス、元來私共考ヘマスルノニ此ノ大東亞戰爭ヲ勝抜クノハ、人ノコトヲ言ツタリ、批評シテ居ル時期デハナイ、各々其ノ責務ニ邁進スル、之ニ依ツテ日本獨特ノ底力ヲ出シテ行ツテ、其ノ結果ガ大東亞戰爭ヲ勝抜ケルンダト云フ風ニ考ヘテ居リマス、サウシテ其ノ事柄ヲ如實ニ實現シテ居ラレル所ノ一ツハ、此ノ船員諸君デアルト云フ風ニ私ハ考ヘマス、御承知ノ通りニ、現在ノ戰爭ヲ遂行シマス上ニ於テ、戦力ノ増強デアルトカ、或ハ國民生活ノ確保デアルトカ、特ニ第一線ノ作戰遂行ト云フコトニ關シマシテ、船ガ非常ニ重大ナ役割ヲ務メテ居ルト云フコトハ皆様既ニ御承知ノ通りデアリマシテ、私ガ此處ニ喋々ト御説明ヲ要シナイ點ダト考ヘマス、隨テサウ云フヤウナ細カイ點ハ省キマスルガ、陸軍ノ徵用船ガ直接陸軍ノ作戰ニ非常ニ影響ヲ持ツテ居ルト云フコトモ是レ亦皆様御承知ノ通りデアリマシテ、北ハ千島カラ南ハ「ビルマ」「ソロモン」方面ニ亙ル數千哩ノ廣大ナ地域ニ亙リマシテ、晝夜ヲ分クズ作戰ニ即應シタ船ノ動力シ方ヲヤツテ居ラレル、此ノ船員ノ力ナクシテハ陸軍ト雖モ作戰ハ遂行出来マセス、今マデ陸軍ノ作戰ガ皆ク行ツタト云フコトノ功績ノ一半ハ船員諸君ニアルト申シマシテ、決シテ間違ヒハナイノデアリマス、現在ノ狀況ハ是モ皆様御存ジノ通り、敵英米、特ニ「アメリカ」ハ相當補給線ノ遮斷、或ハ言葉ヲ換ヘテ申シマスナラバ、運送船ノ破壊ト云フコトニハ相當徹底シタ施策ヲ講ジテ居ルノデヤナイカト考ヘラレマス、隨テ我ガ船舶ノ損害モ少クハナイ、此ノ間ニ於キ

マシテノ乗組員ノ苦勞ト云フモノハ陸ニ居ツテハ中々分ラナイ、我々ニモ中々分ラナイ所ノ苦心ガ存スルノダト云フコトハ想像ニ難クナイノデアリマス、殊ニ現在ニ於キマシテ船員ガ相當ニ不足致シテ居リマスルノデ、船ニ乗込ンデ居ラレル所ノ船員諸君モ平時ニ於ケルヨリハ少イ、少イ人間デ船ヲ動かサネバナラス、而モ其ノ船ノ動力シ方ハ平時ノヤウナ動力シ方デナクシテ、平時以上ノ苦勞ガ要ルト云フ所ノ非常ニ同情スベキ狀態デアリマス、中ニハ平時ナラバ當然下船サレテ居ラレル方モ頑張ツテ船ニ乗ツテ居ラレル、或ハ大變年ノ若イ方デ本當ナラバモウ少シ簡單ナ仕事ヲシテ宜イヤウナ人デモ、人ノ關係デ相當難カシイ仕事ヤラネバナラスト云フヤウナ狀態ニナツテ居リマス、併シナガラ兎ニ角我々ガ見テ居リマハル所ノ船員諸君ノ活動ト云フモノハ、實ニ涙ガマシイモノガデアリマスノデ、一ツノ例ヲ取ツテ申シマスレバ、現在日本ヲ出タナラバ、大體ニ於テ寒イ風ガ肌ヲ刺スト云フ所ノ水域ヲ航海シナケレバナラス、ソレガ十數日掛リマスト云フト、今度ハ非常ナ暑イ所ニ入りマシテ、其ノ暑イ炎天デ又勤務シナケレバナラス、氣象ノミカラ申シマシテモ非常ニ激變シタ生活ヲシナケレバナラス、是ノミヲ考ヘマシテモ陸地ニ生活ヲシテ居ル人ヨリモ非常ニ苦勞ガ多イト云フコトガ考ヘラレル、此ノ點ハ我々ガ唯紙ノ上デ考ヘタリ、空ニ考ヘテハ中々考ヘ及バナイ所ノ苦勞ガ船員諸君ニアルノダト云フコトヲ、是ハ國民諸君モ能ク考ヘテヤラネバナラスノデヤナイカト云フヤウニ考ヘマス、殊ニ潜水艦ニ對シマスル所ノ警戒、是ハ船員トシテハ當然ナサネバナラスコトデアリ

マスルケレドモ、兎ニ角内地ノ港ヲ出テカラ或ル港ニ著クマデハ晝夜ヲ分クズヤラナケレバナラス、隨テ少イ船員ヲ以テ之ヲヤリマスノニハ、船長以下相當ノ努力ヲシナケレバナラス、我々ノ聞イテ居リマス所ニ依リマスト云フト、船長ハ港ヲ出テカラ港ニ著クマデハ、大體ニ於テ船橋ニ居ル、食事モ船橋、寢ルモ船橋、唯便所ニ行ク時ダケ下ニ行ク、斯ウ云フ風ニ私ハ聞イテ居リマス、此ノ位ニ本當ニ率先ヲシテ居ル、又部下ニ居ラレル所ノ各種ノ船員モヤハリ見張リヲ嚴重ニシマセスト云フト、潜水艦ニヤラレル虞ガアリマスノデ、是レ亦本當ニ眞剣ニ見張リニ勤務シテ居ラレマス、隨テ私ハ疲勞ノ程度ト云フモノハ是レ亦相當ナモノダト云フ風ニ考ヘテ居リマス、勿論船ハ海軍ガ護衛ヲシテ居ラレマスルケレドモ、敵ノ潜水艦ニ遭フコトハ度々アリマシテ、其ノ際ニ於キマシテモ克ク沈著ニシテ船ノ操縦ヲ誤ラナイ、又船長ノ指揮統御ガ旨イ、或ハ部下ノ人間ガ能ク一致團結シテ居ルト云フコトニ依ツテ敵潜水艦ノ被害ヲ最小限ニ免レタト云フ例ハ相當アリマス、斯ノ如ク相當程度ノ被害ハアリマスルケレドモ、船員ノ努力ニ依ツテ此ノ被害ヲ食止メ得タト云フ例ハ相當アルノデアリマス、尙ホモツト積極的ナノヲ申シマスナラバ、敵ノ潜水艦ニ打當ツテ、是ハ逆モイカス、決心ヲシテ船長以下、其ノ潜水艦ニ向ツテ自分ノ船ヲ打突ケル爲ニ突進シタト云フノガアル、其ノ結果敵ノ潜水艦ガ逃ゲテ、自分ノ船ガ助カツタ、サウ云フ風ナ實例モアリマスノデ、普通ノ所謂軍隊的ノ訓練ヲ經タ人デナケレバ此ノ戰時下ニ於ケル所ノ船員トシテノ役目ハ務メ得ナイノデヤナイカ、

其ノ意味ニ於キマシテ今ノ船員諸君ハ能ク訓練サレ、又能ク一致協同サレテ居ルト云フ風ニ私ハ見テ居リマス、尙ホ陸軍ノ徵用船ハ陸軍ノ作戰ニ使フノガ主デアリマスルケレドモ、併シ現在ノ情勢ニ於キマシテ南方物資ヲ努メテ國內ニ持ツテ來ナケレバナラスト云フ任務ヲ持ツテ居リマスルノデ、ソレデナクテモ忙シイ所ノ徵用船ヲ、更ニ或ル程度廻航スルトカ、或ハ廻航シナクテモ途中デ或ル港ニ寄ラセマシテ、ソコデ短時間ニ荷役ヲシテ、凡ユル物ヲ積ンデ歸ル、吃水船ヲ相當下ゲテ積ンデ歸ル、而モ相當難カシイ航海ヲシテ歸リスマルガ、ソレデ内地ニ歸ツテ休養ガ出來ルカト申シマス、餘リ休養ハ出來マセス、何故カト云フト、相當損害ヲ受ケテ居リマスル所ノ現在ノ狀況ニ於キマシテハ、ユツクリ休マセテ置キマシタナラバ、所謂船ノ回轉率ガ悪クナル、サウスレバ作戰的ニ考ヘマシテモ、或ハ物動物資ヲ運ブト云フ上カラ考ヘマシテモ、國家ノ運營ガ皆ク行カナイト云フコトニナリマスルノデ、内地ニ歸ツタバカリデ直グ荷役シテ、直グ出テ行クト云フコトニナツテ居リマスルノデ、何處ヘ行ツテモ休マル暇ガナイ、ト云フノガ今ノ船員ノ狀態デアリマス、隨テ陸軍ト致シマシテハ、人間デアル以上、一年、二年、三年ト本當ニ働キツ放シト云フコトモ出來マセスノデ、至ル所ノ要點ニハ厚生施設ヲ設ケマシテ、短イ時間デハアツテモ、成ベクソコニ休養ヲ與ヘタイト云フノデ施設ハシテ居リマス、又是ハ色々防諜上ノ問題ガアリマシテ難カシイ問題ナノデアリマスルケレドモ、内地ニ歸リマシタ場合ニ於テハ、ソコデ或ル方法デ連絡ヲ取ツテ、家族ヲ港ニ呼ンデヤル、一

日前トカ二日前、三日前ニナルコトモアリ
マスガ、出來ルダケソレヲシテヤルト云フ
ヤウナ方法ヲ講ジテヤツテ居リマスルケレド
モ、併シハ始終内地ニ歸ル譯デモアリ
マセヌデ、一年ニ一回カ二回位シカア
リマセヌ、隨テ幾ラ施設ヲシマシタ所デ、
又色々努力ヲ致シマシタ所デ、船員諸君
ガ内地ニ居ツテ、自分ノ家庭カラ通ツテ
仕事ヲシテ居ル人ニ比レバ、相當ニ精
神的ニモ、肉體的ニモ苦痛ガ多イト云フ
コトハ想像ニ難クナイノデアリマス、
尙ホ其ノ外ニ私ハ特ニ申上ゲタイノハ、陸
海軍共持ツテ居リマスガ、陸軍ハ機帆船ト
カ、漁船ヲ持ツテ居リマス、是ハ第一線ノ一
番危イ地域ニ居ルノデアリマス、又本船ニ
於キマシテモ、殆ド一年ヲ通ジテ南方ニ居
ルト云フ船ガアリマス、デスウ云フ船ニ乗
ツテ居ラレル方々ハ年ニ一回モ家族ニ會ヘ
ナイ、而モ敵ノ爆撃ヤ、潜水艦ノ襲撃ヲ受
ケル地域ニ居テ、非常ニ苦勞ヲシテ働イテ
居ラレル、此ノ事柄ハ、我々トシテ實際感謝
モシ、同情モスル點ナノデアリマス、美談
ニ付キマシテハ、實ハ陸軍トシテ後ニ殘ス
爲ニ、全部印刷シタモノガアリマスガ、ソ
レヲ一々申上ゲルト大變デアリマシテ、時
間モ掛リマスノデ申上ゲマセスケレドモ、
概括シテ言ヒマス、先刻大體抽象的ニ申
上ゲマシタヤウニ、所謂軍隊ト殆ド同ジヤ
ウナ働キヲシテ居ラレル、第一線ノ將兵ガ
陛下ノ爲メ身命ヲ抛ツト何等變リハナ
イト思ヒマス、ドウ云フ働キヲシテ居ルカ
ト云フコトニ付テ、其ノ一、二ノ例ヲ申上ゲ
マス、船名トカ、人ノ名前、時日等ハ申
上ゲラレマセヌガ、或ル船ニ於キマシテハ、
ソレニ積ンデ居リマシタ所ノ「ガソリン」ニ

魚雷ガ當リマシテ、火災ヲ起シタト云フ例ガ
アリマス、此ノ際ニ「ボンブ」トカ、色々ナ
モノヲ使ツテ消火ニ努メタノデスケレドモ、
火ガ止マラナイ、ソレデ某船員ガ、三名デ
スガ、是デハ迎モ駄目ダト云フノデ、自分
ガ水槽ノ中ヘ着物ヲ着タ儘飛ビ込シテ、ソ
シテ水浸シニナツテ——丁度防空演習デヤ
ツテ居リマスガ、ア、云フ風ニシテ、水浸
シニナツテ、ソシテ自分ガ船艙ニ入ツテ行
ツテ、「バラス」ヲ持ツテ行ツテ、ソレヲ投ゲ
テ、漸ク消止メタ、斯ウ云フヤウナ美談
モアリマス

モウ一ツ、是ハ開戦初頭ノコトデアリマ
スガ、或ル上陸作戰ヲヤル爲ニ動イテ居リ
マシタ所ノ船——是ハ小サイ船デス、其ノ
雷ガ丁度「シンガポール」カラ逃ゲテ居ル所
ノ敵ノ軍艦ト打當ツタ、而モ爆撃ヲ受ケタ
ト云フノデ、輸送指揮官ハ萬事休シテ、ソ
レニ向ツテ突進ヲ命ジタ、所ガ向フハ軍艦
デアリ、コツチハ小サイ商船デアル、實際
ヲ言フト、ソレハ相撲ニナラス、ケレドモ
船長以下本當ニ其ノ任務ヲ遂行シマシテ、
敵ノ横腹ニ向ツテ突進シテ行ツタ、敵モヤ
ハリ軍艦デスカラ、横腹ニ打突ケラレテハ
困ルト云フノデ、或ル程度旋回運動ヲヤツ
テ居ル、相撲ニナラヌノガ四ツ相撲ミタヤ
ウニナツタ、丁度其ノ時ニ日本ノ海軍ノ或
ル艦艇ガ來マシテ、其ノ砲撃ニ依ツテ敵ノ
軍艦ハ沈ンデシマツタト云フ實例ガアリマ
ス、是レナシカハ、本當ニ自分ノ身ヲ捨テ
テ命令サレタ通りニ敵ノ軍艦ニ向ツテ突進
スル、是ハ一寸普通ノ常識デハ考ヘラレヌ
コトデアル、此ノ精神ハ私ハ「アツ」島ニ於
ケルアノ玉碎ノ精神ト同ジダト云フ風ニ
考ヘテ居リマス、其ノ他例ヲ申上ゲマス

レバ澤山アルノデアリマスガ、概括シテ申
シマス、結局自分ガ積ンデ居ル所ノ荷物、
或ハ軍隊ヲ守ラス限りハ自分ハ死ヲ賭シテ
モ船カラ下リナイト云フノガ、其ノ殆ド全
部デアルト云フ風ニ考ヘテ戴イテ構ハヌト
思ヒマス、ソレデ國內ニ於キシマテモ、色
色飛行機ニ於テモ、石炭ニ於テモ、本當ニ
滅私奉公ノ方モ澤山居ラレルと思ヒマスガ、
押シナベテ之ヲ申シマスナラバ、船員ハ環
境ガ違フト言ヘバ違ヒマスケレドモ、併シ
本當ニ一致團結シテ、斃レルマデ自分ノ任
務ニ當ルト云フコトヲ現實ニヤツテ居ラレ
ル點ニ於テハ、私ハ船員ニ對シテハ最大ノ
敬意ヲ表スベキモノデハナイカト云フ風ニ
考ヘル次第デアリマス、終リ

日本ノ勇敢ナル兵隊、皇軍將兵ト何等變ル
所ガナイ、而モ支給ノ點ニ於テモ、休養ノ點
ニ於テモ、家族ガ不安ナル點ニ於テモ、一
番報イラレザル立場ニ居ルコトヲ能ク御認
識下サイマシテ、此ノ機會ニ速カニ船員ノ
給與或ハ休養、或ハ年金、遺族ノ方面ニ對
スル所ノ對策等、根本的ナ、畫期的ナ對策
ヲ御立テ下サランコトヲ希望致シマス、若
シ長官ノ御決意ガ同ハレルナラバ伺ヒタイ
ト思ヒマス

○吉積政府委員 一寸私申上ゲタイノデア
リマス、今ノ問題ニ付キマシテハ、御質問
ガアリマセヌデシタノデ餘リ觸レナカツタ
ノデアリマスガ、陸軍ト致シマシテノ立場
カラ申上ゲマス、此ノ徵用船ニ乗込シテ居
ラレル所ノ船員ニ對シテハ、陸軍トシテハ
出來ル限りノ待遇ヲシタイト云フ考ヘノ下
ニ、現在ニ於キマシテモ相當ヤツテ居リマ
ス、殊ニ戦死サレ、戦病死サレタ方ニ付テ
ハ、陸軍トシテモ物質的ニモ相當出來ルダ
ケノコトハシテ居リマスルシ、遺家族ニ對
シテモ出來ルダケノ手當ハ講ジテ居リマス、
尙ホ先程申シ落シマシタガ、既ニ陸軍ノ徵
用船ニ乗ツテ居ラレル方デ金鵒勳章ノ恩典
ニ浴サレタ者ガ五名、其ノ他各種部隊長カ
ラ表彰デアルトカ、或ハ賞詞ヲ受ケテ居ル
者ガ相當澤山居リマス、支那事變當時ニ於
キマシテハ準軍人ト云フ風ナ考ヘ方デ取扱
ツテ居ツタノデアリマスケレドモ、大東亞
戰爭ガ始マリマシテカラハ純軍人ト云フ風
ナ積リデ私ノ方ハ施策ヲ講ジテ居リマス、
ソレデハ今滿點カト云フ風ニ考ヘテ居
リマス、併シ是ハ色々事情ガアリマシテ、
直グニ手ノ著ケラレナイモノモアリマスガ、

第六類第五號 鐵道敷設法戰時特例案外一件委員會議錄 第六回 昭和十九年一月三十一日

レバ澤山アルノデアリマスガ、概括シテ申
シマス、結局自分ガ積ンデ居ル所ノ荷物、
或ハ軍隊ヲ守ラス限りハ自分ハ死ヲ賭シテ
モ船カラ下リナイト云フノガ、其ノ殆ド全
部デアルト云フ風ニ考ヘテ戴イテ構ハヌト
思ヒマス、ソレデ國內ニ於キシマテモ、色
色飛行機ニ於テモ、石炭ニ於テモ、本當ニ
滅私奉公ノ方モ澤山居ラレルと思ヒマスガ、
押シナベテ之ヲ申シマスナラバ、船員ハ環
境ガ違フト言ヘバ違ヒマスケレドモ、併シ
本當ニ一致團結シテ、斃レルマデ自分ノ任
務ニ當ルト云フコトヲ現實ニヤツテ居ラレ
ル點ニ於テハ、私ハ船員ニ對シテハ最大ノ
敬意ヲ表スベキモノデハナイカト云フ風ニ
考ヘル次第デアリマス、終リ

○小山(亮)委員 能ク分リマシタ、只今ノ
整備局長ノ御話、又先程ノ海軍ノ軍務局長
ノ御話、兩方共今日ノ船員ガ如何ニ國家ノ
爲ニ身命ヲ抛ツテ働イテ居ルカト云フコト
ガ明瞭ニサレタノデアリマス、ソレト同時
ニ、只今ノ御話カラ推シマシテモ、今日マ
デノ船員ニ對スル所ノ待遇ハ極メテ微弱デ
アツタ、一日モ速ク是等ノ人ニ報イラレル
爲ニ、或ハ是等ノ人ヲ本當ニ後顧ノ憂ヒナ
カラシメル爲ニ、更ニヨリ以上ノ國家ニ對
スル仕事ヲサセル爲ニ、速カニ船員ノ待遇
一切ニ根本的ナル改革ヲナサランコトヲ
私ハ海運總局長官ニ希望致シマス、御承知
ノヤウニ「アツ」ニ於キマシテモ、或ハ「タ
ラワ」「マキン」ニ於キマシテモ、「ガダルカナ
ル」ニ於キマシテモ、多クノ船員ガ死ンデ
居ルノデアリマス、アノ軍屬ノ中ニ如何ニ
多クノ船員ガ居ルカ、是ガヤハリ玉碎ヲシ
テ居ルノデアリマス、最後ノ一兵マデ戰ツ
テ、壯烈ナル最期ヲ遂ゲテ居ル點ニ於テ、

日本ノ勇敢ナル兵隊、皇軍將兵ト何等變ル
所ガナイ、而モ支給ノ點ニ於テモ、休養ノ點
ニ於テモ、家族ガ不安ナル點ニ於テモ、一
番報イラレザル立場ニ居ルコトヲ能ク御認
識下サイマシテ、此ノ機會ニ速カニ船員ノ
給與或ハ休養、或ハ年金、遺族ノ方面ニ對
スル所ノ對策等、根本的ナ、畫期的ナ對策
ヲ御立テ下サランコトヲ希望致シマス、若
シ長官ノ御決意ガ同ハレルナラバ伺ヒタイ
ト思ヒマス

○吉積政府委員 一寸私申上ゲタイノデア
リマス、今ノ問題ニ付キマシテハ、御質問
ガアリマセヌデシタノデ餘リ觸レナカツタ
ノデアリマスガ、陸軍ト致シマシテノ立場
カラ申上ゲマス、此ノ徵用船ニ乗込シテ居
ラレル所ノ船員ニ對シテハ、陸軍トシテハ
出來ル限りノ待遇ヲシタイト云フ考ヘノ下
ニ、現在ニ於キマシテモ相當ヤツテ居リマ
ス、殊ニ戦死サレ、戦病死サレタ方ニ付テ
ハ、陸軍トシテモ物質的ニモ相當出來ルダ
ケノコトハシテ居リマスルシ、遺家族ニ對
シテモ出來ルダケノ手當ハ講ジテ居リマス、
尙ホ先程申シ落シマシタガ、既ニ陸軍ノ徵
用船ニ乗ツテ居ラレル方デ金鵒勳章ノ恩典
ニ浴サレタ者ガ五名、其ノ他各種部隊長カ
ラ表彰デアルトカ、或ハ賞詞ヲ受ケテ居ル
者ガ相當澤山居リマス、支那事變當時ニ於
キマシテハ準軍人ト云フ風ナ考ヘ方デ取扱
ツテ居ツタノデアリマスケレドモ、大東亞
戰爭ガ始マリマシテカラハ純軍人ト云フ風
ナ積リデ私ノ方ハ施策ヲ講ジテ居リマス、
ソレデハ今滿點カト云フ風ニ考ヘテ居
リマス、併シ是ハ色々事情ガアリマシテ、
直グニ手ノ著ケラレナイモノモアリマスガ、

出來ル限リノコトハ陸軍トシテハシタイト考ヘテ居リマス、一例ヲ舉ゲマスナラバ、遭難サレタ船員ガ内地ニ歸ラレテ衣料切符ヲ貰フ、所ガ衣料切符ハ貰ヘルガ、現物ハ入ラス、サウ云フ者ニ對シテハ陸軍トシテハ規定ハナイノデスガ、裸ニシテ置ク譯ニ行カスト云フノデ、今マデハ陸軍ノ服ヲ貸シテ居ツタノデス、唯ソレダケデハ逆モ徹底シナイノデ、最近ハ拂下ノ方法ヲ講ジテヤツテ居リマスガ、是モ陸軍ガ澤山服ヲ持つテ居ル譯デハアリマセヌノデ、足ラナイノデス、足ラナイノヲ何トカ賄ハナケレバナラスト云フノデ、陸軍ノ世帯中カラモ何トカ融通スルト云フヤウナ方法ヲ現在檢討中デ、近クハ解決ガ付クト思ヒマス、今申シマシヤウニ具體的ニハ百「パーセント」出來テ居ルトハ申シマセヌガ、相當程度ノ出來ルダケノコトハヤツテ居ル、尙ホ之ニ付キマシテハ將來モ努力シテ、改善スルコトハ改善スルシ、モツト徹底シナケレバナラスコトハ徹底サシタイト考ヘテ居ルト云フコトダケヲ申上ゲテ置キマス

○妹尾政府委員 今仰シヤツタヤウナコトヲ是非我々ハヤリタイ、斯ウ考ヘルノデアリマスガ、唯一ツ茲ニ劃期的ニヤルト云フコトニ付テハ大キナ問題ガ一ツアル、ト云フコトハ既ニモウ濟ンダ人デス、其ノ人ト今度非常ニ待遇ヲ良クスルト云フ人トニ差ガ付テ來ル、今マデモ我々ノ方デ非常ニ手ヲ燒イテ居ル問題ハ、靖國神社ニ祀ルト云フコトガ決マツタガ、何月何日以後カラデナケレバ適用シナイト云フコトニナルト、ソレ以前ハ一日前ニ死ンダ人デモ、其ノ人ハ待遇ヲ受ケテ居ラスト云フノデ、人ガ良クナルノダカラ自分ハ我慢スレバ宜イノデ

スガ、ソコガ人情デ、中々ヤカマシク言ハレルノデ、ソレヲ説得スルコトニ實ニ困リ拔イテ居ル譯デス、併シ大部分ノ人ガ喜ブ爲ニハ、或ル人ノ不平ハ抑ヘナケレバナラスノデアリマシテ、靖國神社ノ問題等ハ、ソレ以後ノ人ガ良クナルノデアルカラ、我慢シテ貰フト云フコトニシマシタガ、今ノ賜金問題ニシテモ、或ハ年金問題ニシテモ、總テ廻ツテヤルト云フコトニナルト、是非非常ニ困難デアリマス、是ガ解決ガ付カスト——今カラ先ヤルト云フコトハ非常ニ樂ダト思フノデス、其處ガ難カシイノデアリマスガ、ソレガ何トカ解決ガ付キ、又能ク大乘の見地デ我慢シテ貰フト云フ見極メノ付クモノダケハ、ドウシテモヤラナケレバナラスト考ヘテ居リマスノデ、アナタ方——小山サンナドハ特ニ御理解ガアルノデ、是非我々ガサウ云フ計畫ヲスルコトニ付テモ、側面的ニ一ツ十分御援助ナリ、御協力ヲ御願ヒシタイト思ヒマス

○小山(亮)委員 是デ質問ハ全部終リマシタ

○今井委員長 角猪之助君

○角委員 海上輸送ノ問題ヲ中心ニ致シマシテ、二、三御尋ネ致シタイト思ヒマス、先ヅ第一ハ海陸ノ一貫シタ輸送計畫ノ問題デアリマス、鐵道省ト遞信省ガ一緒ニナツテ運輸通信省ト云フモノガ出來タ、私共ガ此ノ省ニ期待スル大キナモノハ、實ニ陸運ト海運トノ一貫セル輸送計畫ノ實現デアツタノデアリマス、御承知ノ通り戰爭完遂ノ目的ニ供セラレル重要物資ハ、海上輸送ノ運搬ニ俟ツ所頗ル多イノデアリマス、所ガ現實ハドウカト申シマス、各地ニ於ケル是等重要物資ノ滯貨ガ、甚シク増加シテ居

リマス、一々數字ヲ以テ申上ゲナクトモ、既ニ當局ニ於テハ御承知ノコトト存ジマスカラ、此ノ數字上ノ説明ハ省略シマスガ、若シ此ノ儘放置シテ置キマス、我ガ戰力増強ヲ計畫サレテ居ル五大産業ガ、果シテ政府當局ガ計畫サレテ居ルガ如ク、所期ノ目的ヲ達シ得ルカ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、我々ハ甚ダシキ疑問ヲ持つノデアリマス、此ノ戰力増強ノ爲カラ申シマシテモ、海上輸送ヲシテ十分確保セシメルト云フコトハ、戰爭ヲシテ勝抜クト云フ方面カラ申シマシテモ、大キナ問題デアリマス、隨テ海上輸送ト陸トノ關係ヲドウスルカ、從來我ガ國ノ運輸政策ヲ見テミマス、政府ノ施策スル此ノ戰爭對策ノ中デ、一番腸詰ニナツテ居ルモノガ此ノ輸送計畫デナカツタカト私ハ信ジテ居ルノデアリマス、所ガ之ニ付キマシテハ陸ト海トノ接合地點アル港灣ノ問題ヲ一體ドウスルカ、從來我ガ國ノ施策ノ中デ一番我々ガ遺憾ニ思ツテ居ルモノハ、海ト陸トノ關係ガ何等ノ連繫ヲ持タナイ、バラバラデアツタ、此ノバラ／＼ニナツテ居ル兩者ノ關係ヲ、綜合的ニ一貫シタ計畫ノ下ニ運営セシメルノハ、港灣問題ガ中心デアル、斯様ニ私ハ考ヘテ居ル、港灣問題ヲ中心ニ考ヘズ致シマシテ、陸海ノ一貫セル運輸計畫ト云フモノハ成立タナイノデアリマス、所ガ當局ニ於キマシテハ或ハ港灣法ノ設定ノ如キ、目下調査研究中デアルト稱シテ、今議會ニ提案サレナカツタノヲ、私共殘念ニ思フ者デアリマスガ、何レニシテモ當局ト致シマシテハ、今日此ノ港灣問題ヲ中心ニシテ、如何ニ陸海ノ運輸ニ付テノ綜合的計畫ヲシテ居ルカト云フコトニ付テ御所見ヲ拜聽シタイノデアリマス、昔話ヲシテ甚

ダ恐縮デゴザイマスガ、アノ天保改革當時ノ幕政デアリマス、天保改革ニ關スル幕府ノ政治ニ付テ古イ記録ナドヲ見マス、アノ當時ノ改革ノ中デ一番影響シタモノハヤハリ海運デアツタ、其ノ古イ記録ニ依リマス、當時幕府ハ今日言フ所謂統制經濟ヲヤツタ、其ノ統制經濟ノ弊ガ海運ノ方マデ波及シタ、其ノ結果一體ドウナツタカト云フト、今日ト同ジヤウニ滯貨ヲ到ル處ニ見タ、其ノ當時ハ今日言フ滯貨ト云フ文字ヲ使用シナイデ、隱レ荷ト云フ文字ヲ使用シテ居リマスガ、其隱レ荷ガ今日言フ滯貨デアル、ソレガ到ル處ニ増加シテ來タ、之ニ付キマシテハ當時各藩ノ奉行ガ此ノ改革ノ弊遂ニ海運問題ニ生ジ、船ノ運航率ヲ惡クシ、而シテ滯貨ガ到ル處ニ山積シテ居ル、之ニ對スル對策ヲ致スベシト云フ各藩ノ奉行所ノ報告書ハ、當時ノ幕政ノ中心デアル老中ニ提出サレテ居リマス、然ルニ江戸市中ノ奉行ハ却テ色々政治ヲ辯解スルヤウナ報告書ヲ提出シテ、各藩ノ奉行所ノ報告ガ事實デハナイト云フヤウニ曲解シテ居ル記録ヲ拜見シマス時ニ、今日ノ運輸通信省ニ於ケル海運總局ノ立場ガ江戸幕府ノヤウナ態度デ此ノ問題ヲ研究サレテハ甚ダ迷惑スル、各藩ノ或ル奉行所ノ如ク事實ヲ求メテ、率直ニ此ノ對策ヲ講ゼラレンコトヲ懇願致シマシテ、長官ノ御答辯ヲ要求致シマス

○妹尾政府委員 海陸輸送ノ一貫性、連絡強化ト云フ御質問デアリマスガ、私が答辯致シマスノハ少シ適當デハナイカト思ヒマスガ、大體ノコトハ私モ分ツテ居ルノデ、人ノ領分マデ入ツテ答辯スルコトニナルノデアリマスガ、之ニ付テハ事實運輸通信省ガ出來マシタノガ、サウ云フ目的デ出來タ

ノデアリマスガ、最初ニ政府ガ豫期シタ如クマダ軌道ニ乗ツテ居ルトハ私モ思ハナイノデアリマス、併シソレデハイケナイノデ、兎ニ角海陸ノ連絡輸送計畫ヲ樹立スル爲ニ、企畫局ト云フモノガ出来、ソレヲ中心トシテ海陸ノ連絡輸送ト云フコトニ計畫性ヲ持チ、一貫性ヲ持つヤウニヤツテ參ルノデアリマシテ、是ハ日ト共ニ段々仕事ガ能クオ互ニ分リマシテ、當初豫期シタヤウニ軌道ニ乗ルモノト思ツテ居リマス、併シ今マデモ全然ヤツテ居ラナカッタカト云フトサウデハナク、鐵道省、逓信省ト分レテ居ツタ時モ緊密ナル連絡ヲ執ツテ居ツタノデアリマシテ、其ノ後一緒ニナツテドレダケ效果ガ上ツタカト言ハレマス、話ガ非常ニ仕易クナツテ近寄ツタト云フ程度デアリマシテ、是ダケ著シク改善シタト云フコトニハマダナツテ居リマセヌ、併シナガラ十分ニ連絡ヲ密ニ致シマシテ、機動性ノアル輸送ヲヤル、又サウ云フ滞貨ノ問題モ色々アルコトハ私モ聽イテ居リマスガ、是ハ港灣ノ荷役力ノ弱イ爲メデアルトカ、或ハ汽車デ持つテ參リマシテモ、船ニ積ムマデニ色々天候ノ都合デ機帆船ガ入ツテ行カスト云フヤウナ場合モアリマスシ、色々ノ状況デ、時ニ方々ニ滞貨ノアルコトモ能ク承知致シテ居リマスガ、是ハ又速カニ切換ヘラ十分ヤリマシテ、機動性ノアルヤウニヤツテ行クコトニ兩總局トモ努力ヲ致シテ居ル次第デアリマス

機帆船ノ運航統制ノ問題ニ付テ御伺ヒ致シタイト存ジマス、機帆船ハ御承知ノ如ク我が國ニ於キマシテハ其ノ輸送力ハ極メテ大ナルモノデアリマス、今日機帆船ノ輸送力ノ數字上ノコトハ祕密ニナツテ居ルノデ、之ニ對スル資料ヲ要求致シマシタガ、御交付ノナイヌヲ私ハ遺憾ニ存ジマスガ、少クトモ事變前ハ輸送力ノ七割ハ機帆船ガ占メテ居ルト云フ事實ヲ見ル時ニ、如何ニ機帆船ノ運航能力ガ戰力増強ト、國民生活安定ノ問題ニ、國家的ナ重要ナ役割ヲシテ居ルカト云フコトヲ十分證明シテ居ル、殊ニ事變以來大東亞戰爭ガ展開サレルニ付テ、其ノ船腹ガ甚シク不足ヲ告ゲ、多クハ軍務公用ニ充當セラレルヤウニナツタ今日、機帆船ノ運航能力ハドウシテモ輕視スルコトガ出来ナイ、或ハ滿洲、支那、南洋カラノ輸送ニ從來ノ大船巨舶ニ代ツテ一時ニ機帆船ガ從事シテ居ルト云フ事實カラ見テモ、機帆船ノ問題ハ國家機能ノ中デ大キナ問題トシテ考ヘナケレバナラヌト思フ、所ガ政府ノ機帆船運航統制ニ關スル問題ニ付テ私共ノ甚ダ遺憾ニ思フノハ、一般統制ノ弊ニ陷ツテ、其ノ運航能力ヲシテ却テ低下セシメテ居ルト云フ事實デアリマス、無論我々今日ノ時代ニ於テ統制其ノモノニ反對スルノデハナイ、如何ニ機帆船ノ輸送能力ガ多イカラト云ツテ、彼等ノ氣儘ニ運航サセルコトノ出来ナイノハ無論デアリマスガ、國家性ヲ帶ビテ統制ヲ圖ツテ戰力増強ニ活躍セシムルト云フ趣意ニ對シテハ、我々ハ反對スルモノデハナイ、所ガ政府ノ事實ヤツテ居ラレル所ハ、此ノ趣意ニ副ハズ、却テ運航能力ヲ低下セシメテ居ル事實ガ澤山アル、何故サウ云フ拙劣ナ統制、ト云ヘバ甚ダ失禮

デアルガ、機帆船ヲ一般ノ大キナ船舶ト同様ニ認メラレ、其ノ特殊性ニ付テハ十分ノ研究ヲサレザル統制ヲサレタガ故ニ、統制ノ弊ヲ追ウテ、運航能率ヲ低下セシメタノデハナイイカト私ハ想像スルノデアリマス、然ラバ機帆船ノ特殊性トハ一體何カ、機帆船ノ特殊性ト申シマス、先ヅ其ノ乗組員デアリマス、第一ニ機帆船ト云フモノハ大、船巨舶ヲ動かカスト云フヤウナ大キナ資本系統デヤツテ居ルノデハナイ、所謂一艘船主ナルモノガ多イノデアリマス、其ノ乗組員ノ如キモ大船巨舶ノソレトハ違ヒマシテ、大體ハ一族郎黨ヲ引具シテ居ルカ、然ラズンバ船主ガ子供ノ時カラ手ナヅケテ、所謂子飼ヒノ者ヲ乗組員ニシテ居ルノデアリマス、隨テ船主ハ其ノ子飼ヒノ者ニ對シテハ痒イ所マデ手ノ届クト云フヤウナ世話ガ出来ル關係ニアツテ、恰モ血ノ繋リノ如キ關係ガ此ノ機帆船ノ一種ノ特殊性デアリマス、此ノ船ヲ中心トシテ血ノ繋リヲ持つテ居リマスカラ、如何ニ浪風ノ高イ時デモ、天候ノ惡イ時デモ、其ノ危險マデモ冒シテ、謂ハハ親方ノ爲ナラト云フ此ノ氣概ト情誼ヲ持つテ航行ニ從事シテ居ル、此ノ機帆船ノ統制ヲ考ヘル時ニ、此ノ情誼、此ノ血ノ繋リ、茲ニ特殊性ガアルノダト云フコトニ重點ヲ置イテ考ヘナイト、却テ運航能率ヲ低下セシムル結果ニナルノデアアル、ソコデ此ノ機帆船ヲ運航シテ居ル其ノ原動力ハ、今申シマシタ所謂血ノ繋リニアルノデアアル、今日石油ノ配給ガ少イ、配給ガ少イカラ石油消費ノ規正ヲ改正シテ、石油ノ増配ヲスルコトガ船ノ回轉率ヲ多クセシムルノダト云フコトヲ當局ハ考ヘテ居ラレマセウ、尤モ船ニ對スル石油ノ増配ト云フコ

トモ肝腎デアリマス、石油ノ消費規正ヲ改革スルコトモ、船ノ運航能率ヲ高度ニ確保スルコト云フ意味カラ見テ、是ハ當然ナコトト思ヒマスケレドモ、併シ石油ノミニアツテモ、此ノ血ノ繋リヲ持つテ居ルト云フ特殊性ヲ沒却シテ、運航統制ヲヤツタ所ガ、船ハ絕對ニ能率良ク回轉スルコトハ出来ナイ、ソコデ大手筋ガ用ヒテ居ル合理主義ト云フヤウナモノハ、此ノ機帆船ノ運航ニハ適應スルコトハ出来ナイノデアリマス、船員ガ足ラヌカラ徵用シタ、其ノ船主ヲ以テ運航スルカト云ツテモ、ソハモ出来ルモノデハナイ、大手筋ノ社員ヲ機帆船ニ乗セタカラト云ツテ、其ノ機帆船ノ運航ト云フモノハ決シテ出来ルモノデハナイ、此ノ大手筋ノ合理主義ト云フモノハ此ノ機帆船ノ特殊性カラ見マシテ、決シテ適應スルコトガ出来ナイノデアリマス、然ルニ當局ノ執ツテ居リマス機帆船運航統制ト云フモノハ、此ノ大手筋ノ合理主義ヲ當飲メテ、一般海運統制問題ニ結付ケテ居ルト云フ所ニ、大變無理ガ出テ來テ居ナイイカト思フノデアリマス、曾テ「オランダ」ガ蘭領「インド」ニ於キマシテ「カー・ペー・エム」ト云フ會社ヲ設立シテ、沿岸運航ノ實務ヲ擔當セシメテ居ツタ時代ガアリマス、是ハ丁度今日デ謂フ運航統制會社デアツタ、所ガ此ノ「カー・ペー・エム」ト云フ會社ハ世界一運賃ガ高イ、而シテ世界一非能率デアツタ、當局ガヤツテ居ラレルコトハ丁度此ノ「カー・ペー・エム」會社ノ弊ヲ追ツテ、此ノ拙劣ナ運航統制ヲヤツテ居ラレルノデハナイイカト、甚ダ失禮デアリマスガ、サウ云フ風ニ私ハ感ジテ居ル、海運總局長官ハ海軍御出身ノ方デアリマシテ、我々素人ガ驅逐艦ヤ潜水艦ノコトヲ御話申

上ガルコトハ甚ダ僭越ト存ジマスルガ、聞ク所ニ依リマス、驅逐艦、潜水艦ト云フヤウナ小サナ軍艦ヲ運航スルノニハ、妙ナ乗組員ガ來テ居ツテハ、艦ヲ動かスノニ甚ダ以テ始末ニ惡イト云フコトヲ私ハ軍人カラ聞イテ居リマスガ、機帆船モ丁度是同ジデアリマス、海軍ニ於ケル潜水艦、驅逐艦ノヤウナ小型ノ艦ト同ジデアリマシテ、如何ニ統制主義流行ノ時代トハ申セ、唯實情ト特異性ヲ考ヘズ致シテ一般統制ヲナサレルト云フコトハ、甚ダ運航能率ヲ低下スルコトニナルノデアリマスガ、此ノ意味ニ於キマシテ現行ノ國家管理ニ依ル機帆船問題ニ對シマシテハ、當局ハ更ニ根本的ニ御考慮下サイマシテ、再檢討サレル必要ハナイカドウカ、此ノ點ヲ先ヅ私ハ御伺ヒ致シタイト存ジマス

○妹尾政府委員 今御説明ガアリマシタノハドウモ抽象的デ、ドウ云フ點ガ惡イカラドウ直シタラ宜イノダト云ツタヤウナ御話デナカツタノデ、私ニハドウモ能ク了解ガ出來ナカツタノデアリマス、ソレニ付テハ角サンニモ多分一案ガオアリノコトト思ヒマスノデ、或ハ又改メテサウ云フコトヲ御聽キシテ色々考ヘテモ宜シイト思フノデアリマスガ、實ハ機帆船ノ統制ト云フコトハ、昨年ノ夏頃勿々ノ際ニ作ツタコトデアリマシテ、私モソレヲ唯引繼フ受ケテ居ルノデアリマスガ、必ズシモ滿點ノ作り方デハナカツタト思ヒマス、ソコデヤハリ改善スベキ點ガアルノデアリマスカラ、今度國家徵用デ五十「トン」以上ノ船ヲ引上ゲラレマス、現在ノ會社ノ組織デハ相當經營ガ困難ニナルト云フコトモアリマスノデ、此ノ際更ニモウ一度今ノ機帆船會社ヲ集約致シマシテ、

サウシテ新ナル構想ヲ取入レテ、今度ハ今ノヨリモモツト能率ノ上ルヤウナ方法デ行キタイ、斯様ナ考ヘヲ持ツテ居ル次第デアリマス、御指摘ニナリマシタコトガドウモ私ニモ能ク了解ガ出來ナイ點ガアリマシテ、想像スルニ統制會社ニナリマシタ場合ニ、其ノ幹部ガ船主ノ發言權ヲ相當認メテ、サウシテ船主ノ意見ヲ大イニ取入レテ、此ノ會社ヲ運用シタラ宜カラウト云フヤウナ御意見モ入ツテ居ルカトモ思ヒマス、サウダトスレバ我々モソレハ全ク同感デアリマシテ、現在作ツテ居リマス機帆船會社ノ極端ナ例ヲ申シマス、却テ反對ニナツテ七割モ船主ガ入ツテ居ルヤウナ會社モ出來テ居リマス、併シナガラ大部分ハサウデアリマセヌノデ、今度ハ資本的ニ船主ヲ入レルト云フコトハ、一般船主ニ對シ困難デアルト思ヒマスノデ、會社ヲ今度集約致シマシテ、會社ノ幹部ト云フモノニ、船主ヲ代表スル發言權ヲ持テ、又尊重セラレルヤウナ適任者ガアルダラウト思ヒマスノデ、サウ云フ人ヲ何割入レルトカ、何「パーセン」ト入レルト云フ問題デナシニ、成ベク適任者ヲ多數入レテ、サウシテ船主ノ利益ヲ能ク考ヘテ幹部ヲ之ニ入レテ、會社ヲ作ツテ運用シテ行キタイト考ヘテ居リマス、其ノ他ニモ尙ホ色々御名案ガアルト思ヒマスガ、時間ガアリマセヌカラ、又別ニ私ノ方ニ御意見ヲ戴キマス、困難デナイモノハ十分之ヲ取入レマシテ、皆サンノ御希望ニ副フヤウニ致シタイト考ヘテ居リマス

○角委員 只今海運總局長官カラ、オ前ノ言フコトハ抽象的デドウモ意味ガ分ラヌト仰シヤイマシタガ、實ハ今御答辯ニナツタ地區運送會社ノ改革問題ニ付キマシテハ、後刻此ノ問題ト關聯シテ質問シヨウト思ツテ居ツタノデアリマス、唯私ノ今申上ゲタコトハ、船ノ特異性ト云フモノヲ御考ヘニナツテ統制ノコトヲ計畫シナイト、却テ運航能率ハ低下スルノダト云フコトヲ諄々シク申上ゲタ譯デアリマスガ、之ニ關聯致シマシテ、實例ヲ申シテ私ハ長官ノ御意見ヲ伺ヒタイト存ジマス、當局ノヤラレテ居ル機帆船運航ノ統制ト云フコトニ、先ヅ第一何處ニ缺點ガアルカト云フ實例ヲ申シマス、適船、適貨、適航デナイト云フコトデアリマス、即チ徒ラニ統制ノ爲ニ統制ヲヤツテ居リマシテ、其ノ弊害トシテサウ云フ結果ヲ生ジテ居ル、適船、適貨、適航デナイ、例ヘバ若松及比長崎間ノ航行ニ慣レテ居リ、其ノ事情ヲ知ツテ居ル船ヲ、勝手ヲ知ラナイ北海道ノ方ヘ向ケテ見タリ、或ハ又事情ヲ知ラナイ大阪、和歌山縣ノ方ヘ廻シタリシテ、一向適航主義ト云フコトヲ考ヘナイ、唯船サヘアレバ何處デモ動クノダト思ツテ、統制サレテ居ルコトガ事實存在スルノデアリマス、ソレカラ適船、適貨デナイト云フ實例ハ、最近當局ガ國家使用令狀ヲ發シタ船ニ糞尿船ガアル、汚穢屋ノ船デアリマス、此ノ汚穢屋ノ船ヲ捉ヘテ來テ、材木ヲ積メト云フテ居ル事實ガアルノデアリマス、如何ニ今日戰争狀態ガカラト云ツテモ、肥ヲ積ム專門ノ船ヲ徵用シテ來テ、材木ヲ積メト云フヤウナやり方ヲヤツテ居ルカラ、是ハドウシタツテ材木ヤナンカ積メルモノデハナイノデアリマス、材木ヲ積ムノニハ材木ヲ積ム構造ノ船ニナツテ居ル、鑛石ヲ積ムノニハ鑛石ヲ積ムベキ構造ニナツテ居ル、糞尿ヲ積ム運搬スル船ニ材木ヲ積メト云ツタツテ積メルモノデハナイ、現ニ海運總局デ司

令ヲ出シタモノニサウ云フ事實ガアルノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトヲ御直シニナツテ、適船、適貨、適航主義ノ配船ヲ第一ニ考ヘテ貰ヒタイ

其ノ次ハ木船ノ保險問題デアリマス、木船保險法ハ船主共助ノ精神ヲ目的トシテ、設定實施サレタモノデアラウト存ジマス、所ガ保險協會ノ運用ニ當リマシテ、必ズシモ船主ノ共助ノ精神ト云フコトニハナツテ居ナイ、却テ此ノ共助精神ガ抹殺サレテ居ル事實ガ到ル處ニ多イノデアリマス、實例ヲ申上ゲマス、廣島縣ノ丸尾阪之助ト云フ人ノ所有船舶ハ、協會員ヨリ一萬四千圓ノ査定ヲ受ケマシテ、此ノ木船保險ニ加入シテ居ツタ、然ルニ不幸ニ致シマシテ門司ノ港内デ此ノ船ガ沈没シタノデアリマス、無論保險金ハ支給サレマシタガ、港則ニ依リマシテ、其ノ取除ケ費用ヲ七千圓拂ハサレタ、結局此ノ取除ケ費用ヲ負擔シタ爲ニ一萬四千圓ノ保險ガ、アト七千圓ヨリ貰ヘナイト云フ事實ニナツタ、所ガ此ノ船ヲ其ノ後協會ガ沈没シタ儘デ、三萬八千圓デ第三者ニ入札賣却シテ居ルノデアリマス、サウ致シマス、此ノ保險金デ儲カルモノハ、船主デナクテ、恰モ中間搾取階級ニアルガ如ク誤解サレル、此ノ保險協會ガボロイ儲ケヲシテ居ルト云フコトニナル、人ノ不幸ニ附込シテボロイ儲ケヲシテ居ルモノハ協會ガト云フコトニナル、斯ウ云フヤウナ保險制度ヲヤツテ居ツテハ、第一船主ノモノガ保險ニ加入スル意思ガナイ、サウシテ馬鹿々々シイカラ、成ベク安全ナ所ヲ選ツテ航海シヨウ、危險ナ時ニハモウ航海シマイ、少シデモ雨が降ツタリ、風ガ吹イタリシタラ、第一保險金ハ第三者ニ依ツテ儲

ケラレルカラ、俺等ノ懷ロニ入ルノハ少額
ナモノデアル、斯ウ云フ馬鹿々々シイ航海
ハ出来ナイデハナイカト云フコトデ、是ガ
運航能率ノ甚ダ低下シテ居ル第二ノ原因デ
アリマス、ソレカラ第三ノ原因ハ使用料金
ノ低廉ナルコトデアリマス、「トン」當リノ
使用料金ヲ調べマス、新シイ船デ十七圓
三十年程度ノモノデ十二圓ト云フコトニナ
ツテ居ルヤウデアリマスガ、ドウモ使用料
金ノ低廉ナル爲ニ、此ノ船ノ回轉率ニ積極
性ヲ持タクナル、此ノ點デアリマス、第
四ハ航海獎勵金ノ制度ノ問題デアリマス、
此ノ航海獎勵金ノ内容ヲ見テミマス、船
員ノ方ハ五割、問屋ガ三割、船主ガ三割ト
云フ比率デ此ノ航海獎勵金ガアルノデアリ
マスガ、寧ロ私ハ航海獎勵金ノ精神カラ行
ケバ、問屋筋ニ獎勵金ヲ出スト云フコトハ
不合理デハナイカト思フ、危險ヲ冒シテ運
航ノ實際ニ當ツテ居ル者ハ、船主及ビ船員
デアリマスカラ、是等兩者ニ對シテ厚クス
ル、サウシテ中間搾取ノ性質ヲ持ツテ居ル
問屋筋ニ、此ノ獎勵金ヲ出スト云フガ如キ
コトハ甚ダ不合理ダト思ヒマス、ソレダカ
ラドウモ船主ト云フモノハ一生懸命ニナツ
テ働カナイ、第五ノ運航能率低下ノ問題ハ
船具ノ問題デアリマス、即チ「マニラ・ロー
プ」等ノ入手ガ中々難カシイ、斯ウ云フ船具
ノ入手ノ状態ガ思フヤウニ行カナイト云
フ所カラ、此ノ運航能率ノ低下ヲ致シテ居
ル實情デアリマス、此ノ點ニ於キマシテ若シ
御改革ヲサレバコトガ出来マスレバ、其ノ御
意見ヲ拜聴致シタイト思ヒマス

○妹尾政府委員 具體的ナ御話ガゴザイマ
シタガ、適船、適貨、適航主義ト云フコト
ハ御意見ノ通りデアリマス、其ノヤウニヤ

ルベキモノナノデアリマシテ、是ハ洵ニ言
譯ガマシイノデアリマスガ、必ズシモ本當
ノ實情ハ能ク捉ヘテ居ラヌト云フコトガア
ルノデス、ソレハ一應船ノ名前ガ出テ居リ
マシテモ、今ノヤウニ途中デ糞尿船ニ改造
シテ、其ノ屈ヲシテ居ラヌトカ、ソレハサ
ウデナイカモ知レマセヌガ、其ノ他勝手ニ
船ノ名前ガ變ツタリ、多數ノ中ニハ取締上
工合ノ惡イ點ガアリマス、三年モ、五年モ
前ニ沈没シタト云フヤウナモノニモ使用令書
ヲ出シテ居ル、船ノ形ガ變ツテ居ル、ドコ
ロデハナクテ、モウ居ラナイモノニモ使用令
書ヲ出シテ居ルト云フヤウナ狀況デ、全體
ノ機帆船ト云フモノガ本當ニ實情ガ捉ヘラ
レテ居ラナカッタト云フ點ガアリマス、是
ハソレデハハイケナイノデ、今カラ能ク適船、
適貨、適航主義デ行クト云フヤウニ致シマ
シテ、實情ガ能ク分リマシタモノ、此ノ船
ニハ是シカ積メナイノダト云フモノハ、ソ
レニ石炭ヲ強ヒテ積メトカ何トカ云フ考ヘ
ハアリマセヌノデ、ソレハ色々事情ヲ聽キ
マシタ上デ解除スベキモノハ解除シ、又他
ニ變更スベキモノハ變更スルト云フ風ニ取
計ツテ居ル次第デアリマス

次ニ申サレマシタ保險ノコトニ付テハ、
其ノ實情ヲ私ハ聽イテ居リマセヌノデ、後
刻若シ海運局長ガ知ツテ居リマシタラ、
答辯致シマス

ソレカラ使用料ニ付キマシテハ、備船料
ガ一體ニ安イト云フ問題モアリマスノデ、
是ハ只今研究ドコロデハアリマセヌ、十分
研究ハ濟マセマシタガ、之ヲ實現致シマス
ノニハ相當國家ガ補償シナケレバナラス、
恐ラク船運物ハ皆統制物資デアリマス、
統制物資ノ運賃ヲ上ゲルト云フコトニナリ

マスト、ドウシテモ低物價政策ニ、詰リ統
制物資ノ値段ニ關係ガアルノデ、簡單ニ使
用料ヲ上ゲルト云フ譯ニハ行カナイ事情ガ
アリマスノデ、運賃ノ補償ヲスル、或ハ使
用料ノ上ゲタ差額ヲ國庫デ出ス、何レニシ
テモ國庫ガ負擔シナケレバイカヌノデアリ
マシテ、此ノ點ハ相當數ガ多イノデ一寸
上ゲマシテモ莫大ナ金額ニ上ツテ來ルノデ
アリマス、ソレデ之ヲ輸送物資ニ掛ケレバ
何デモナイノデアリマスガ、ソレヲ掛ケテ
ハイカスト云フコトヲ大藏當局トモ十分折
衝シナイト、使用料ヲ上ゲルト云フコトガ
出来マセヌシ、是ハ上ゲルト云フ意思デ目
下研究ヲシ、折衝ヲスル積リデゴザイマス
次ハ航海獎勵金ノ問題モ、是ハ仰シヤル
通りダト思ヒマスノデ、目下研究中デゴザ
イマス、特ニ今北海道方面デモ石炭ヲ輸送
スルノニ、船ノ回轉率ヲ上ゲテ、效率ヲ上
ゲナケレバナラヌト云フ問題デ、差當リ彼
處ダケハ別ナ考ヘテ持ツテ居リマスガ、サ
ウ云フモノモ私ハ必ズシモ今ノ方法ガ正當
デアルトハ考ヘマセヌノデ、是ハ大イニ改
善シナケレバイカヌト考ヘテ居リマス

ソレカラ船具ノ入手、其ノ他ニ付テハ、
洵ニ御説ノ通りデアリマスガ、全般ノ資材
不足デアリマシテ、是ハ出來ルダケ努力致
シタイト思ヒマス、現ニ澤山ノ曳カレ船ガ
出來マシテ「マニラ・ロープ」ニ困ツテ居ル
ノデアリマス、「マニラ・ロープ」ガ何處カ
ラ出サヘスレバ物ガウント此ノ際輸送ガ出
來ルト云フ目途ガ付イテ居ルニモ拘ラズ、其
ノ「マニラ・ロープ」ガ中々ナイト云フ狀況
ニアリマス、「マニラ・ロープ」ノミナラス、
其ノ他ノ船具等ノ入手ニ付テハ十分努力致
シマスガ、中々全般カラ見テ困難ナ問題ダ

ト考ヘマス

○角委員 此ノ運航問題ニ關聯致シマシテ
先程長官カラ御話ノアリマシタ地區運送會
社ノ問題ニ付テ御所見ヲ拜聴致シタイト思
ヒマス、實ハ私ハ今申シマシタ諸點ガ我ガ
機帆船ノ運航能率ノ低下ノ原因デアルト同
時ニ、他ノ一面ニ於テ最モ重大ナ原因ニナ
ツテ居ルモノハ、地區運送會社ノ運送問題
デアル、此ノ點ニ付キマシテハ既ニ御當局
ニ於キマシテハ改革ナサレル意思ガアルヤ
ニ只今拜聴致シマシタガ、實ハ此ノ實情ヲ
見テ居リマスルト船主ト運送會社トノ間ノ
相剋摩擦ト言ヒマスルカ、益々激化スル一方ニ
アルノデアリマス、何故激化シテ居ルカト
云フコトハ、要スルニ會社ソレ自體ノ運營
ニ當ツテ不正ナ事柄ガ多イト云フコトデア
リマス、先ツ會社設立ニ當リマシテハ、今
マデノ回漕店ガ中心トナリマシテ、運送會
社ヲ設立シタノデスガ、彼等ハ共助金ヲ貰
ツテヤツテ居ル、資本ノ大部分ハ其ノ共助
金ナシデアル、此ノ共助金ノ査定ハ嚴格デ
アルベキ筈デアリマスガ、事實ハ嚴格デヤ
ナイ、自分達ガ手盛テ共助金ヲ査定シテ居
ルノデスカラ、事實ニ於テ五千圓位シカ貰
ヘナイ回漕店ガ、五萬圓カラ取ツテ居ルヤ
ウナ事實ガアル、此ノ共助金ノ水膨レト云
フコトニ付テハ、先ヅ第一ニ船主側カラ見
テ甚ダ不愉快ノ原因ノ一ツデアル、續イテ
運賃ノ問題デアル、運賃ハ船主側カラ見マ
スト、所謂摘ミ運賃デアル、摘ミ運賃タル
ヤ何カト云フト、結局間取引ノ運賃デアル、
運送會社ハ假ニ百「トン」千圓ト云フ運賃ヲ
貰ツテ居リナガラ、船主其ノモノニ六百圓
位シカ渡サナイ、船主側カラ是ダケノ荷物
ヲ運搬スルノニ六百圓ハ餘リ安過ギルデヤ

九〇

ナイカト云フト、イヤ是ハ事實六百圓ヨリ
貰ツテ居ナイノダカラ、何ダツタラ交渉シ
ヨウカナト言ツテ、高々三十圓カ、四十圓
位持ツテ來テ騙マカス、事實ニ於テ三百七
十圓カラ四百圓ト云フ金ヲ胡麻化シテ船主
ニ渡サナイト云フヤウナ事柄ハ、此ノ運航
能率ヲ低下セシメテ居ル原因デアリマス、
此ノ運送會社ノ運營上ノ弊ハ特ニ大阪ガ多
イ、大阪カラ中國筋、北九州ニ至ツテ最モ
重要ナ資物ヲ運バナケレバナラス、是等ノ

○妹尾政府委員　今ノコトニ付キマシテハ、
先程御答辯致シマシタ方針デヤツテ行ク、
斯ウ考ヘテ居ルノデアリマシテ、是ハ大體
今三十四地區アリマスノヲ、十前後ノ會社
ニモウ一遍集約スル——船ガズツト減ツテ
居リマスカラ——ソレデサウ云フコトニス
ル時ヲ利用致シマシテ、各部ノ船主ノ満足
スルヤウニシテ、サウシテ此ノ運航能率
ヲ上ゲテ行クト云フコトニ考ヘテ居ル次第
デアリマス

○角委員 大分船主諸君ハ此ノ會社ニ付キ
マシテ不平ヲ持ツテ居ツテ、色々陳情サレテ
居ルコトハ長官モ多分御承知ノコトト思ヒ
マスカラ、何モ此ノ際諄々申上ゲナクテモ、
私共ノ言ハントスル所ハ既ニ文書ヲ以テ提
案シテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、是
レ以上申上ゲマセヌガ、ドウゾ御同情アル
措置ヲ講ゼラレンコトヲ政府ニ希望致シマ
ス

最後ニ私ハ木造船ノ問題ニ付テ一寸簡單
ニ伺ヒタイノデスガ、先程小山亮氏カラ色
色實例ヲ舉ゲテ木造船ノ粗製濫造ノ點ニ付
テ縷々申サレマシタガ、此ノ粗製濫造ト云
フ問題ニ關聯シテ、私ハ是非當局ニ於テ考
慮シテ戴キタイト思フノハ、大手筋ノ造船
所ノ問題デアリマス、即チ三井トカ三菱、
商船 郵船ト云ツタ此ノ大會社ガ木造船ノ
造船所ヲ經營サレテ居リマスガ、私ハ木造
船ノ技術其ノモノカラ見マシテ、如何ニ資
本ガアツタカラト云ツテ決シテ木造船ヲ拵
ヘルト云フ方面カラ見ルト、其ノ能率ハ向上
サレルモノデハナイ、資本ガ多イカラト云
ツテ木造船ノ能率ノ向上サレザル其ノ實例
ハ多イノデアリマシテ、今日ノ大手筋ガヤ
ツテ居ル造船所ニ於テハ、殆下其ノ割當ノ

十分ノ一位シカ出來テ居ナイ、是ハ何處ニ原因ガアルカ、當局ガ會テ期待サレナカツタ舊造船所、小規模ノ造船所ノ方ガ却テ反對ニ能率ヲ昂揚シテ居ルノデアリマス、太キナ期待ヲ持タレテ居タ大手筋ノ造船所ノ方ハ、僅カニ割當ノ十分ノ一シカ完成ガ出來テ來テ居ナイ、而モ完成シタモノモ、只今小山委員ガ申サレタヤウニ、粗製濫造モ特ニ甚ダシイ、進水式ヲシテ直ガニ沈沒シタト云フヤウナ船ガアル、石炭ヲ一回運シダラ船底ガ抜ケタト云フ船モアル、是ガ大手筋ノ建造ニ係ル船ニノミ非常ニ多イノデアリマス、實情ハサウ云フヤウニナツテ居リマス、舊來ノ小規模デヤツテ居ツタ所謂

ドレダケアルカト云フト、僅カニ三、四十人、アトノ者ハ皆素人ナノデアル、素人ガ船ヲ造ルノデスカラ勢ヒサウ云フ風ニナル、ダカラドウシテモ徒ラニ工員ノミ多クシテ船ノ出來方ガ惡イ、斯ウ云フヤウナ見地カラ致シマシテ、此ノ大手筋ヲ暫ク整理スル必要ハナイカ、此ノ大手筋ノ造船所ヲ整理シテ、寧ロ在來ノ船大工ヲ中心ニシテヤツテ居リ、而モ能率ガ現ニ當局ガ豫想シテ居ル以上ニ向上シテ居ルト云フ此ノ事實カラ考ヘテ、之ニ活ヲ入レサヘスレバ今日ノ木造船問題ノ解決ノ一端ニモナルト信ジテ居リマスガ、此ノ點ニ付テノ御所見ヲ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○妹尾政府委員　是ハ、昨年木造船ヲ多量ニ建造スルト云フ政府ノ方針ガ決ツタ時ニ、從來ノ日本全國デ造ツテ居ツタ木造船ノ數倍ノ木造船ヲ造ラナケレバナラスト云フコトニナリ、飛躍のニ其ノ建造量ガ殖エルト云フコトニナツタノデ、舊來ノ造船所位ヲ少々擴張シタ位デハ到底其ノ所要建造量ハ建造出來ス、ソレデマア大手筋ト云フヤウナ所ニ其ノ資本ヲ出サシテ、サウシテ新タナ造船所ヲ造ラナケレバ多量ノ船ハ出來ナイト云フコトデアツタノデアリマス、其ノ時ニ舊造船所ダケノ能力ヲ一パイニ活用シタ程度ノ木造船デ濟ムナラバ、サウスベキモノナンダト思フノデス、ソレヲ建造量ガ殖エタ爲ニ斯ウ云フコトニナツタノデアリマスガ、是ハ又如何ニ資本ヲ澤山出シテモ、工場ヲ船ヲ造ルマデニ仕上ゲルマデニハヤハリ相當ノ施設ヲシナケレバナラス、其ノ建設用ノ資材ト云フモノモ潤澤ニ廻ツテ居ラス、幾ラ金ヲ掛ケヨウト思ツテモ施設ガ出來ナイト云フ關係上、大手筋ノ者モ、

命令ヲセラレタ其ノ命令ガ實ハ無理ナンド
ス、何分ノ一シカ出來ナイト云フノハ、是
ハ已ムヲ得ズサウ云フ狀況ニナツテ居ル
思ヒマスガ、併シ其ノ後著々ト各造船所モ
設備ガ出來テ行キマスノデ、恐ラク是ハ當
初ニ考ヘテ居ツタ通りノモノガ進ンデ行ク
トハ思ヒマス、併シナガラ此ノ技術者、所
謂木造船ヲ造ツタ船大工ト云フモノハ、先
程申シマシヤウニ去年木造船ヲ造ルト言
ツタ分量ノ何分ノ一シカ造ツテ居ラナイノ
デスカラ、ソレダケ船大工ガ居ラナカツタ
譯デアアル、デアリマスカラ中々大造船所ヲ
造ツテ見テモ、船大工ノ居ラスト云フコハ
事實デアリマス、ソレデハドウスルカト云
フコトデ、本當ニ昔ノ船大工カラ見ルト、
コンナ船ヲ造ルノカト思ハレルヤウナ船、
隨分簡易ナル設計ヲシテ、餘リ技術ハナク
トモ出來ルダラウト云フ船型ヲ選ンデヤツ
テ居ル譯デアリマス、ソコニ多量生産ト云
フコトヲドウシテモ日本ノ國トシテハヤツ
テ行カナケレバイカスト云フ狀況デ、已ム
ヲ得ズヤツテ居ルノデアリマシテ、十九年
度モ十八年度ニ劣ラズノ計畫ヲ以テ船ヲ造
ラナケレバナラストスト、今大手筋ノ會
社ヲ制約致シマス、國家ガ要求スル木造
船ノ恐ラク三分ノ一カ、四分ノ一シカ出來
ナイダラウ、斯ウ思ハレマスノデ、素人バ
カリデアリマスガ、何トカ能ク監督指導シ
テ、大手筋ハヤハリ活カシテ、多量ノ船ヲ
造ラナケレバナラスト云フ狀況ダラ
ウト考ヘマス

○角委員 此ノ大手筋ノ造船所ニ關聯シテ、
是非當局ニ御希望シテ置キタイ點ハ、或ル
縣ヘ參リマス、大手筋ガ會社ヲ中心ニシ
テ、何處モ彼モ造船所ヲ統制シテ行ク、所

ガ他ノ永ラク經驗ヲ持ツテ居ル船大工カラ
申シマス、假ニ百「トシ」ノ船ガ七、八萬
圓デ出來ルト勘定ヲシテ、大手筋ノ造船所
デ拵ヘル船ハドウシテモ十萬圓以上ノ高イ
モノニ付ク、ソレハ經驗者ノ大工ガナイノ
ト、營業費ニ莫大ナ經費ヲ入レテ居ル關係
上、從來ノ造船所ガ拵ヘル單價ト、大手筋
ガ拵ヘル單價トハ餘程違フ、ソコデ舊來ノ
造船所ハ大手筋ノ造船所ノ傘下ニ入ルコト
ヲ非常ニ嫌フノデアリマス、サウシテ何
カ資本デモ借入レテ製材所ヲ置ク、或ハ敷地
ヲ擴張シテ設備ヲスルト云フコトヲ縣ヘ申
シテ行ツテモ、縣ノ方デハ大手筋ノ傘下ニ
入ラナケレバ許可セズト云フヤウナコト
ヲ言ツテ居ル、是ガ爲ニ舊來ノ造船所ガ大
變能率ヲ阻碍サレル、設備ヲ改善シテ、設
備ヲ大キクシテ、能率ヲヨリ以上ニ擧ゲヤ
ウトシテ居ツテモ、大手筋ノ資本デナケレ
バ許可出來ヌト云フヤウナコトニナリマス
ト、私ハ此ノ大手筋ノ造船所ト、舊來ノ造
船所ノ間ニ摩擦ガ生ジハセヌカト思フ、斯
ウ云フ風ナコトヲ考ヘマスルト、此ノ船ヲ
拵ヘル能率ノ上カラ見テモ由々シキ問題ダ
ト思フ、此ノ點ニ付キマシテ當局ハ各縣ト
モ十分ノ御連絡ヲ取ツテ、造船計畫ノ進捗
サレルニ連レテ、此ノ種會社ノ運營問題ニ付
テモ十分ノ御注意ヲ拂ツテ戴イテ、必ズシモ
一方ニ偏スルト云フヤウナコトデナク、舊來
ノ造船所ニモ申入レニ依ツテ設備ヲ許可ス
ルト云フヤウナ方策ヲ執ラレンコトヲ、各縣
ニ懇懇サレテ戴キタイト私ハ思ヒマス、ド
ウゾ御願ヒ致シマス

○今井委員長 マダ質疑ハ殘ツテ居リマス
ガ、大分時間ガ經チマシタカラ、本日ハ此ノ
程度デ止メタイト思ヒマス、明日ハ午前十

時ヨリ此ノ質疑ノ繼續ヲ致シマス、本日ハ
是ニテ散會致シマス
午後四時四十八分散會

昭和十九年二月一日印刷

昭和十九年二月三日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局